バッテリー
SASシリーズ

取 扱 説 明 書

型 式

BPH511-P
BPH511-SR
BPH511-HT
BPH511-TT

型式をクリックすると
ページに移動します

このたびは、当社製品をお買い上げ頂き、厚くお礼申し上げます。

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

ECHO®

バッテリープルーナー

取 扱 説 明 書

型 式

BPH511-P

（BPH511＋BT-PA）

このたびは、当社製品をお買い上げ頂き、厚くお礼申し上げます。

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

目　次

安全にご使用いただくために 3

1 付属品の確認 8

2 各部の名称と警告表示ラベル 9

3 作業の準備 10
3-1. 製品の組み立て 10
3-2. ガイドバーとソーチェーンの取り付け 11
3-3. ソーチェーンの適正な張り 13
3-4. バランスの調整 13
3-5. チェーンオイルの準備 14
3-6. バッテリの取り付け・取り外し 14

4 始動・停止 16
4-1. 始動 16
4-2. 停止 17
4-3. エラー表示 18

5 枝切り・剪定作業 19

6 点検・整備 22
6-1. ソーチェーンの目立て 22
6-2. 点検・整備の目安 24
6-3. 点検・整備要領 24

7 保管 26

8 故障対策 27
8-1. 故障診断表 27
8-2. 製品の廃棄 27
8-3. バッテリの回収 28

9 仕様 29

10 その他 30
10-1. 補用品と消耗品 30

安全にご使用いただくために

警告表示について

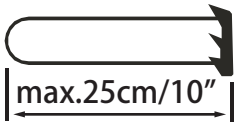
⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。	**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。**	**その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。**

その他の表示について

	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものがすべて禁止されていることを表します。

重要
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		キックバック注意
	作業中は目、耳、頭の保護具を必ず着用すること		ソーチェーンの回転方向
	足の保護具と手袋を着用すること		チェーンオイル吐出量の調節
	火災に注意すること		チェーンオイル
	電気ショックに注意すること		感電注意
	安全 / 警告		半径１５ｍ以内に他の人を近づけないこと
	高温部に注意すること		ガイドバー最大サイズは25cm
	水の飛沫から保護します		

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ

⚠ 警告

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

取扱説明書



- **この取扱説明書には、製品の組み立てや操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので、よく読んで理解してください。**
- **この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。**
- **バッテリ、充電器の取扱説明書を読んでください。**
- **製品の改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。**
- **使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。**
- **損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店に相談または株式会社やまびこホームページを参照してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用目的以外の使用禁止

- **この製品は、小さな枝から中程度の枝の剪定用に作られたものです。**
- **本書に記載されている用途以外に使用しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

- **製品を改造しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

- **定期的に点検・整備をしてください。**
- **点検・整備をするときは、バッテリを取り外してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

- **製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者



- **体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。**
- **次のような人は使用しないでください。**
  - **妊娠している人**
  - **16 歳未満の人**
  - **取扱説明書の内容を理解していない人**

事故や重傷を負う原因となります。

- **この製品から発生する電磁波が、ペースメーカーなどの植込み型医療機器に影響を及ぼす可能性があります。健康上のリスクを避けるため、植込み型医療機器を使用している人は、製品を使用する前にかかりつけの医師、または植込み型医療機器の製造元に相談してください。**

保証書

- **使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。詳しくは保証書をお読みください。**

健康管理

- **休憩をとりながら余裕を持って作業をしてください。手足や身体を温かくしてください。**
- **作業中に体調が悪くなった場合はすぐに作業を中止してください。**
- **1 日の作業時間は 4 時間以下を目安にしてください。**

長時間の作業は製品の振動等により身体に負担がかかり、健康障害の原因となります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

服装の点検

❍ 身体に合った作業衣を着用し、次のことを守ってください。

- **上着（長袖）のボタン、ファスナを完全にし、袖口をきちんと閉め、すそはズボンに入れる**
- **ズボンはすそ閉まりの良い長ズボンを着用し、すそは作業靴の上部にはさみ込む**
- **ネクタイや装飾品は着用しない**
- **髪の毛は肩より上でまとめる**

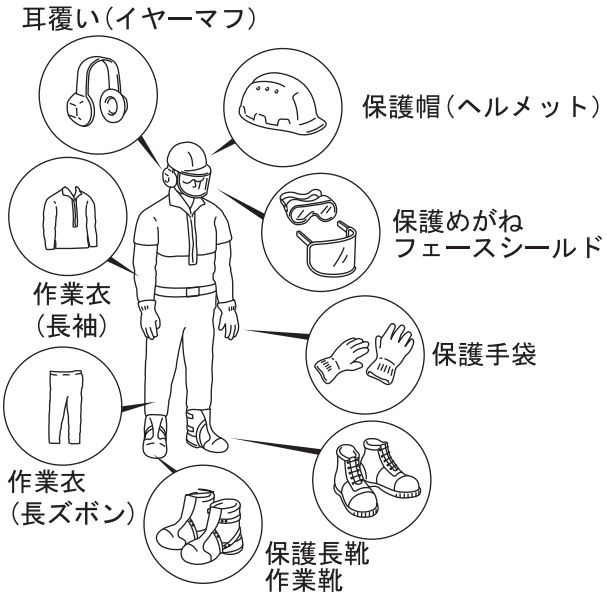
事故や重傷を負う原因となります。

保護具の着用

❍ 下記の保護具を着用してください。

- **保護帽 (ヘルメット) : 頭部の保護**
- **耳覆い (イヤーマフ) や耳栓 : 聴力の保護**
- **保護めがね (ゴーグル) またはフェースシールド:目や顔の保護**
- **保護手袋 : 寒さなどから手を保護**
- **滑りにくい丈夫な作業靴 (先しん入り) : 足の保護**
- **防護ズボン、脚カバー : 脚の保護**

視覚障害、聴覚障害、重傷などを負う原因となります。



❍ 必要に応じて下記の保護具をご使用ください。

- **防じんマスク : 呼吸器の保護**
- **防蜂網 : 蜂の襲来対策**

製品の使用環境・作業環境

❍ 次のような場合は製品を使用しないでください。

- **降雨時や落雷の恐れがあるとき**
- **急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所**
- **夜間や視界が悪い場所**
- **可燃性の液体・ガス・粉じんのある場所**



転落や滑落、誤った操作や、製品から発生する火花などにより事故や重傷を負う原因となります。

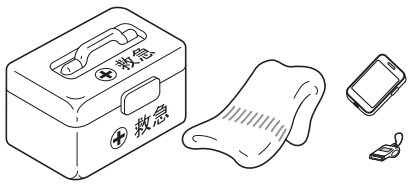
❍ 緩やかな傾斜地では､等高線方向に作業をしてください。

転倒して重傷を負う原因となります。

事故やケガへの備え

❍ 事故やケガに備え、下記の用具を用意してください。

- **救急箱（応急手当用）**
- **タオルや手ぬぐい（止血用）**
- **呼子や携帯電話（外部との連絡用）**



応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。

発火・発煙・火災への備え

❍ 発火・発煙・火災に備え、消火器やシャベルを用意してください。
❍ 製品から発火または発煙したら、身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。
❍ 周囲に類焼しないようにシャベルで砂を掛けるか、消火器で消火してください。

あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。

安全にご使用いただくために

充電器、バッテリ　取り扱い上の注意

⚠ 警告

充電器

❍ **定格表示 (AC100 V) してある電源で使用してください。**

誤った充電条件で充電すると、充電ができなかったり異常な充電が行われ、バッテリの発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **風通しの良い屋内で使用してください。**

水がかかる場所や湿った場所で使用すると充電器内部に水が入り、充電器による感電やバッテリが短絡する原因となります。

❍ **分解、改造をしないでください。**

発熱、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所で充電しないでください。**

高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となり、火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **濡れた手で電源プラグに触れないでください。**

感電の原因となります。



❍ **煙が出たり、発火した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ **使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**

感電やショートして発火する原因となります。

❍ **規定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は充電をやめてください。**

感電、発熱、破裂、発火の原因となります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

バッテリ



❍ 専用充電器で充電してください。

他の充電器を流用すると、発熱、破裂、液漏れ、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 液体で濡らさないでください。

バッテリが濡れた状態で充電や、製品に取り付けて作業すると、異常な充放電となり、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しないでください。

バッテリの液漏れの原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 外傷、変形の著しいバッテリは使用しないでください。
❍ 分解、改造をしないでください。
❍ 次のような取り扱いをしないでください。

- **電子レンジや高圧容器のなかに入れる**
- **火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱する**
- **強い衝撃を与える**
- **鋭いもので刺したり、踏みつける**
- **バッテリの端子部に直接はんだ付けをする**
- **バッテリの + 極と - 極を金属で接続する**
- **保管の際に電気を通しやすいものと一緒にする**

絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷し、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 作業をしないときはバッテリを取り外してください。

不意の始動で事故や重傷を負う原因となります。

❍ 充電中はバッテリを可燃物に近づけたり、覆ったりしないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ 使用、充電、保管時に、異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいた時は、製品または充電器より取り出し、使用しないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ 液漏れや異臭がする場合は、直ちに火気より遠ざけてください。

液漏れした電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

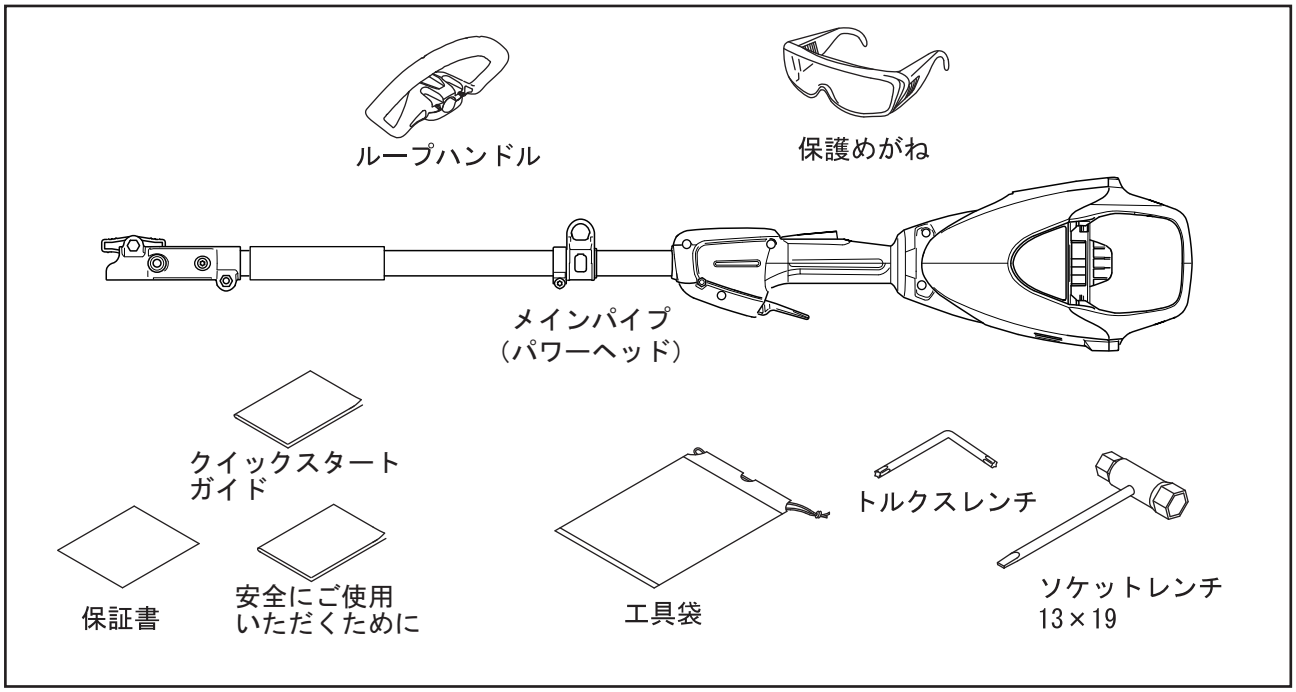
❍ 液漏れした電解液が目に入ったり皮膚についた場合は、流水で洗浄し直ちに医師の手当てを受けてください。

失明したり、皮膚がかぶれたりする原因となります。

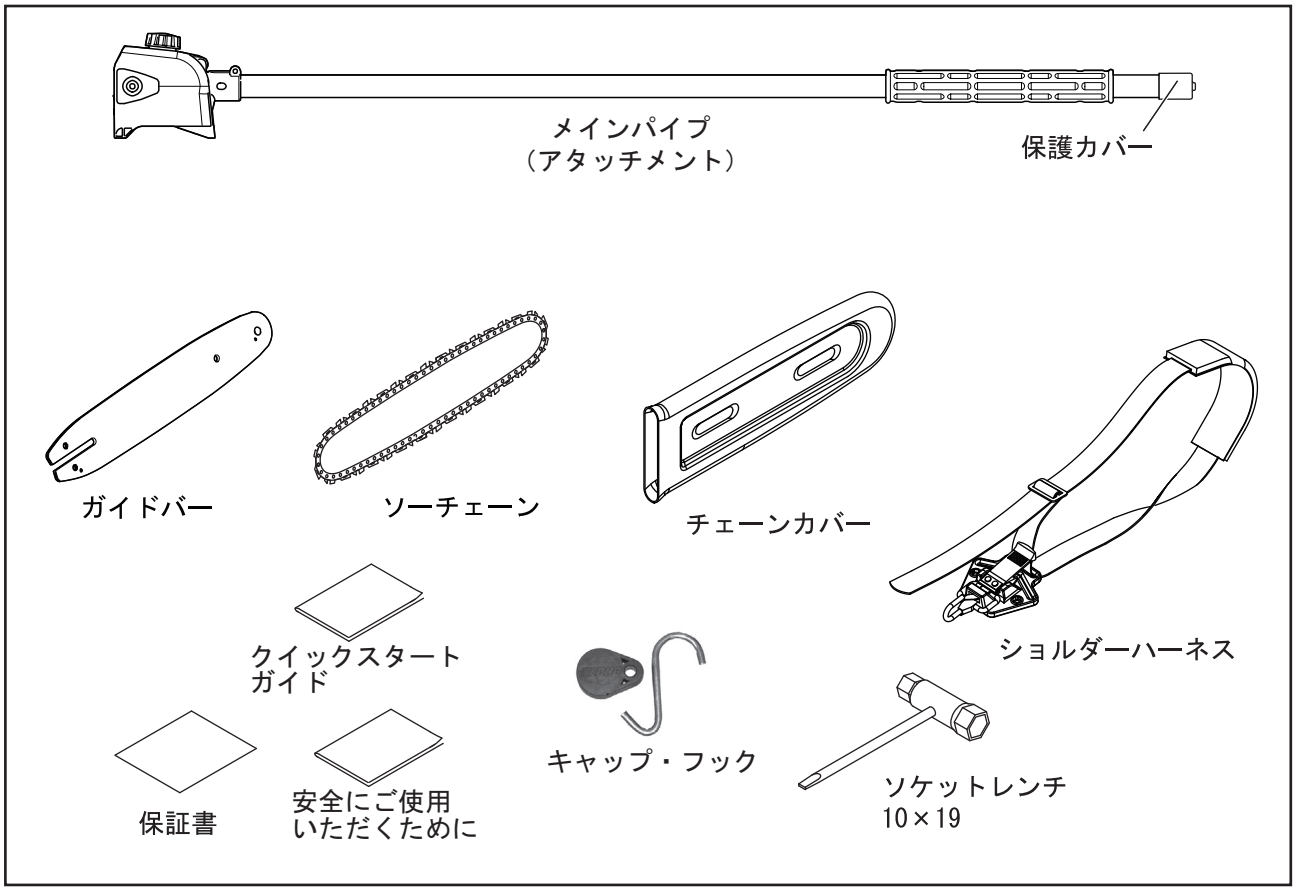
1. 付属品の確認

❍ 欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

BPH511の箱

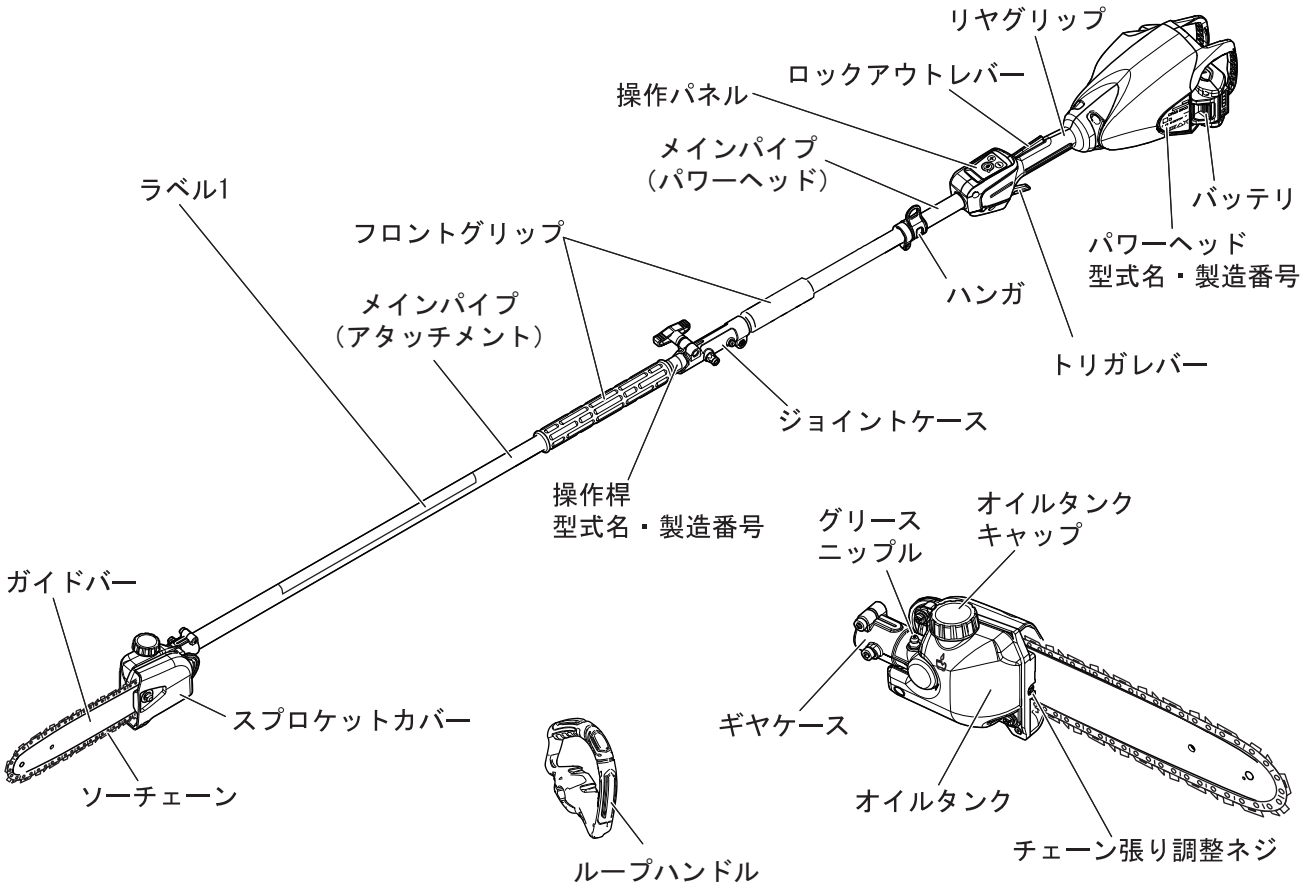


BT-PAの箱

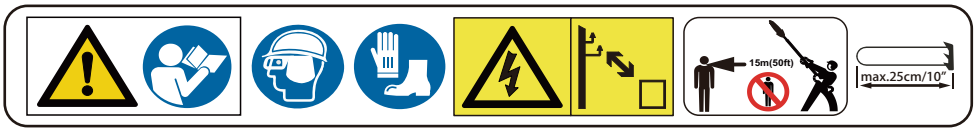


2. 各部の名称と警告表示ラベル

❍ 本書で説明している製品の、各部の名称および警告表示ラベルを示しています。
ご使用前に各部の名称およびラベルの意味を理解してください。
❍ ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態にしてください。



ラベル1. 部品番号:X505-011620



3. 作業の準備

3-1. 製品の組み立て

⚠ 警告

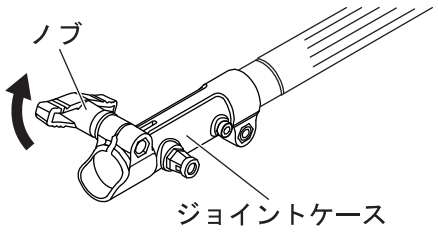
❍ 取扱説明書をよく読んで、正しく組み立ててください。
誤って組み立てた製品を使用すると、事故や重傷を負う原因となります。

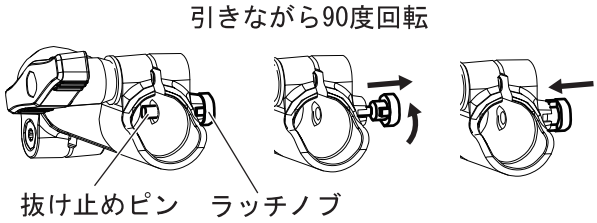


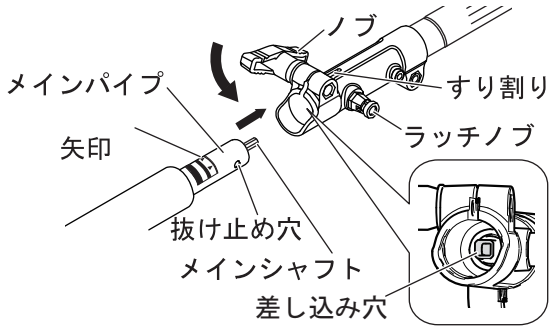
■メインパイプの組立てと分解

⚠ 警告

❍ ラッチノブの抜け止めピンは、確実に抜け止め穴に差し込んだ状態で使用してください。
メインパイプが外れる恐れがあり、事故や重傷を負う原因となります。

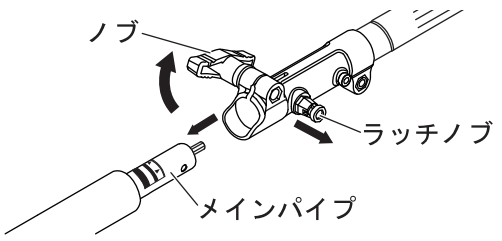






メインパイプの組立て

1. ジョイントケースのノブを回して緩めてください。
2. ジョイントケースのラッチノブを引きながら 90 度回転させて、抜け止めピンがジョイントケースの中側から見えない状態にします。
3. メインパイプ（アタッチメント）の保護カバーを外し、矢印をジョイントケースのすり割りに合わせ、矢印がジョイントケースに届くところを目安にし、内側にある差し込み穴にメインシャフトをかみ合わせながら、メインパイプを差し込んでください。
4. 抜け止めピンと抜け止め穴の位置を合わせてから（正しく組み付けると穴の位置が合います）、ラッチノブを 90 度回転させて、抜け止めピンをメインパイプの抜け止め穴に確実に差し込みます。
5. メインパイプを軽く回すか、または抜くようにして、抜け止めピンが穴にはまり抜けないことを確認してください。
6. ノブを強く締めてメインパイプを固定してください。



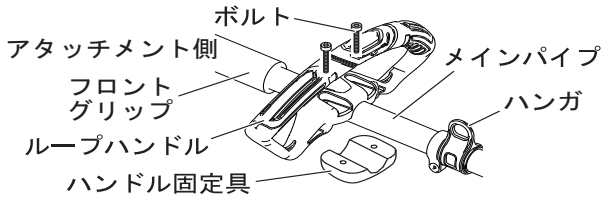
メインパイプの分解

1. ジョイントケースのノブをゆるめてください。
2. ラッチノブを引きながら、メインパイプを引き抜いてください。
3. メインパイプ (ギヤケース側) の先端に保護カバーを取り付けてください。

3. 作業の準備

■ハンドルの取り付け

重要
❍ 本製品での作業には、ループハンドルを取り付けないことをお勧めします。



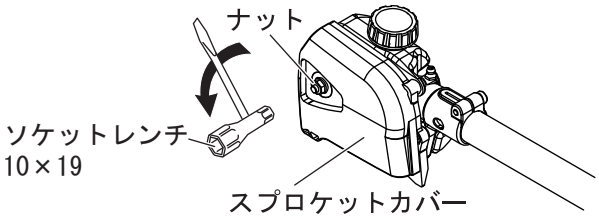
ループハンドルの組み立て

1. ループハンドルを使用したい場合には、向きに注意して、ループハンドルを、フロントグリップとハンガの間で、作業しやすいように、メインパイプにボルトで取り付けます。

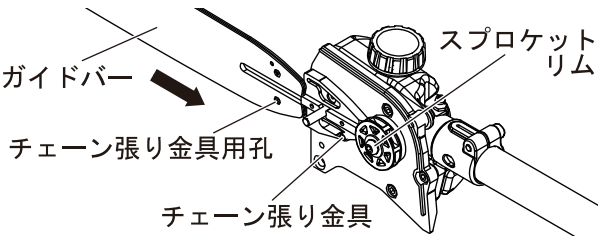
3-2. ガイドバーとソーチェーンの取り付け

⚠ 警告
❍ **取扱説明書をよく読んで、正しく取り付けてください。** 誤った取り付け方をするとガイドバーからソーチェーンが外れ、重傷を負う原因となります。

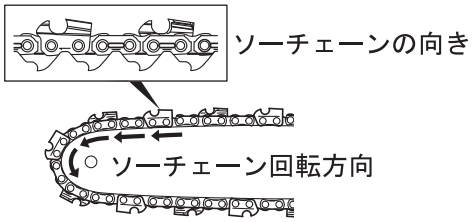
⚠ 注意
❍ **指定したガイドバーとソーチェーンを使用してください。（29 ページの「仕様」、30 ページの「補用品と消耗品」を参照）** キックバックが起きやすくなり、ケガを負う恐れがあります。 ❍ **手袋を着用してソーチェーンを取り付けてください。** ケガや火傷を負う恐れがあります。 ❍ **ソーチェーンの目立ての状況を点検してください。（22 ページの「ソーチェーンの目立て」を参照）** 切れ味の鈍ったソーチェーンは横滑りを起こしやすく、ケガを負う恐れがあります。



1. スプロケットカバー取付け用のナットを付属のソケットレンチ（10×19）を使って外し、スプロケットカバーを外してください。



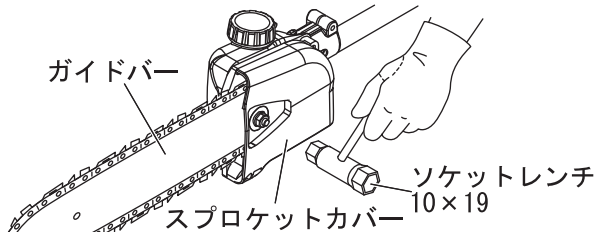
2. ガイドバーをソーチェーンが入りやすいようにスプロケットリム側によせて入れてください。

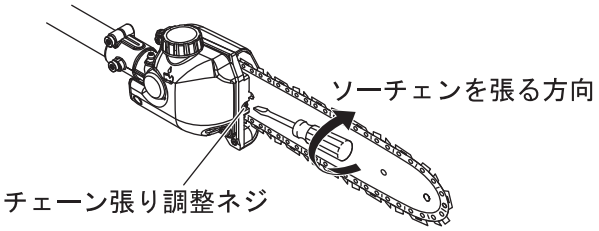


3. ソーチェーンの向きを左図のようにしてスプロケットリムの方からはめ、それからガイドバーの先端に向かってはめてください。



3. 作業の準備





4. チェーン張り金具をガイドバーの孔に入れて、スプロケットカバーを取り付けてください。
（チェーン張り金具が入らないときは、チェーン張り調整ネジを右または左に回して合わせてください）
このとき、スプロケットカバーの後端部も確実に合わせてください。

5. スプロケットカバー取り付け用のナットを軽く締めてください。（チェーン張り金具が外れずガイドバーが動く程度）
6. ガイドバーの先端を持ち上げて、チェーン張り調整ネジを矢印の方向（右方向）に回してソーチェーンを張ってください。

* スプロケットカバー後端部が合っていない場合は、ナットを締め付けたときソーチェーンが異常に張る恐れがあります。
また、チェーン張り金具がガイドバーの孔に適正にセットされていない場合は、チェーン張り調整ネジを回してもソーチェーンは張れません。

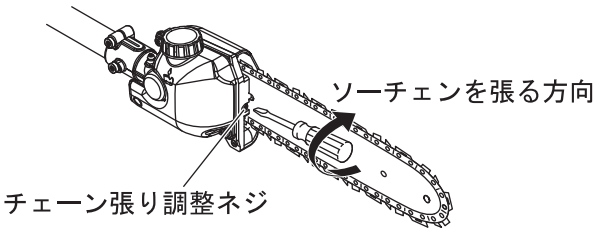
3-3. ソーチェーンの適正な張り

⚠ 注意

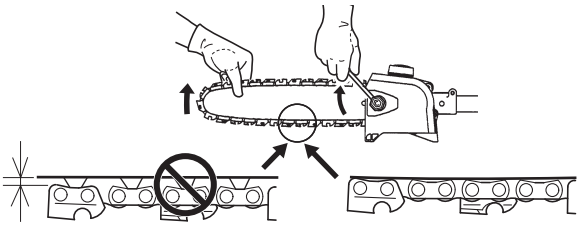
- **ソーチェーンの張りを確認するときは、必ず手袋を着用してください。**
  ケガや火傷を負う恐れがあります。
- **ソーチェーンの張りを確認するときは、必ずバッテリを本体から取り外してください。**
  不意の始動で事故や重傷を負う原因となります。
- **ソーチェーンの張りは作業中にも点検し、必要に応じて再調整してください。特に新しいソーチェーンは伸びが著しく、非常に外れやすくなるので、頻繁に張りの確認と調整を行ってください。**
  張りがゆるい状態で使用するとガイドバーから外れやすくなり、ケガを負う恐れがあります。

重要

- 使用中にソーチェーンがたるんだ場合は、スプロケットカバー取り付け用のナットを 1 回転ゆるめた後、指で締めた状態で張りを調整してください。



1. ガイドバーの先端を持ち上げ、チェーン張り調整ネジを矢印の方向に回し、ソーチェーンがバー下側に接触する程度に調整してください。



2. ガイドバーの先端を持ち上げたまま、付属のソケットレンチでナットをしっかり締め付けてください。その後ソーチェーンが手で動くことを確認してください。

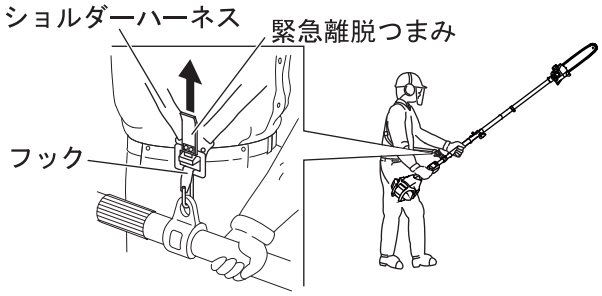
■ソーチェーンの初期伸び

- 新品のソーチェーンは初期伸び（部品同士がなじむまでに起こる全長が長くなる現象）が著しく、そのままお使いになると非常に外れやすい状態になり、怪我を負う恐れがあります。
- 新品のソーチェーンをお使いになる際は、頻繁に張りの確認と調整を行ってください。

＊ 1 度外れてしまったソーチェーンは変形や破損している恐れがあるためお使いにならないでください。

3-4. バランスの調整

■ショルダーハーネスの調整



1. ショルダーハーネスを頭から通し、フックが身体の右側にくるように掛けてください。
2. フックが腰の位置になるように、ショルダーハーネスの長さを調整してください。
3. フックに製品を装着してください。
4. 作業しやすいようにショルダーハーネスの長さを調整してください。

＊ 緊急離脱つまみを上に引くと、ショルダーハーネスからフックが瞬時に切り離されます。

3. 作業の準備

3-5. チェーンオイルの準備

重要
❍ 運転中ソーチェーンにオイルを与えるのは、ソーチェーンとガイドバーとの摩擦を少なくし摩耗を防ぐためと、ソーチェーンへの樹脂の付着を防ぐためです。 ❍ 廃油、再生油は故障の原因になるので使用しないでください。



やまびこ純正チェンオイル



やまびこ生分解性
チェンオイル
（エコグリーンオイル）



エコマーク認定番号
第09110004号
株式会社やまびこ

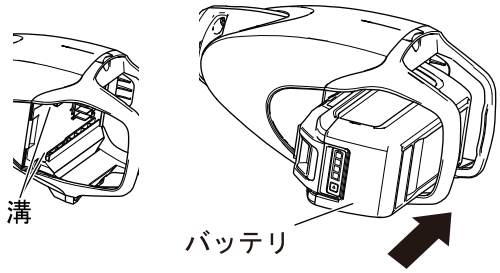
1. チェーンオイルタンクのキャップを開け、オイルタンクに補給してください。
   補給後は、オイルタンクキャップを確実に締め付けてください。

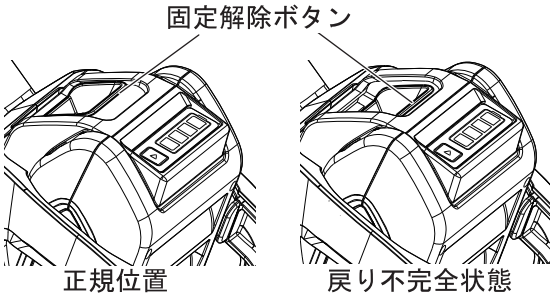
   チェーンオイルにはやまびこ純正チェンオイル、またはやまびこ生分解性チェンオイル（エコグリーンオイル）を使用してください。

* やまびこ生分解性チェンオイルは、自然にやさしい高い分解性能と製品にやさしい高い潤滑性能を兼ね備えたオイルです。
* 燃料を補給するときは、同時にチェーンオイルもオイルタンクに補給してください。

3-6. バッテリの取り付け・取り外し

⚠警告
❍ **バッテリを取り付ける前に、バッテリ、充電器の取扱説明書を読んでください。** 組み立てや作業中に、扱いを間違えると事故の原因になります。





指定のバッテリ、充電器（29 ページの「仕様」）を使用してください。

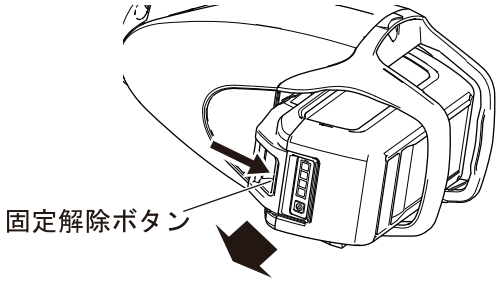
■ 取り付け

1. 製品本体のバッテリ取り付け位置の溝にバッテリを合わせ、バッテリを差し込んでください。

2. バッテリを奥まで差し込んで、固定解除ボタンが正規の位置に戻っていることを確認してください。

⚠警告
❍ **バッテリは確実に取り付けてください。** 確実に取り付けないとバッテリが外れて事故の原因になります。

3. 作業の準備



■ 取り外し

1. 電源スイッチが切れていることを確認してください。
2. 取り外すときは、バッテリの固定解除ボタンを押しながら製品本体より引き抜いてください。

4. 始動・停止

⚠ 危険

❍ **この製品は、電流に対して絶縁されていないため、電柱や家屋などから伸びている高所にある全ての電線や通信線に直接または間接的に触れると感電し、重傷を負うことや死亡することになります。**

⚠ 警告

❍ **可燃性の液体、ガス、ほこりなどがあり、爆発が起こる可能性のある中で、製品を操作しないでください。**

製品から火花が出て、ガスなどに引火する原因となります。

❍ **製品を始動するときは、次のことを守ってください。**

- **ソーチェーンが地面や障害物に接触していないことを確認する**
- **ボルトやナット類にゆるみがないことを確認する**
- **周囲は広くとり、人や動物を近づけない**

守らないと事故や重傷を負う原因となります。

❍ **製品を持ったり、運んだりするときは、次のことを守ってください。**

- **操作時以外はスイッチやレバーに指を掛けて持たない**
- **他の作業場などに運ぶ時はスイッチの電源を切り、バッテリを取り外し、チェーンカバーを装着する**

製品が作動して、事故や重傷を負う原因となります。

❍ **製品が始動したら、異常振動・異常音が発生していないか確認してください。異常振動・異常音がある場合は直ちに停止し、販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。**

部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

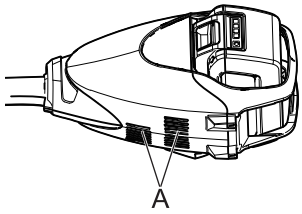
❍ **製品の運転中および停止後しばらくの間は、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。**

高温部に触れると火傷します。

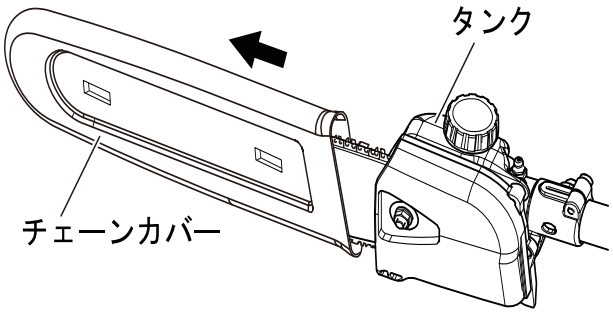


重要

❍ **換気口（A）は常に清潔に保ってください。**

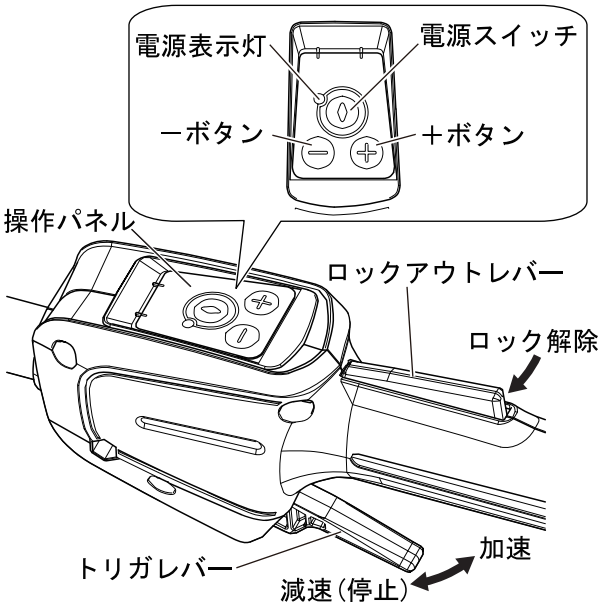


4-1. 始動



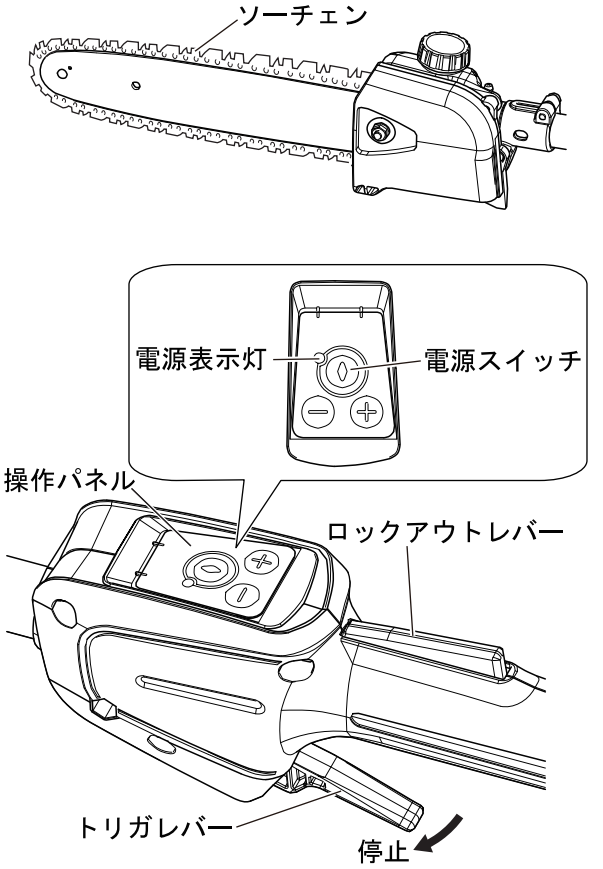
1. チェーンオイルがタンクに入っていることを確認してください。
2. チェーンカバーを取り外してください。
3. バッテリを取り付けてください。(14 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照)
4. ハンガをショルダーハーネスに取り付けてください。
5. ガイドバーとソーチェーンが何かに触れていないことを確認してください。

4. 始動・停止



6. 電源スイッチを押して、電源を入れてください。電源が入ると電源表示灯が点灯します。
7. ＋ボタン、－ボタンを押して速度を設定してください。
   * ＋ボタンを押すと速度が上がり、－ボタンを押すと速度が下がります。
   * 速度は、低速、中速、高速の 3 段階です。
8. ロックアウトレバーとトリガレバーを一緒に握ってください (ソーチェンが動き始めます)。トリガレバーの握り具合で速度が変わります。
   * トリガレバーを握った状態でも、＋ボタン、－ボタンを押すと速度の設定が切り替わります。
9. トリガレバーの握りを解除してください (ソーチェンが停止します)。速度の設定は維持されます。
   * 電源が入った状態で約 90 秒間､ソーチェンを作動しないと自動的に電源が切れて電源表示灯が消灯します。再開したい場合は、電源スイッチを押して電源を入れ直してください（上の手順 5 に戻ってください)。
10. ロックアウトレバーとトリガレバーを一緒に握ってください (ソーチェンは再度動き始めます)。トリガレバーの握りと解除の繰り返しで作業できます。

4-2. 停止



⚠注意

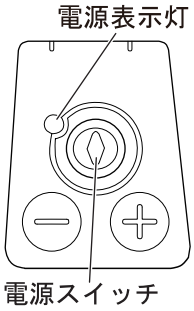
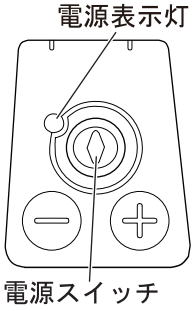
❍ **ソーチェーンは、電源スイッチを切った後も短時間動作していることがあります。**

ソーチェーンが停止するまで、周囲を広くとり、人や動物を近づけないでください。

1. トリガレバーとロックアウトレバーの握りを解除してください (ソーチェンが停止します)。
2. 電源スイッチを押して、電源を切ってください。電源表示灯が消灯します。
   * ソーチェンが停止しない場合は、バッテリを取り外してください。(14 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照)

   再び製品を使用する前に、販売店、または、やまびこサービスショップに点検と修理を依頼してください。

4-3. エラー表示

電源表示灯の点灯状態		エラー内容 ／ 原因 ／ 復帰方法
■ 電源表示灯が点滅 (毎秒 4 回点滅)		・エラー内容：過負荷による停止 ・原因　：ソーチェンロックなど (ソーチェン周辺に木などの異物が詰まった場合) ・復帰方法　：バッテリを取り外し、原因を取り除き、電源スイッチを入れ直す
		・エラー内容：過熱による停止 ・原因　：製品やバッテリが高温になっている ・復帰方法　：冷却後に電源スイッチを入れ直す
		・エラー内容：トリガレバーの繰り返し操作 ・原因　：トリガレバーを握る・離すの操作を短時間に繰り返した ・復帰方法　：電源スイッチを入れ直す
		・エラー内容：誤作動 ・原因　：トリガレバーを握った状態で電源スイッチを入れた ・復帰方法　：トリガレバーの握りを解除する
■ 電源表示灯が点滅 (毎秒 1 回点滅)		・エラー内容：バッテリの電圧異常 ・原因　：バッテリの容量不足 ・復帰方法　：バッテリを充電する
		・エラー内容：バッテリの電圧異常 ・原因　：バッテリの過放電 ・復帰方法　：バッテリを充電する 解消されないときはバッテリを交換する
		・エラー内容：バッテリ電圧センサ異常 ・原因　：バッテリ内のセンサ接触不良・断線 ・復帰方法　：バッテリを交換する

5. 枝切り・剪定作業

⚠ 危険

製品の中心から 15m の範囲は危険区域です。作業中は次のことを守ってください。

- **危険区域に人や動物を入らせない。**
- **危険区域に人や動物が入ったときは、電源を切り、ソーチェンを停止させる。**
- **作業者に近づくときは、危険区域の外から小枝を投げるなどの合図をして作業者に知らせ、ソーチェンの停止を確認する。**
- **二人以上で作業するときは、お互いに合図のしかたを決めて 15m 以上離れる。**

  飛散物に当たりケガを負ったり、転倒して重傷を負う原因となります。

- **他の作業者と作業位置が上下にならないようにすること。**

  切断された枝や製品などが落下した場合、重傷を負うことになります。

⚠ 警告

キックバックに注意

- **作業中にソーチェーンの先端が、木材、石、金属製の柱などに接触した場合や、ソーチェーンが木にはさまれた場合に、キックバックが発生することがあります。作業をしている場所には、他の木材や切り株などの障害物がないことを確認してください。また必ず両手でグリップを握ってください。**

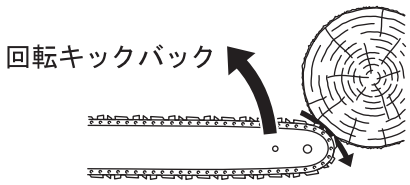


  ソーチェーンに接触し、重傷を負う原因となります。

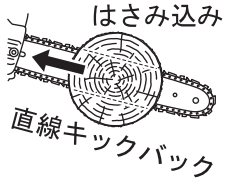
- **細い木や枝を切る場合、細い木や枝がソーチェーンに絡まったり、作業者の方に跳ね返って来たりして、バランスを失うことがありますので注意してください。**

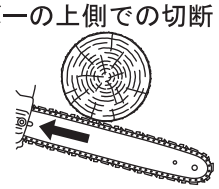
  飛散物に当たりケガを負ったり、転倒して重傷を負う原因となります。

回転キックバック
ガイドバー先端の接触が瞬間的にキックバックを引き起こし、ガイドバーが作業者の方向に跳ね返って来ます。



直線キックバック
ガイドバーが木にはさまれてソーチェーンが動かなくなったとき、モーターの回転を上げると急に製品は後方に押し出されます。
ガイドバーの上側で切断する場合も、製品は作業者の方へ押されます。





5. 枝切り・剪定作業

⚠ 警告

作業場所の確認

❍ 作業前に作業する場所にあるヒモや針金などは取り除いてください。

製品にからみついた針金などが跳ね返ったりして、事故や重傷を負う原因となります。

❍ 作業前に作業する場所にあるゴミなどは取り除いてください。

製品にからみついたり跳ね飛ばしたりして、事故や重傷を負う原因となります。

❍ 作業前に切断物が落ちる場所の確認をしてください。

チェーンオイルや切り粉の飛散、切断された枝などが落下して、事故や重傷を負う原因となります。

無理な姿勢での作業禁止

❍ 足元をしっかりさせバランスを保ち、安定した姿勢で作業をしてください。
❍ 作業は水平から６０°の範囲で行ってください。

転倒や誤った操作などにより、事故や重傷を負う原因となります。

片手使用禁止

❍ 両手でグリップを握って製品を操作してください。

片手で操作すると製品をコントロールできず、ソーチェーンに接触し、重傷を負う原因となります。

片手使用禁止



硬いものの切断禁止

❍ 針金や鉄板など、硬いものを切らないでください。

故障や事故の原因となります。

作業中断時は電源を切る

❍ 作業を中断し製品を下に置く前に、電源を切り、ソーチェンが止まったことを確認してください。

トリガレバーに木の枝などが進入し、ソーチェンの回転が上昇することがあります。

❍ 作業を中断し製品を下に置く場合は、可燃物のない場所に置いてください。

火災の原因となります。

❍ ソーチェンにものがはさまったり、からまった場合は電源を切ってソーチェンが止まった後に、取り除いてください。

事故や重傷を負う原因となります。

移動時は電源を切る

❍ 作業を中断して移動する場合は、電源を切ってバッテリを外し、チェーンカバーを装着してください。

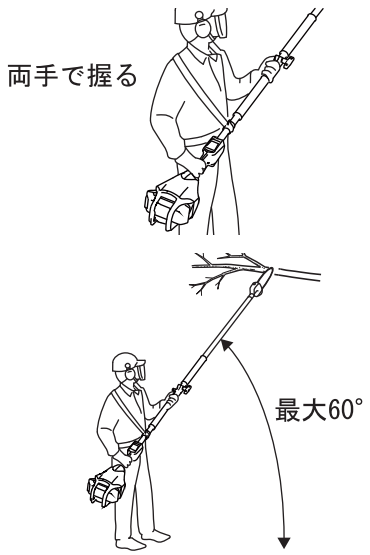
火傷や重傷を負う原因となります。

重要

❍ 周囲温度 0 ℃～ 40 ℃で製品を使用してください。

5. 枝切り・剪定作業

■剪定・刈り込み作業



製品は一人で操作するものですが、助けが必要な場合に備え、呼べる程度の近い場所に他の作業者がいるようにしてください。

製品の左側に立って、左手でフロントグリップ、右手の親指でロックアウトレバーを押しながら、親指以外の右手でトリガレバーを握ってください。

電源スイッチを押し、ロックアウトレバーを押しながら、トリガレバーを一杯に握り、剪定を開始してください。

ソーチェーンが正しく目立てされていれば、比較的楽に切断できますので、製品を無理に押しつける必要はありません。
押しつけすぎるとソーチェンの回転が落ち、切断作業が難しくなってしまいます。

* 実際に切断する前に製品の操作をよく理解してください。
* 潤滑のためのチェーンオイルがソーチェン部より飛び散ります。衣服や目などの身体に付着するおそれがありますので自分の作業位置や他の作業者など、周囲を確認して使用してください。

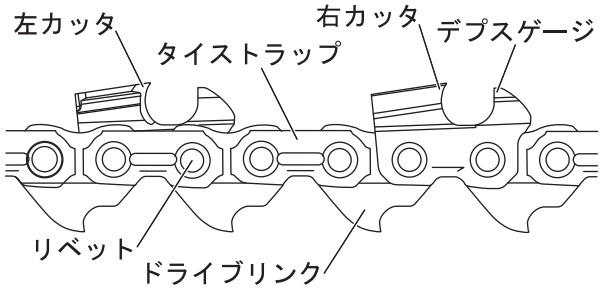
6. 点検・整備

6-1. ソーチェーンの目立て

⚠ 注意
❍ **電源を切って、バッテリを取り外し、本体が冷えてから手袋を着用のうえ、目立てをしてください。** ソーチェーンに接触し、ケガを負う恐れがあります。

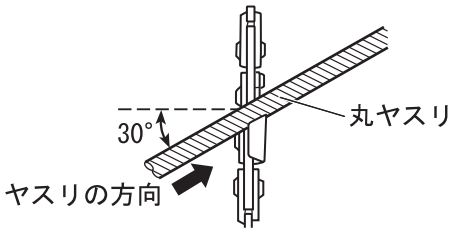
重要
❍ この製品に付属するソーチェーンタイプは、オレゴン**９０ＰＸ** です。

■ソーチェーン各部の名称



- デプスゲージ ：カッタの切り込み深さを決めます。
- 右カッタ ：木材を切削するカッタです。
- タイストラップ ：カッタとドライブリンクを結合します。
- 左カッタ ：木材を切削するカッタです。
- リベット ：各部分のつなぎの役目をします。
- ドライブリンク ：スプロケットとかみ合い、動力伝達を受けると共に、ガイドバーの溝にはまりソーチェーン全体のガイドとなります。

■目立て



ソーチェーンの目立てには丸ヤスリと平ヤスリを使用します。丸ヤスリはカッタの研削に、平ヤスリはデプスゲージの研削に使用します。

各ソーチェーンに使用する丸ヤスリの直径は次のとおりです。

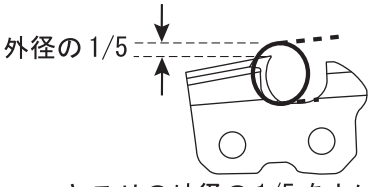
ソーチェーン	丸ヤスリの直径 (mm)
９０ ＰＸ	4.5

＊ 上刃目立て角度は 30° です。

＊ 丸ヤスリは別売りです。



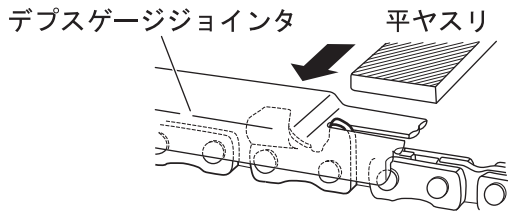
1. 丸ヤスリを水平に保って、前方に軽く押し出してください。
2. 手前に引くときは丸ヤスリをソーチェーンに当てないでください。



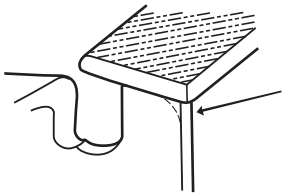
ヤスリの外径の 1/5 を上に出す

3. 研削のとき丸ヤスリの径の 1/5 をカッタの上に出し、目立てをしてください。
4. 左右のカッタの長さが均等になるようヤスリを掛けてください。

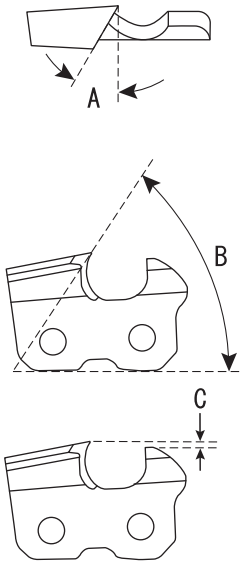
＊ 正しい位置と角度を保つため、ヤスリホルダを使用してください。ヤスリホルダは別売りです。



5. デプスゲージの調整は、デプスゲージジョインタと平ヤスリを用いてください。デプスゲージジョインタと平ヤスリは別売りです。
6. デプスゲージジョインタを左図のようにカッタにかぶせてください。



7. 平ヤスリを用いて、デプスゲージのデプスゲージジョインタから出た部分を削ってください。
8. デプスゲージを削った後は、デプスゲージジョインタを外し、デプスゲージの前方の角を平ヤスリで丸く仕上げてください。



正しくヤスリを掛けられたカッタは次のようになります。

- **９０ＰＸ**

  A ：上刃目立て角度 30°

  B ：上刃切削角度 55°

  C ：デプス 0.65 mm

ソーチェーンの目立てが終了したらソーチェーンをオイルに浸け、ヤスリ粉を洗い落としてから使用してください。
ソーチェーンをガイドバー上でヤスリ掛けした場合は、オイルを十分に給油し、ソーチェーンをゆっくり回してヤスリ粉を洗い落としてから使用してください。

6-2. 点検・整備の目安

⚠ 警告

❍ **製品の点検・整備をするときは、本体からバッテリを取り外してください。**
不意の始動で事故や重傷を負う原因となります。

重要

❍ お買い求めいただいた製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備をしてください。
❍ 点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、販売店、または、やまびこサービスショップにご相談ください。

点検・整備項目	作業前または作業後	作業 25 時間毎	作業 100 時間毎	参照ページ
バッテリ容量	○			-
ソーチェーン	(注) ○			22
ガイドバー	○			24
スプロケット	○		●	24
ギヤケースのグリース注油		○		25
スクリュ、ボルト、ナット	○		●	-

○：ご自分で点検・整備してください。

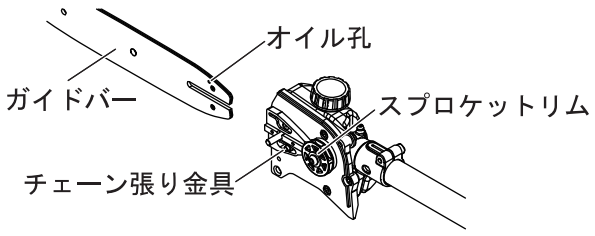
●：製品の性能維持のため、販売店、または、やまびこサービスショップに定期的な点検を依頼し必要に応じ交換してください。

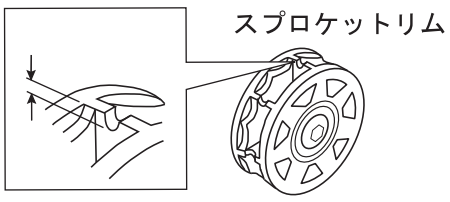
(注) 振動障害を予防するために

- **通常より振動が増えたと感じた場合は、販売店、または、やまびこサービスショップに点検を依頼してください。**
- **ソーチェンの目立て具合により振動が増えることがあります。「ソーチェンの目立て」の項を参照して整備をしてください。**

6-3. 点検・整備要領

■ガイドバーとスプロケットの点検

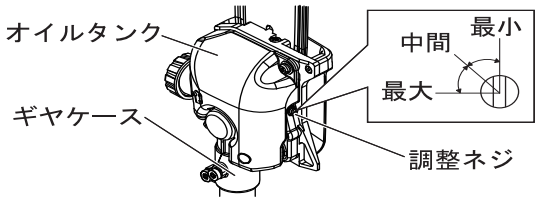




1. 小型ドライバなどを使ってガイドバーの溝を清掃してください。
2. オイル孔を針金などできれいにしてください。
3. ガイドバーを定期的に裏返してください。
4. ガイドバーを取り付ける前に、スプロケットリムを点検し、ガイドバー取り付け部をきれいにしてください。異常がある場合は修理を依頼してください。
5. スプロケットリムにヒモや草が巻きついていないか点検してください。巻きついているときは取り除いてください
6. スプロケットリムが摩耗すると、ソーチェーンの損傷や摩耗を早めます。新しいソーチェーンに交換するときはスプロケットリムを点検し、0.3 mm 以上摩耗したら交換してください。

6. 点検・整備

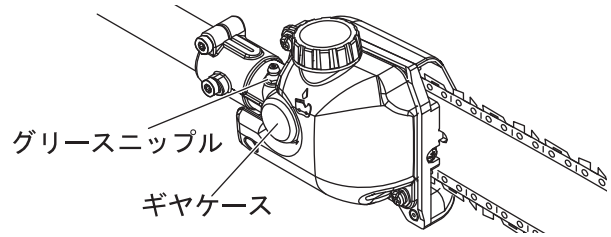
■チェーンオイル吐出量の調整



必要に応じて、本体下部の調整ネジでチェーンオイルの吐出量を調整してください。

1. 吐出量を増す場合は調整ネジを左に回してください。調整ネジがストッパーに当たって止まった位置で最大吐出量が得られます。
2. 調整の上限と下限を越えて、調整ネジを回さないでください。

■ギヤケースのグリース注油



1. グリースニップルの周りの汚れを拭き取ってください。
2. グリースニップルからグリースポンプを使用して、グリースを注入してください。

* グリースは、純正ギヤケースグリースかリチューム系グリース（#2）を補給してください。指定以外のグリースを使用すると故障の原因となります。

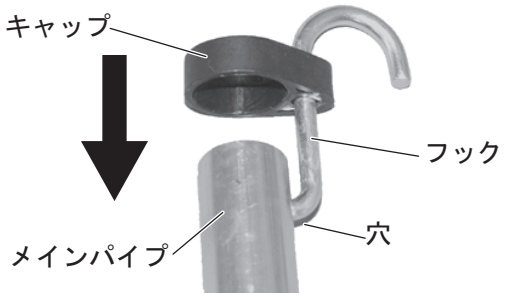
7. 保管

⚠ 警告

❍ **可燃ガスが充満している密閉された場所に保管しないでください。**

火災の原因となります。





収納フックの取り付け

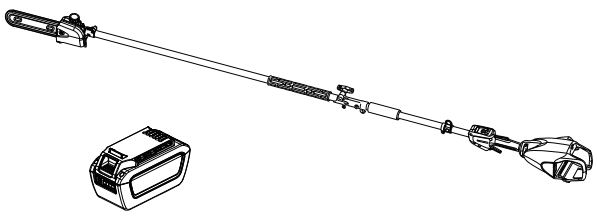
1. フックのＳ字の小さい方をメインパイプ（アタッチメント）の穴に入れてください。
2. キャップをメインパイプの先端にスライドして固定してください。

❍ **製品を長期間 (30 日以上) にわたって保管する場合は、下記の手順で整備してください。**

重要

❍ **やまびこ生分解性チェンオイルは経時により固くなる傾向があるため、使用したときはオイルタンクからオイルを抜き取ってください。その後、従来のやまびこ純正チェンオイルをタンクに入れ、本体を始動し、配管内にオイルを通して保管してください。**

オイルポンプ破損の原因となります。



1. 電源スイッチを切ってください。
2. 本体からバッテリを取り外してください。
3. 製品が十分に冷えてから、外側に付いたホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
4. 本書に定められた定期的な点検をしてください。
5. スクリュ、ナット類が締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
6. チェーンカバーを装着してください。
7. バッテリを充電器に取り付けないでください。
8. 製品本体、バッテリ、充電器とも、子供の手が届かないホコリの少ない、乾燥した 0 ℃～ 40 ℃の場所に保管してください。

＊ メインパイプを分解して保管できます。
＊ バッテリを 1 年以上使用しないときには、劣化を防ぐために 40 ～ 60%の容量で充電し、10 ℃～ 30 ℃の場所に保管してください。

8. 故障対策

8-1. 故障診断表

重要
❍ 補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。 純正または指定以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

■ 本体

故障内容	原因	対策
電源が入らない	• バッテリが本体に正しく装着されていない	• 正しく取り付ける (14 ページ)
ロックアウトとトリガレバーを握ってもソーチェーンが回転しない	• 電源が入っていない	• 電源スイッチを押してください (16 ページ)
	• バッテリの容量不足	• 充電する
	• 製品本体やバッテリが過熱状態にある	• 冷却後に電源スイッチを入れる (17 ページ)
	• ガイドバーとスプロケットリムの間に草などの異物が巻き付いている	• 清掃 (24 ページ)
	• 始動の手順を間違える	• 正しく始動する (16 ページ)
	• トリガレバーを握る・離すの操作を、短時間で繰り返す	• 電源スイッチを入れ直す (17 ページ)
始動してもすぐに停止する	• バッテリが過熱状態になっている	• バッテリを本体から取り外し、十分冷ましてから再度取り付ける (14 ページ)
	• 本体が過熱状態になっている	• 電源を切って、本体を十分に冷ます (17 ページ)
	• バッテリの容量不足	• 充電する
切れ味の低下	• ソーチェンの摩耗	• ソーチェンの目立て (22 ページ)
	• ガイドバーの摩耗	• 販売店へ依頼

8-2. 製品の廃棄

❍ 製品や部品を廃棄するときは、お買い求めの販売店に相談するか、自治体の指導に従ってください。

8. 故障対策

8-3. バッテリの回収





- 本製品で使用しているバッテリはリサイクルのため、回収しています。
- 廃棄するときは、お買い求めの販売店または当社営業所にお持ちください。

- やまびこは一般社団法人 JBRC（ホームページ https://www.jbrc.com）に加盟し、リサイクルを実施しています。
- バッテリにはリサイクル可能な希少資源が使われています。これらを有効活用するため、使用済みバッテリのリサイクルを推進しています。

9. 仕様

型式名		BPH511-P
項目	単位	
質量 (バッテリ、ガイドバー、ソーチェン、オイル、ハーネスを除く)	kg	3.7
ギヤケース		
歯車減速比	ー	0.94
潤滑剤	ー	純正グリース
外形寸法 長さ × 幅 × 高さ (バッテリ、ガイドバー、ソーチェンを除く)	mm	2,195×168×173
オイル		
チェーンオイル	ー	やまびこ純正チェーンオイル、やまびこ生分解性チェーンオイル
タンク容量	mL	110
給油方式	ー	自動給油
モーター	ー	DC ブラシレスモータ
回転数	r/min	4,860-9,200
適合バッテリ	–	やまびこ純正 50V 1P バッテリ　やまびこ純正 50V 2P バッテリ
適合充電器	–	やまびこ純正 50V 充電器

ガイドバー			ソーチェーン			
ガイドバータイプ	長　さ cm	ゲージ mm (ｲﾝﾁ)	チェーンタイプ	ピッチ mm (ｲﾝﾁ)	ゲージ mm (ｲﾝﾁ)	リンク数
T25S90-39SA- NB	25	1.1 (0.043)	**90PX**	9.53 (3/8)	1.1 (0.043)	39

その他の装置	ロックアウトレバー

＊ この仕様は予告なしに変更することがあります。

10. その他

10-1. 補用品と消耗品

部品名称	部品番号	備考
カットチェーン	X221-000130	90PX-39X
ガイドバー	X121-000230	T25S90-39SA- NB
チェーンカバー	X490-001030	オレンジ
オイルタンクキャップ Ass'y	C020-000011	ブラック
ソケットレンチ	X602-000190	10 mm x 19 mm
丸ヤスリ	897510-61530	4.5 mm(11/64)
ヤスリ用グリップ	897512-35630	
ヤスリホルダ	31692	4.5 mm(11/64) 用
平ヤスリ	X620-000030	
デプスゲージジョインタ	X623-000020	0.65 mm(0.025)
目立て用アングルプレート	90610	マグネット付
目立て用クランプ	26368A	
チェーンオイル	X697-000120	4 L
エコグリーンオイル　4 L	X697-000141	生分解性チェンオイル　4 L
エコグリーンオイル　18 L	X697-000131	生分解性チェンオイル　18 L
グリース	X695-000020	50 g

- 作業内容と用途および仕様・規格により、本製品への適合性を確認し、販売店、または、やまびこサービスショップとご相談の上、購入してください。

メ　モ

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0120-176-181(製品・技術的な問い合わせ)
受付時間:弊社営業日　9:00～12:00 / 13:00～17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0428-32-6181 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X780823-0000
(C) 2025 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。

ECHO®

バッテリー刈払機

取 扱 説 明 書

型 式

BPH511-SR

（BPH511＋BT-SRA）

このたびは、当社製品をお買い上げ頂き、厚くお礼申し上げます。

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

目　次

安全にご使用いただくために 3

1 付属品の確認 8

2 各部の名称と警告表示ラベル 9

3 作業の準備 10
3-1. 製品の組み立て 10
3-2. 刈刃の取り付け 11
3-3. バランスの調整 13
3-4. バッテリの取り付け・取り外し 14

4 始動・停止 15
4-1. 始動 15
4-2. 停止 16
4-3. エラー表示 16

5 刈払作業 17
5-1. 作業姿勢 18
5-2. 刈払作業 19

6 点検・整備 20
6-1. 点検・整備の目安 20
6-2. 作業後の点検・整備 21
6-3. 刈刃の交換 21
6-4.25 時間毎点検・整備要領 22

7 保管 23

8 故障対策 24
8-1. 故障診断表 24
8-2. 製品の廃棄 24
8-3. バッテリの回収 24

9 仕様 25

10 その他 26
10-1. 補用品と消耗品 26

安全にご使用いただくために

警告表示について

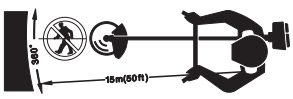
⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。	**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。**	**その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。**

その他の表示について

	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものがすべて禁止されていることを表します。

重要
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		電気ショックに注意すること
	作業中は保護具を必ず着用すること		作業中は保護具を必ず着用すること
IPX4	水の飛沫から保護します		火災に注意すること
	手の切断に注意すること		高温部に注意すること
	安全 / 警告		キックバックに注意すること
	飛散防護カバーは、必ず取り付けて使用すること		刈刃装置からの飛散物に注意すること
	移動時、保管時は必ず刈刃カバーを取り付けること		作業者は 15m 以内に人、動物を近付けないこと

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ

⚠ 警告

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

取扱説明書



- **この取扱説明書には、製品の組み立てや操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので、よく読んで理解してください。**
- **この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。**
- **バッテリ、充電器の取扱説明書を読んでください。**
- **製品の改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。**
- **使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。**
- **損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店に相談または株式会社やまびこホームページを参照してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用目的以外の使用禁止

- **この製品は背丈の低い雑草刈に使用してください。付属の刈刃でかん木や木を切らないでください。**
- **本書に記載されている用途以外に使用しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

- **製品を改造しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

- **定期的に点検・整備をしてください。**
- **点検・整備をするときは、バッテリを取り外してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

- **製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者



- **体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。**
- **次のような人は使用しないでください。**
  - **妊娠している人**
  - **16 歳未満の人**
  - **取扱説明書の内容を理解していない人**

事故や重傷を負う原因となります。

- **この製品から発生する電磁波が、ペースメーカーなどの植込み型医療機器に影響を及ぼす可能性があります。健康上のリスクを避けるため、植込み型医療機器を使用している人は、製品を使用する前にかかりつけの医師、または植込み型医療機器の製造元に相談してください。**

保証書

- **使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。詳しくは保証書をお読みください。**

事業者様へ

- **この製品を使用して作業者に刈払作業を行わせる場合は、厚生労働省が定める「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」を受講させてください。（厚生労働省・基発第 66 号）**

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

健康管理

❍ 休憩をとりながら余裕を持って作業をしてください。手足や身体を温かくしてください。
❍ 作業中に体調が悪くなった場合はすぐに作業を中止してください。
❍ 一日の作業時間は 4 時間以下を目安にしてください。

長時間の作業は製品の振動等により身体に負担がかかり、健康障害の原因となります。

服装の点検

❍ 身体に合った作業衣を着用し、次のことを守ってください。

- **上着（長袖）のボタン、ファスナを完全にし、袖口をきちんと閉め、すそはズボンに入れる**
- **ズボンはすそ閉まりの良い長ズボンを着用し、すそは作業靴の上部にはさみ込む**
- **ネクタイや装飾品は着用しない**
- **髪の毛は肩より上でまとめる**

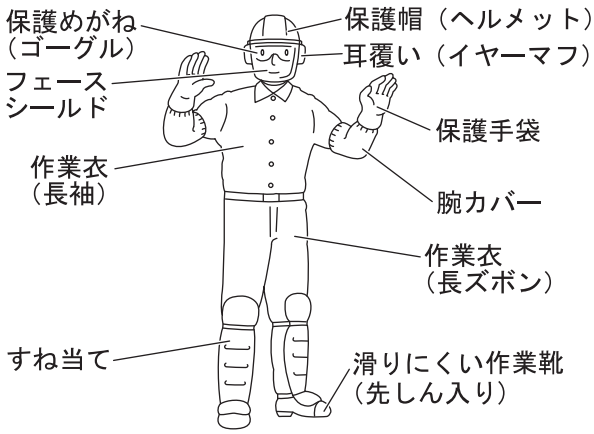
事故や重傷を負う原因となります。

保護具の着用

❍ 下記の保護具を着用してください。

- **保護帽 (ヘルメット) : 頭部の保護**
- **耳覆い (イヤーマフ) や耳栓 : 聴力の保護**
- **保護めがね (ゴーグル) : 目の保護**
- **フェースシールド : 顔の保護**
- **保護手袋 : 寒さなどから手を保護**
- **滑りにくい丈夫な作業靴 (先しん入り) : 足の保護**
- **すね当て : 脚の保護**

視覚障害、重傷などを負う原因となります。



❍ 必要に応じて下記の保護具をご使用ください。

- **防じんマスク : 呼吸器の保護**
- **防蜂網 : 蜂の襲来対策**

製品の使用環境・作業環境

❍ 次のような場合は製品を使用しないでください。

- **降雨時や落雷の恐れがあるとき**
- **急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所**
- **夜間や視界が悪い場所**
- **可燃性の液体・ガス・粉じんのある場所**

転落や滑落、誤った操作や、製品から発生する火花などにより事故や重傷を負う原因となります。

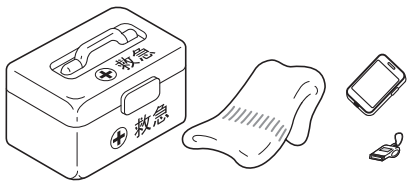
❍ 緩やかな傾斜地では､等高線方向に作業をしてください。

転倒して重傷を負う原因となります。

事故やケガへの備え

❍ 事故やケガに備え、下記の用具を用意してください。

- **救急箱（応急手当用）**
- **タオルや手ぬぐい（止血用）**
- **呼子や携帯電話（外部との連絡用）**



応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。

発火・発煙・火災への備え

❍ 発火・発煙・火災に備え、消火器やシャベルを用意してください。
❍ 製品から発火または発煙したら、身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。
❍ 周囲に類焼しないようにシャベルで砂を掛けるか、消火器で消火してください。

あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。

安全にご使用いただくために

充電器、バッテリ　取り扱い上の注意

⚠ 警告

充電器

❍ **定格表示 (AC100 V) してある電源で使用してください。**

誤った充電条件で充電すると、充電ができなかったり異常な充電が行われ、バッテリの発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **風通しの良い屋内で使用してください。**

水がかかる場所や湿った場所で使用すると充電器内部に水が入り、充電器による感電やバッテリが短絡する原因となります。

❍ **分解、改造をしないでください。**

発熱、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所で充電しないでください。**

高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となり、火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **濡れた手で電源プラグに触れないでください。**

感電の原因となります。



❍ **煙が出たり、発火した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ **使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**

感電やショートして発火する原因となります。

❍ **規定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は充電をやめてください。**

感電、発熱、破裂、発火の原因となります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

バッテリ



❍ 専用充電器で充電してください。

他の充電器を流用すると、発熱、破裂、液漏れ、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 液体で濡らさないでください。

バッテリが濡れた状態で充電や、製品に取り付けて作業すると、異常な充放電となり、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しないでください。

バッテリの液漏れの原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 外傷、変形の著しいバッテリは使用しないでください。
❍ 分解、改造をしないでください。
❍ 次のような取り扱いをしないでください。

- **電子レンジや高圧容器のなかに入れる**
- **火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱する**
- **強い衝撃を与える**
- **鋭いもので刺したり、踏みつける**
- **バッテリの端子部に直接はんだ付けをする**
- **バッテリの + 極と - 極を金属で接続する**
- **保管の際に電気を通しやすいものと一緒にする**

絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷し、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 作業をしないときはバッテリを取り外してください。

不意の始動で事故や重傷を負う原因となります。

❍ 充電中はバッテリを可燃物に近づけたり、覆ったりしないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ 使用、充電、保管時に、異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいた時は、製品または充電器より取り出し、使用しないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ 液漏れや異臭がする場合は、直ちに火気より遠ざけてください。

液漏れした電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

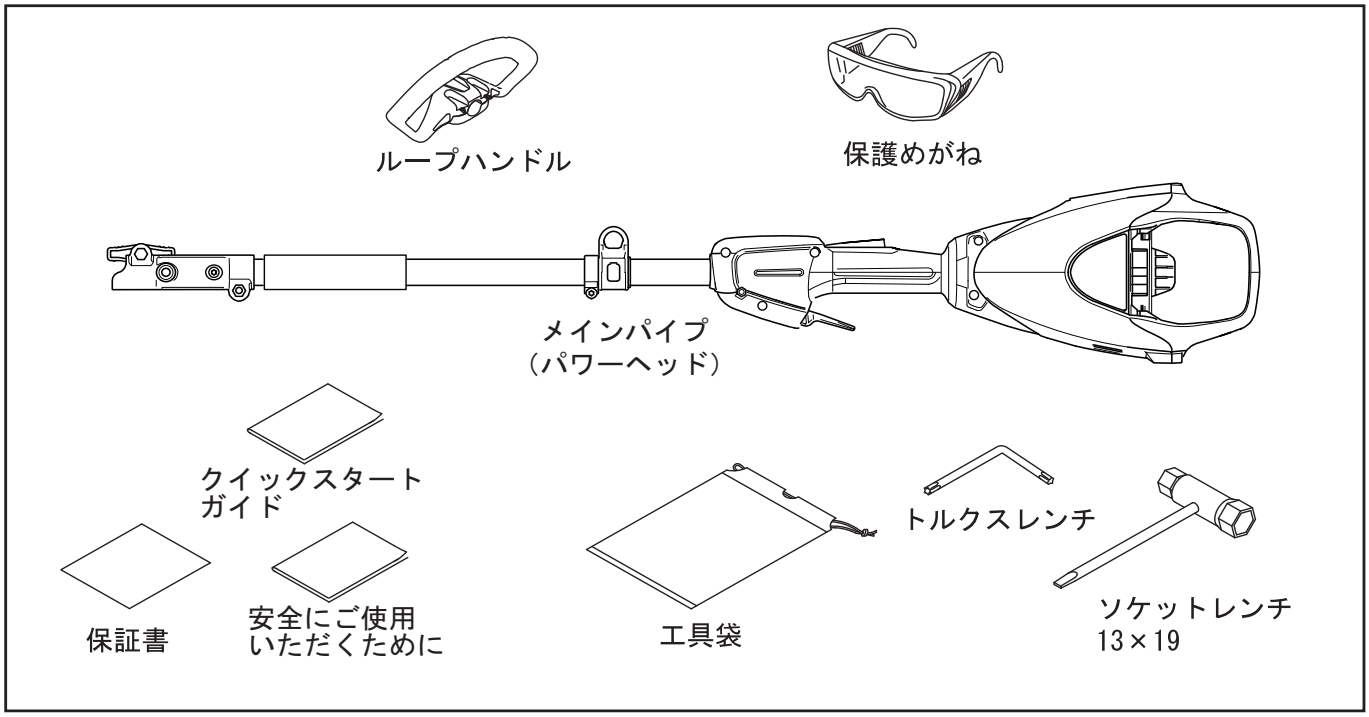
❍ 液漏れした電解液が目に入ったり皮膚についた場合は、流水で洗浄し直ちに医師の手当てを受けてください。

失明したり、皮膚がかぶれたりする原因となります。

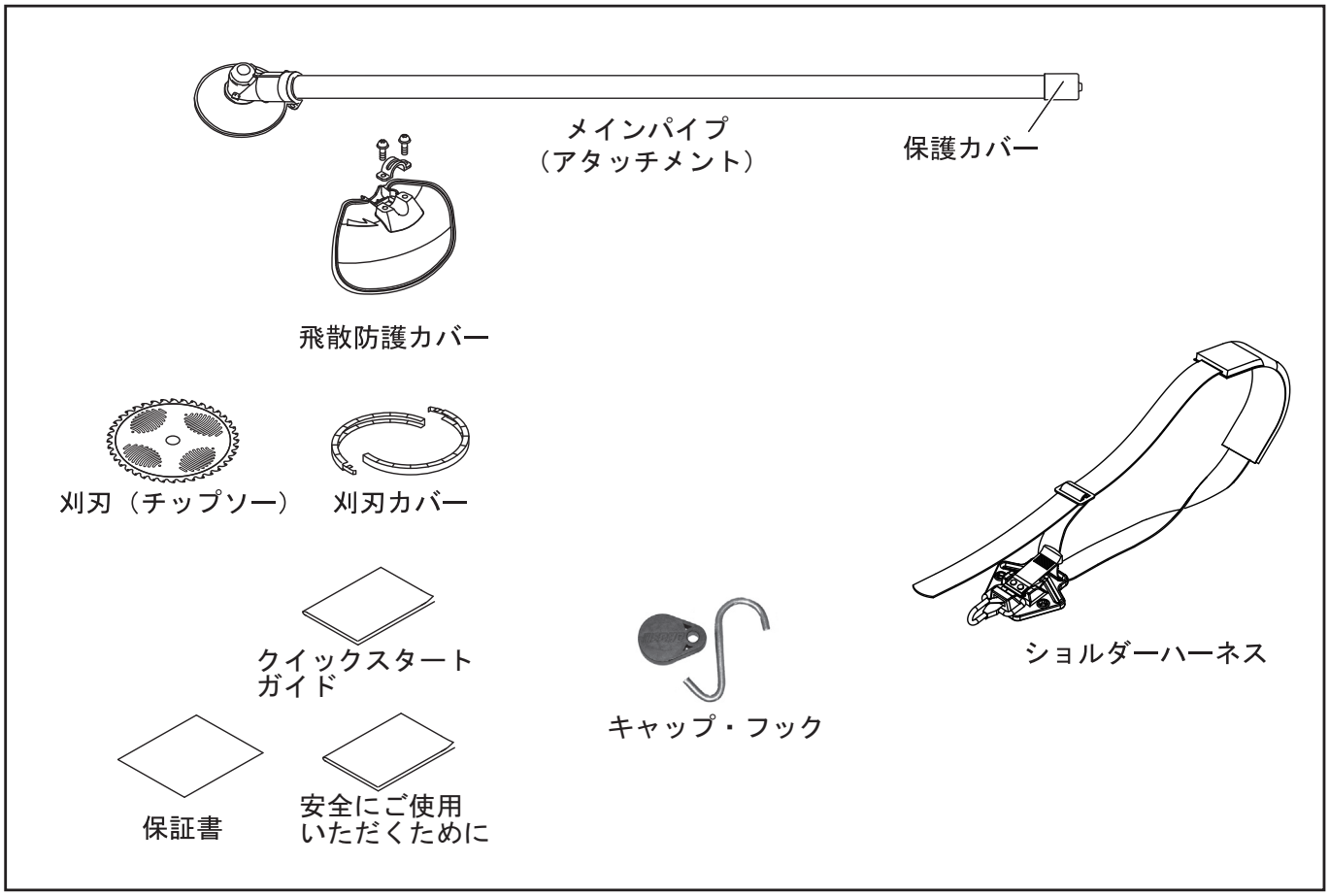
1. 付属品の確認

❍ 欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

BPH511の箱

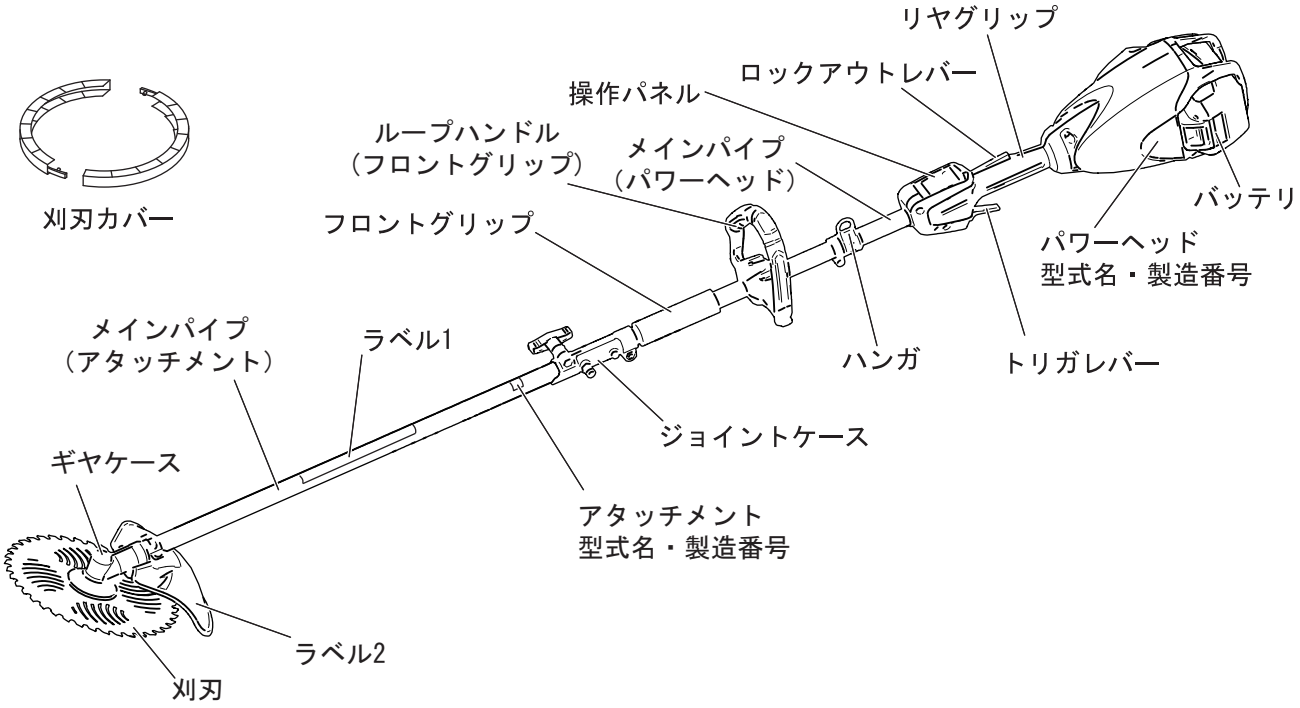


BT-SRAの箱

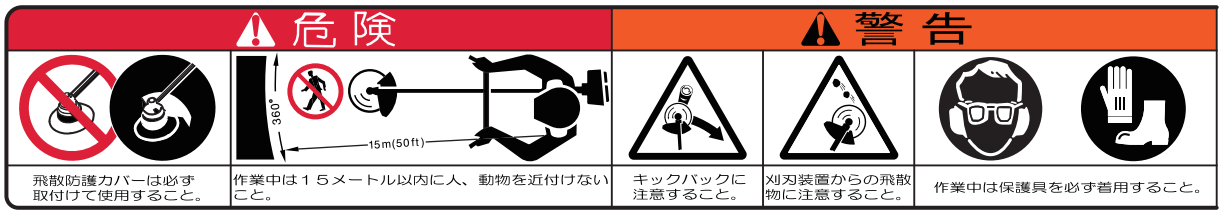


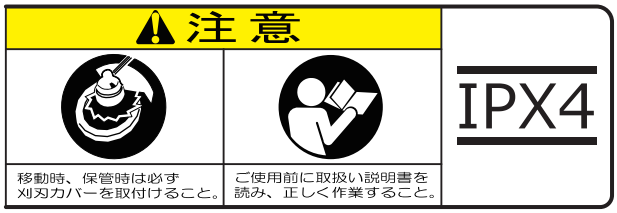
2. 各部の名称と警告表示ラベル

❍ 本書で説明している製品の、各部の名称および警告表示ラベルを示しています。
ご使用前に各部の名称およびラベルの意味を理解してください。
❍ ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態にしてください。

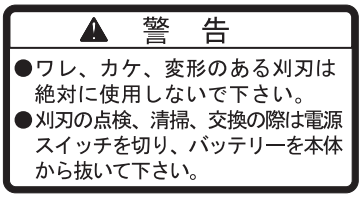


1. 部品番号 X505-011850





2. 部品番号 X505-007090



3. 作業の準備

3-1. 製品の組み立て

⚠ 警告

❍ 取扱説明書をよく読んで、正しく組み立ててください。

誤って組み立てた製品を使用すると、事故や重傷を負う原因となります。

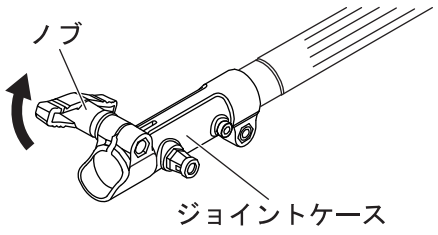


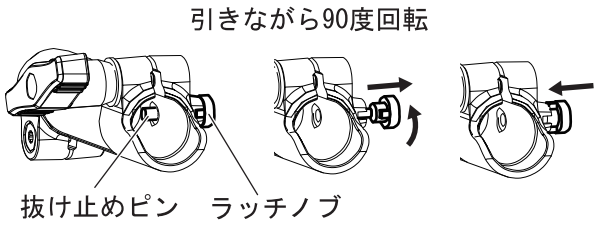
■メインパイプの組み立てと分解

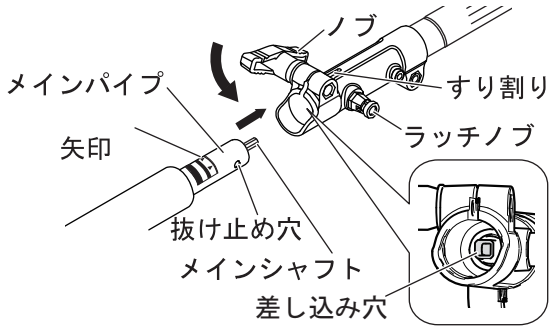
⚠ 警告

❍ ラッチノブの抜け止めピンは、確実に抜け止め穴に差し込んだ状態で使用してください。

メインパイプが外れる恐れがあり、事故や重傷を負う原因となります。

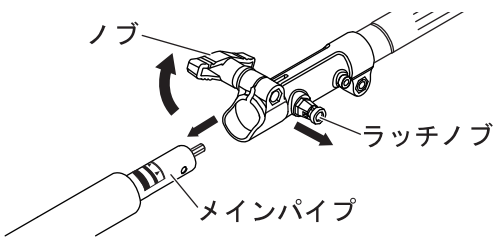






メインパイプの組立て

1. ジョイントケースのノブを回して緩めてください。
2. ジョイントケースのラッチノブを引きながら 90 度回転させて、抜け止めピンがジョイントケースの中側から見えない状態にします。
3. メインパイプ（アタッチメント）の保護カバーを外し、矢印をジョイントケースのすり割りに合わせ、矢印がジョイントケースに届くところを目安にし、内側にある差し込み穴にメインシャフトをかみ合わせながら、メインパイプを差し込んでください。
4. 抜け止めピンと抜け止め穴の位置を合わせてから（正しく組み付けると穴の位置が合います）、ラッチノブを 90 度回転させて、抜け止めピンをメインパイプの抜け止め穴に確実に差し込みます。
5. メインパイプを軽く回すか、または抜くようにして、抜け止めピンが穴にはまり抜けないことを確認してください。
6. ノブを強く締めてメインパイプを固定してください。

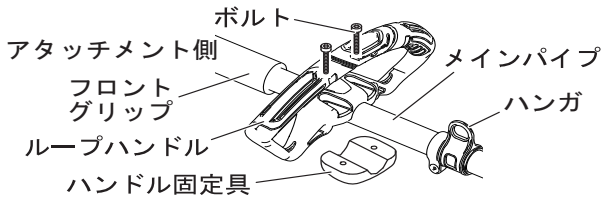


メインパイプの分解

1. ジョイントケースのノブをゆるめてください。
2. ラッチノブを引きながら、メインパイプを引き抜いてください。
3. メインパイプ (ギヤケース側) の先端に保護カバーを取り付けてください。

3. 作業の準備

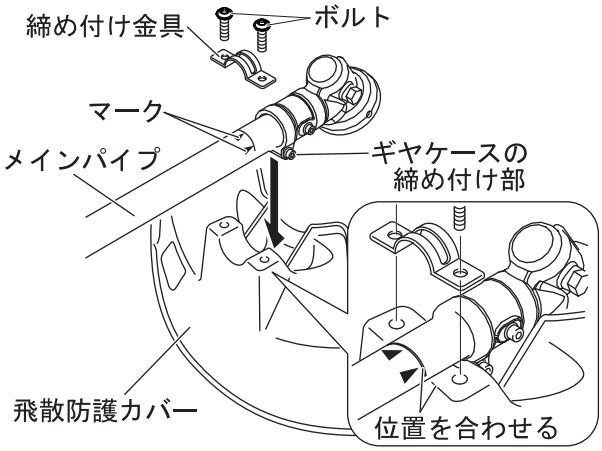
■ハンドルの取り付け



ループハンドルの組み立て

1. 向きに注意して、ループハンドルを、フロントグリップとハンガの間で、作業しやすいように、メインパイプにボルトで取り付けてください。

■飛散防護カバーの取り付け



* あらかじめ飛散防護カバーに締め付け金具が取り付けてある場合は、付属のトルクスレンチで締め付け金具の 2 本のボルトを取り外してください。

1. ギヤケースの締め付け部を飛散防護カバー上部のヘコミに、締め付け金具をマークの位置に合わせてください。
2. 締め付け金具でメインパイプをはさむように取り付けてください。
3. 締め付け金具の穴にボルト（2 本）を通し、付属のトルクスレンチで締め、飛散防護カバーをメインパイプに固定してください。

3-2. 刈刃の取り付け

⚠ 警告

❍ 製品からバッテリを取り外してください。
❍ 刈刃を扱うときは、厚手の手袋を着用してください。
❍ 刈刃は、付属のソケットレンチを押さえながら、確実に締め付けてください。

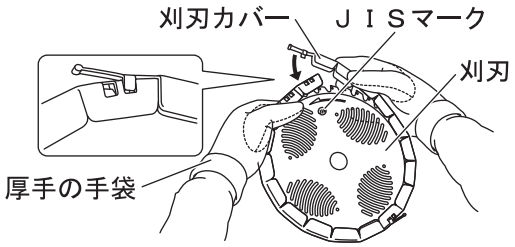


事故や重傷を負う原因となります。

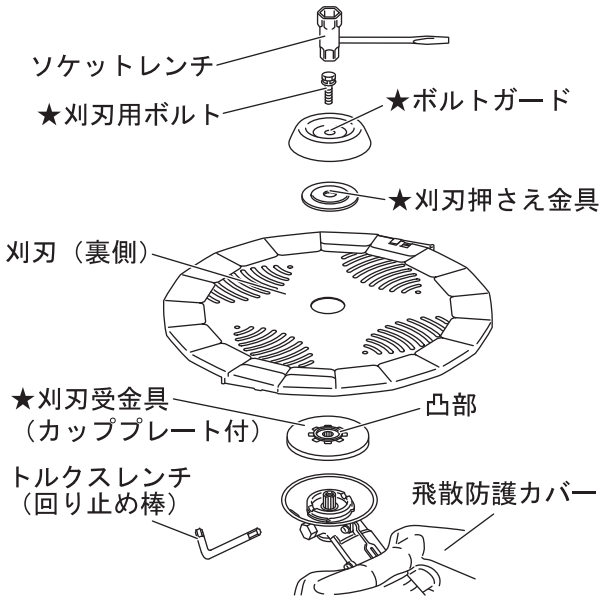
❍ 刈刃を締め付けるときに、付属のソケットレンチ以外のエア工具、電動工具などを使用したり、体重を掛けて締め付けたりしないでください。

必要以上の締め付けにより、刈刃用ボルトや刈刃駆動軸が破損して、事故や重傷を負う原因となります。

1. 刈刃に刈刃カバーを取り付けてください。



3. 作業の準備



❍ ギヤケース各部品と刈刃の取り付け順序と向きは、図の通りです。

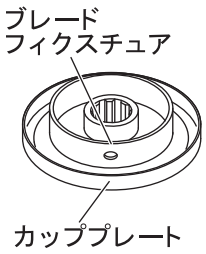
＊ 刈刃の表側は刻印や ＪＩＳ・矢印マークなどがある面です。

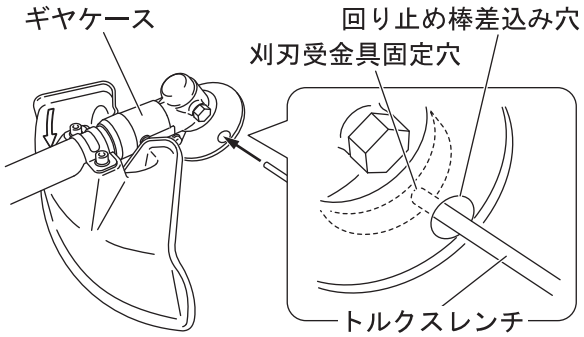
＊ ★印の部品は刈刃固定金具類です。

警告

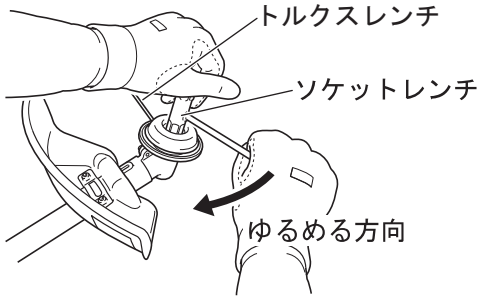
❍ **刈刃受金具(カッププレート付ブレードフィクスチュア)は、刈刃を保持する部品です。破損した場合は交換してください。カッププレートのない状態で使用しないでください。**

事故や機械の故障の原因になります。

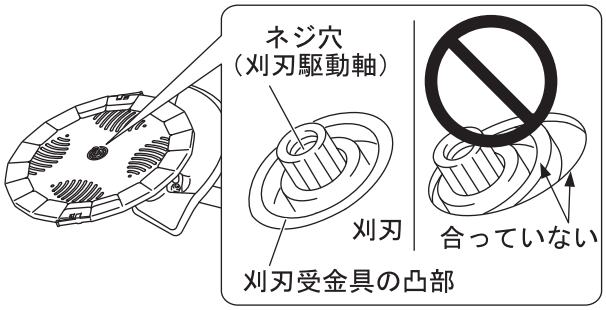




2. 刈刃用ボルトを回して、ギヤケースの回り止め棒差し込み穴と刈刃受金具固定穴を合わせ、付属のトルクスレンチを差し込み、刈刃受金具を固定してください。



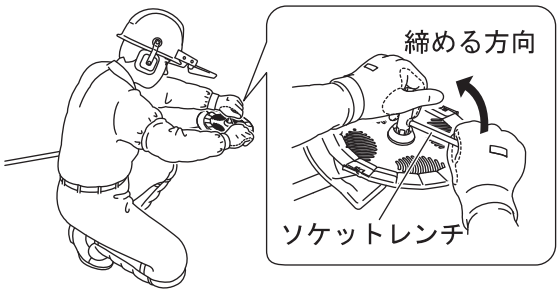
3. ギヤケースを反転して、付属のソケットレンチで刈刃用ボルトを時計方向に回してゆるめて、刈刃用ボルト、ボルトガード、刈刃押さえ金具を外してください。



4. 刈刃の表側を刈刃受金具に向け、刈刃受金具の凸部に組み付けてください。

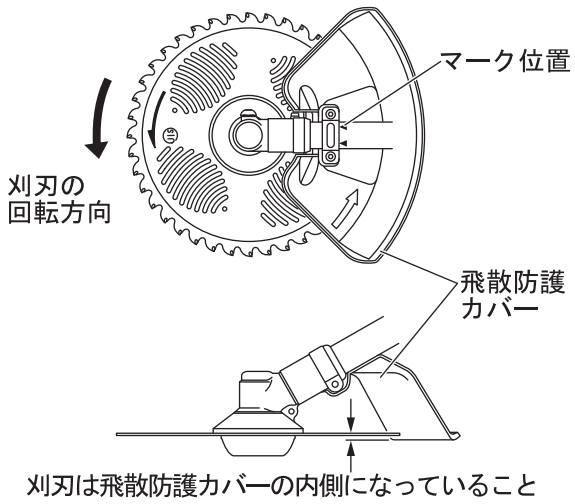
＊ 刈刃駆動軸のネジ穴にゴミが入らないように注意してください。ゴミが入ると、刈刃用ボルトが確実に締付けられない恐れがあります。

＊ 刈刃受金具の凸部が刈刃の中心の穴に、きちんと合っていることを確認してください。



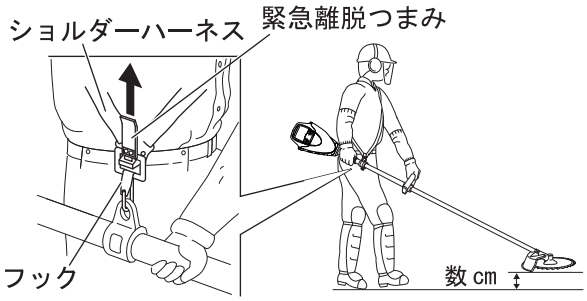
5. 刈刃押さえ金具、ボルトガードを取り付け、刈刃用ボルトを手で仮締めしてください。
6. トルクスレンチを差し込んで、刈刃受金具を固定してください。
7. ソケットレンチで刈刃用ボルトを左図のような姿勢で締め付けてください。
   * この姿勢でしっかり締めると、必要な締め付けトルクで締めることができます。
   * 強く締め付けられないときは、締め付けられる人に締め付けを依頼してください。
   * 参考：締め付けトルクは、18 ～ 25 N・m (180 ～ 250　kgf・cm）です。
8. トルクスレンチと刈刃カバーを外し、刈刃を手で回して振れ・ゆるみがないか確認してください。
9. 飛散防護カバーの締め付け金具がマーク位置に合うように取り付けられ、刈刃が飛散防護カバーの内側になっているか確認してください。内側になっていないときは、飛散防護カバーの取り付けを修正してください。

❍ 製品を持ち運ぶときは、刈刃に刈刃カバーを取り付けてください。



3-3. バランスの調整

■ショルダーハーネスの調整

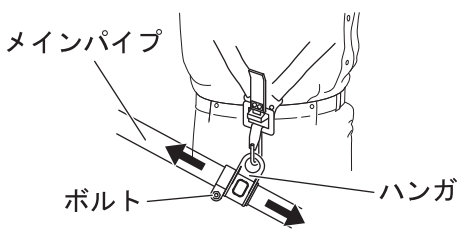


1. ショルダーハーネスを頭から通し、フックが身体の右側にくるように掛けてください。
2. フックが腰の位置になるように、ショルダーハーネスの長さを調整してください。
3. フックに製品を装着してください。

* 緊急離脱つまみを上に引くと、ショルダーハーネスからフックが瞬時に切り離されます。

4. 両手でループハンドルとグリップを握ったときに、刈刃と飛散防護カバーが地上から数 cm の高さで水平になるように、ショルダーハーネスの長さを調整してください。
5. 上記の方法で水平にならないときは、ハンガとハンドルを調整してください。

■ハンガの調整



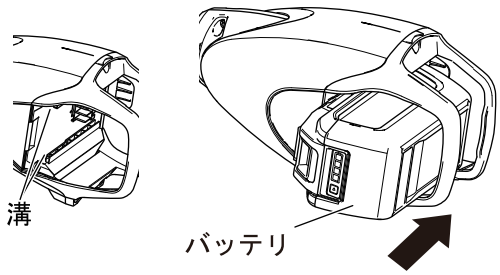
ハンガのボルトをゆるめ、ハンガを前後に移動して、刈刃と飛散防護カバーが地面と水平になるように調整し固定してください。

3. 作業の準備

3-4. バッテリの取り付け・取り外し

⚠警告

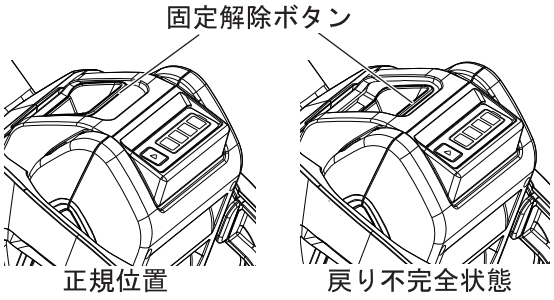
❍ **バッテリを取り付ける前に、バッテリ、充電器の取扱説明書を読んでください。**
組み立てや作業中に、扱いを間違えると事故の原因になります。



指定のバッテリ、充電器（25 ページの「仕様」）を使用してください。

■ 取り付け

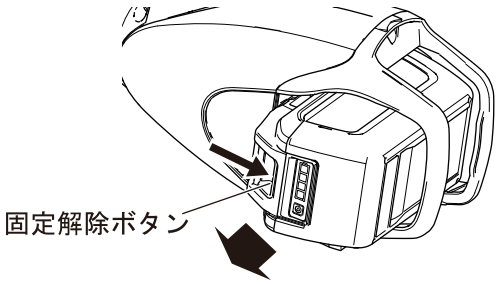
1. 製品本体のバッテリ取り付け位置の溝にバッテリを合わせ、バッテリを差し込んでください。



2. バッテリを奥まで差し込んで、固定解除ボタンが正規の位置に戻っていることを確認してください。

⚠警告

❍ **バッテリは確実に取り付けてください。**
確実に取り付けないとバッテリが外れて事故の原因になります。



■ 取り外し

1. 電源スイッチが切れていることを確認してください。
2. 取り外すときは、バッテリの固定解除ボタンを押しながら製品本体より引き抜いてください。

4. 始動・停止

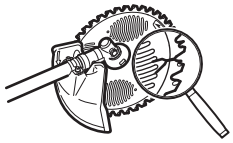
⚠ 警告

❍ **可燃性の液体、ガス、ほこりなどがあり、爆発が起こる可能性のある中で、製品を操作しないでください。**

製品から火花が出て、ガスなどに引火する原因となります。

❍ **製品を始動するときは、次のことを守ってください。**

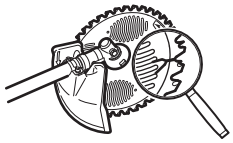
- **刈刃のヒビ、欠け、ゆるみ、ガタがないことを確認する**
- **刈刃が地面や障害物に接触していないことを確認する**
- **ボルトやナット類にゆるみがないことを確認する**
- **周囲は広くとり、人や動物を近づけない**



事故や重傷を負う原因となります。

❍ **製品を持ったり、運んだりするときは、次のことを守ってください。**

- **操作時以外はスイッチやレバーに指を掛けて持たない**
- **他の作業場などに運ぶ時はスイッチの電源を切り、バッテリを取り外し、刈刃カバーを装着する**



守らないと事故や重傷を負う原因となります。

❍ **スイッチやレバーに指を掛けて運ばないでください。**

製品が作動して、事故や重傷を負う原因となります。

❍ **製品が始動したら、異常振動・異常音が発生していないか確認してください。異常振動・異常音がある場合は直ちに停止し、販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。**

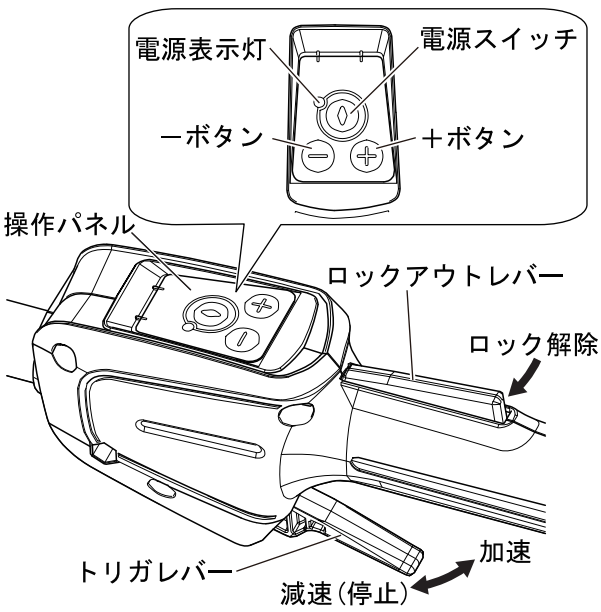
部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

❍ **製品の運転中および停止後しばらくの間は、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。**

高温部に触れると火傷します。



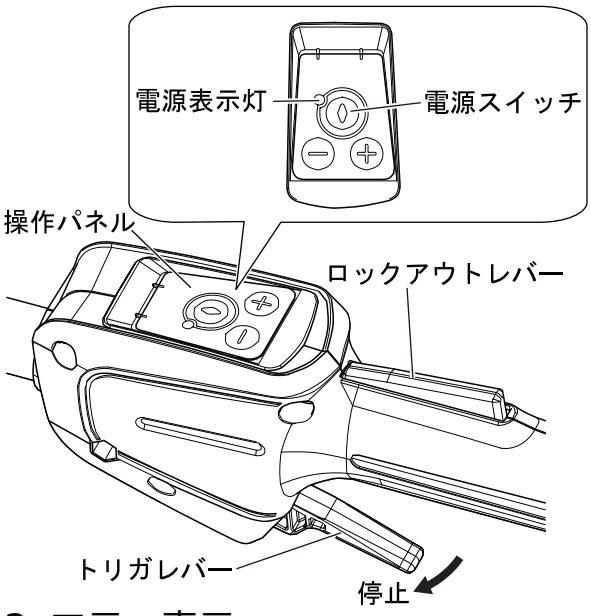
4-1. 始動



1. 刈刃カバーを取り外してください。
2. バッテリを取り付けてください。(14 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照)
3. ハンガをショルダーハーネスに取り付けてください。
4. 刈刃が何かに触れていないことを確認してください。
5. 電源スイッチを押して、電源を入れてください。電源が入ると電源表示灯が点灯します。
6. ＋ボタン、－ボタンを押して速度を設定してください。
   * ＋ボタンを押すと速度が上がり、－ボタンを押すと速度が下がります。
   * 速度は、低速、中速、高速の 3 段階です。
7. ロックアウトレバーとトリガレバーを一緒に握ってください (刈刃が動き始めます)。トリガレバーの握り具合で速度が変わります。
   * トリガレバーを握った状態でも、＋ボタン、－ボタンを押すと速度の設定が切り替わります。
8. トリガレバーの握りを解除してください。(刈刃が停止します)。速度の設定は維持されます。
   * 電源が入った状態で約 90 秒間､刈刃を作動しないと自動的に電源が切れて電源表示灯が消灯します。再開したい場合は、電源スイッチを押して電源を入れ直してください（上の手順 5 に戻ってください)。
9. ロックアウトレバーとトリガレバーを一緒に握ってください (刈刃は再度動き始めます)。トリガレバーの握りと解除の繰り返しで作業できます。

4. 始動・停止

4-2. 停止



⚠注意

❍ **刈刃は、電源スイッチを切った後も短時間動作していることがあります。**

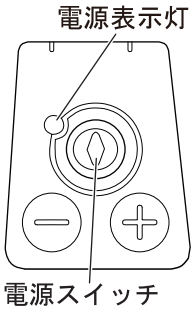
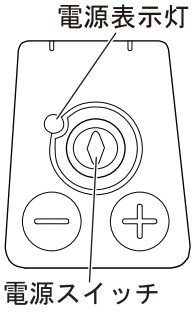
刈刃が停止するまで、周囲を広くとり、人や動物を近づけないでください。

1. トリガレバーとロックアウトレバーの握りを解除してください (刈刃が停止します)。
2. 電源スイッチを押して、電源を切ってください。電源表示灯が消灯します。

＊ 刈刃が停止しない場合は、バッテリを取り外してください。(14 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照)

再び製品を使用する前に、販売店、または、やまびこサービスショップに点検と修理を依頼してください。

4-3. エラー表示

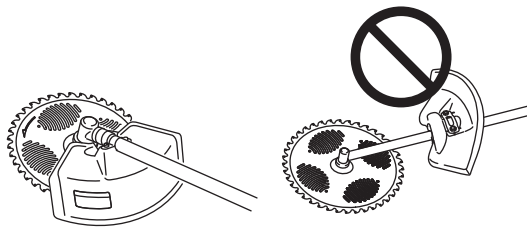
電源表示灯の点灯状態		エラー内容 ／ 原因 ／ 復帰方法
■ 電源表示灯が点滅 (毎秒 4 回点滅)		・ エラー内容：過負荷による停止 ・ 原因　：刈刃ロックなど (刈刃周辺に木などの異物が詰まった場合) ・ 復帰方法　：バッテリを取り外し、原因を取り除き、電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容：過熱による停止 ・ 原因　：製品やバッテリが高温になっている ・ 復帰方法　：冷却後に電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容：トリガレバーの繰り返し操作 ・ 原因　：トリガレバーを握る・離すの操作を短時間に繰り返した ・ 復帰方法　：電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容：誤作動 ・ 原因　：トリガレバーを握った状態で電源スイッチを入れた ・ 復帰方法　：トリガレバーの握りを解除する
■ 電源表示灯が点滅 (毎秒 1 回点滅)		・ エラー内容：バッテリの電圧異常 ・ 原因　：バッテリの容量不足 ・ 復帰方法　：バッテリを充電する
		・ エラー内容：バッテリの電圧異常 ・ 原因　：バッテリの過放電 ・ 復帰方法　：バッテリを充電する 解消されないときはバッテリを交換する
		・ エラー内容：バッテリ電圧センサ異常 ・ 原因　：バッテリ内のセンサ接触不良・断線 ・ 復帰方法　：バッテリを交換する

5. 刈払作業

⚠ 危険

❍ 飛散防護カバーをずらしたり、取り外したりしないでくださ い。

刈刃からの飛散物による事故や重傷を負うことになります。



❍ 刈刃が隠れた配線に接触する可能性があるため、作業中は製品の絶縁されたハンドルを保持してください。

❍ 製品の中心から半径 15 m の範囲は危険区域です。作業中は次のことを守ってください。

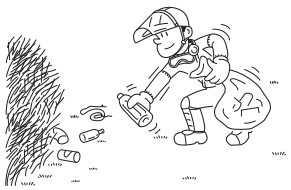
- **危険区域に人や動物を入らせない**
- **危険区域に人や動物が入ったときは、刈刃を停止させる**
- **作業者に近づくときは、危険区域の外から小枝を投げるなどの合図をして作業者に知らせ、刈刃の停止を確認する**
- **二人以上で作業するときは、お互いに合図のしかたを決めて 15 m 以上離れる**

刈刃からの飛散物や刈刃との接触により、失明や死亡事故を起こすことになります。

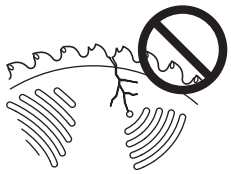
⚠ 警告

❍ 作業前に、作業する場所にある刈刃で跳ね飛ばしそうな小石や空き缶、刈刃周辺にからまりそうなヒモや針金やケーブルなどは取り除いてください。

異物を跳ね飛ばしたり、製品にからみついた針金などが跳ね返ったりして、事故や重傷を負う原因となります。



❍ 刈払作業では次のことを守ってください。



- **刈刃が岩、立木、杭などの障害物に当たったときは、直ちにトリガレバーから手を離して刈刃の停止を確認して、電源スイッチを切ってから、刈刃と飛散防護カバーの損傷を点検する**
- **ヒビの入った刈刃は使用しない**
- **刈刃周辺に詰まった草を取り除くときは、トリガレバーから手を離して刈刃の停止を確認して、電源スイッチを切る。**
- **飛散防護カバーが破損したら交換する**
- **刈刃用ボルトが摩耗したら交換する**

事故や重傷を負う原因となります。

❍ ロックアウトレバーやトリガレバーをテープなどで固定しないでください。

事故や重傷を負う原因となります。

❍ 刈刃を膝より高く持ち上げないでください。

膝より高く持ち上げると刈刃が顔に近くなり、刈刃からの飛散物により、事故や重傷を負う原因となります。

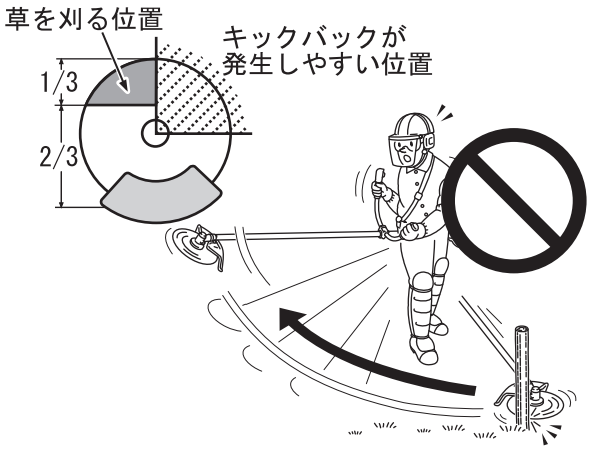
❍ 雨中や湿気の多い場所で使用したり、放置しないでください。

感電や本機およびバッテリが故障する原因となります。

5. 刈払作業

⚠ 警告

キックバック



- **高速で回転する刈刃が樹木や杭、岩など硬いものに触れたときに、その反動で瞬間的に強く跳ね返る現象をキックバックと呼びます。**
- **キックバックを起こすと製品を制御できなくなり、大変危険です。**
- **特にかん木などが刈刃の正面から右側 90° の範囲内に当たったときに、刈刃は右側後方に強く跳ね返りを起こします。**
- **キックバック防止のために左から右へ刈払わないでください。また刈刃が硬いものに触れないように注意してください。**
- **刈刃の先端から左側 1/3 の部分で草を刈ってください。**

ケガや死傷事故を起こす原因となります。

- **次のような移動時は刈刃が停止してから、電源スイッチを切り、刈刃カバーを付けてください。**

- **作業場へ移動するとき**
- **作業中に他の場所へ移動するとき**
- **作業場から帰るとき**

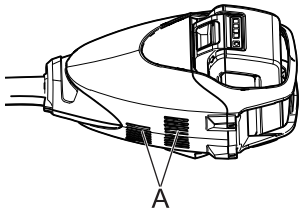
事故や重傷を負う原因となります。

- **車で運搬するときは製品からバッテリを取り外し、刈刃カバーを付け、製品が動かないように固定してください。**

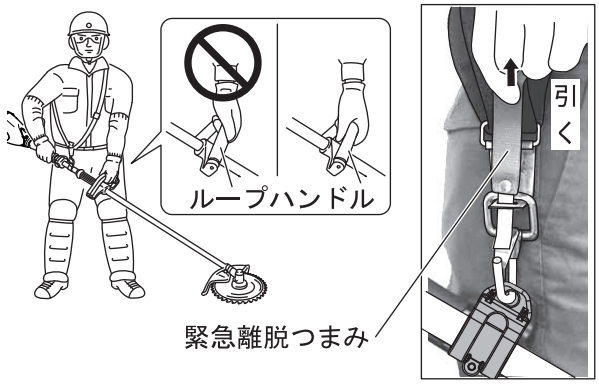
バッテリを取り付けたまま車で移動すると、誤動作の原因となります。

重要

- **製品の冷却風通路（A）をふさがないでください。排気ができず本体が破損する恐れがあります。**
- **過負荷による自動停止が頻繁に起こると、モーターが過熱して破損する恐れがあるので、過負荷にならないように少しずつ刈ってください。**
- **周囲温度 0 ℃～ 40 ℃で製品を使用してください。**

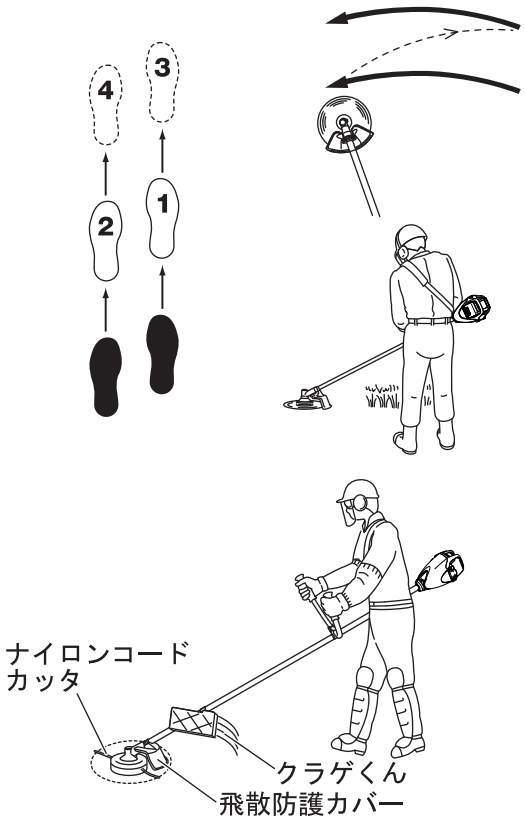


5-1. 作業姿勢



- ショルダーハーネスを着用してください。
- 製品をショルダーハーネスに装着してください。
- 両手で各グリップを握り、両足を肩幅よりやや広く広げてください。製品を片手で使用しないでください。
- グリップに親指を掛け、他の指とともにグリップを囲むように握ってください。
- ショルダーハーネスには緊急離脱装置が付いています。火災など緊急の場合は緊急離脱つまみを上に引き、製品を身体から離してください。

5-2. 刈払作業



- メインパイプを腕で振り回さず腰の回転で刈刃を水平に右から左に振り、刈刃の左側で雑草を刈ってください。
- 草が飛び散り、キックバックを起こしやすくなるので、往復刈りや大振りをしないでください。
- 図のように、右足を前にし、すり足で前進してください。右足から前に進み左足がこれに続くという進み方をしてください。
- 刈刃を左側に 5 ～ 10° 傾けて刈ると草が左側に寄るので作業しやすくなります。
- 刈幅は 1.5 m くらいが適当です。
- 緩やかな傾斜地では、等高線方向に作業してください。
- ギヤケースを地面に接触させて作業すると、刈刃固定金具類が摩耗しやすくなります。摩耗したときは交換してください。
- 作業中に過負荷状態が続くと、過負荷保護回路により刈刃が停止します。このとき電源表示灯が点滅し過負荷状態であることを表示します。一度電源スイッチを切ってから、過負荷の原因を取り除いてください。（16 ページの「エラー表示」を参照）その後、作業を再開してください。
- 作業終了後はバッテリを取り外してください。
- バッテリを取り外す場合は、電源スイッチを押して電源表示灯が消灯していることを確認してから取り外してください。
- ナイロンコードカッタ（別売品 26 ページ参照）を使用するときは、次のことを守ってください。

  ナイロンコードカッタ付属の取扱説明書をよく読むこと
  飛散防護カバーと「クラゲくん（別売品）」を併せて使用すること

6. 点検・整備

⚠ 警告

❍ **製品の点検・整備をするときは、刈刃を停止し、電源スイッチを切ってからバッテリを取り外してください。**
事故の原因となります。

重要

❍ お買い求めいただいた製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備をしてください。
❍ 異常や通常より振動や騒音が増えたと感じた場合は、販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。
❍ 点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、販売店、または、やまびこサービスショップにご相談ください。
❍ 水洗いはしないでください。
製品の内部に水が入り故障の原因となります。

6-1. 点検・整備の目安

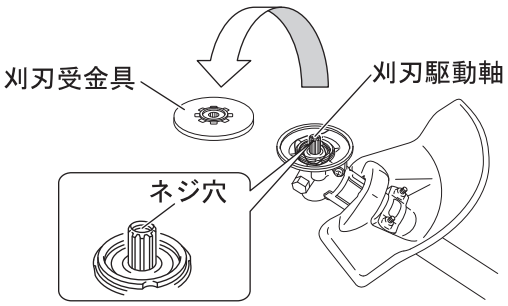
点検・整備項目	作業前または作業後	作業 25 時間毎	作業 100 時間毎	参照ページ
バッテリ容量	○			–
刈刃、飛散防護カバー	○			17
刈刃固定金具類	○		●	21
ギヤケース	○			21
ギヤケースのグリース注油		○		22
製品の周りの清掃		○		22
ボルト、ナット	○			–
各部の増し締め			●	–

○：ご自分で点検・整備してください。
●：製品の性能維持のため、販売店、または、やまびこサービスショップに定期的な点検を依頼し必要に応じ交換してください。

異常がある場合、または通常より振動や騒音が増えたと感じた場合は、販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。

6-2. 作業後の点検・整備

■ギヤケースの点検



ギヤケースと刈刃の間に草などが巻きついていないか点検してください。草などが巻きついているときは、刈刃を外して次の手順で清掃してください。

1. ギヤケースから、刈刃受金具を外してください。
2. 刈刃駆動軸のネジ穴にゴミが入らないように注意してください。ゴミが入ると、刈刃用ボルトが確実に締め付けられない恐れがあります。
3. 刈刃受金具の内側や刈刃駆動軸に巻きついている草やヒモ、泥などを取り除いてください。
4. 刈刃受金具類が摩耗しているときは、交換してください。
5. 刈刃駆動軸にガタがないかを点検し、異常があるときは販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。
6. 外した部品を元通りに取り付けてください。

6-3. 刈刃の交換

⚠ 警告

❍ 製品からバッテリを取り外してください。
❍ 刈刃を交換するときは次のことを確認してください。

- 厚手の手袋を着用していること
- 刈刃の回転が止まっていること
- 刈刃に刈刃カバーが取り付けてあること

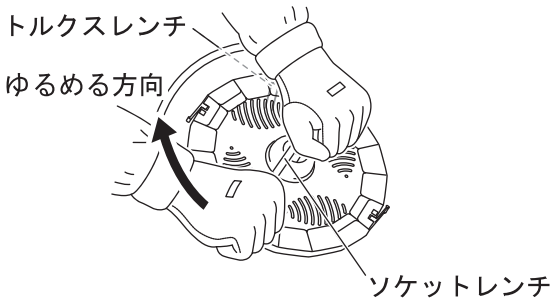
❍ 刈刃や刈刃固定金具類は純正部品を使用してください。
❍ 刈刃は大きさが 255 mm 以下のチップソーを使用してください。
❍ 薄い刈刃は危険です。板厚 1.2 mm より薄い刈刃は使用しないでください。
❍ 刃先が摩耗して目立ての必要があるときは、販売店、または、やまびこサービスショップにご相談ください。

刈刃の損傷や飛散により、事故や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意

❍ 連続運転直後は、ギヤケースが熱くなっているので、触れないでください。

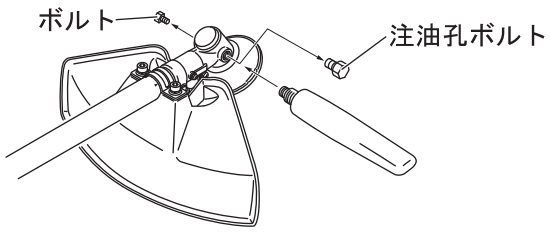
火傷の恐れがあります。



1. 刈刃を回して回り止め棒差し込み穴と刈刃受金具固定穴を合わせ、付属のトルクスレンチを差し込んでください。
2. ギヤケースを反転して付属のソケットレンチで刈刃用ボルトを時計方向に回して、刈刃用ボルト、刈刃押さえ金具を外し、刈刃を取り外してください。
3. 刈刃受金具を外し、内側のゴミを取り除いてください。
4. 刈刃の取り付け手順と注意事項は、11 ページの「刈刃の取り付け」を参照してください。

6-4.25 時間毎点検・整備要領

■ギヤケースのグリース注油



1. 注油孔ボルト、ボルトを外してください。
2. 純正グリースのチューブを注油孔にねじ込んで補給してください。
3. 古いグリースは新しいグリースに押されてボルトを外した部分から出てきます。新しいグリースが出てくるまで補給してください。
4. 注油後は、注油孔ボルト、ボルトをしっかり締め付けてください。

■製品の周りの清掃

- 製品の周りに付いたゴミなどを取り除いてください。

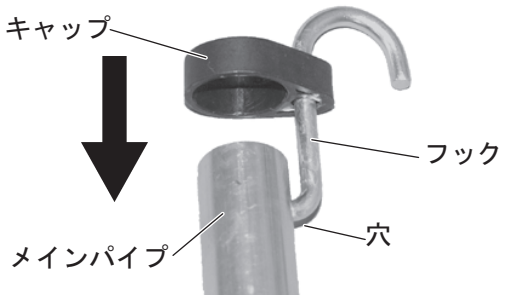
7. 保管

⚠ 警告

❍ 可燃ガスが充満している密閉された場所に保管しないでください。

火災の原因となります。

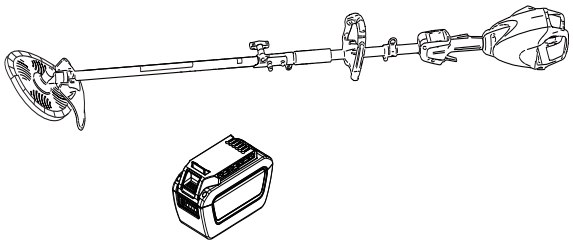




収納フックの取り付け

1. フックのＳ字の小さい方をメインパイプ（アタッチメント）の穴に入れてください。
2. キャップをメインパイプの先端にスライドして固定してください。

❍ 製品を長期間にわたって保管する場合は、下記の手順で整備をしてください。



1. 電源スイッチを切り、電源表示灯が消灯していることを確認してください。
2. 製品本体からバッテリを取り外してください。
3. 製品が十分に冷えてから、外側に付いたホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
4. 本書に定められた定期的な点検をしてください。
5. ボルト、ナット類が締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
6. 刈刃カバーを取り付けてください。
7. バッテリを充電器に取り付けないでください。
8. 製品本体、バッテリ、充電器とも、子供の手の届かないホコリの少ない、乾燥した 0 ℃～ 40 ℃の場所に保管してください。

＊ メインパイプを分解して保管できます。

＊ バッテリを 1 年以上使用しないときには、劣化を防ぐために 40%～ 60%の容量で充電し、10 ℃～ 30 ℃の場所に保管してください。

8. 故障対策

8-1. 故障診断表

重要
❍ 補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。 純正または指定以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

■ 本体

故障内容	原因	対策
電源が入らない	• バッテリが製品本体に正しく装着されていない	• 正しく取り付ける (14 ページ)
ロックアウトレバーとトリガレバーを一緒に握っても刈刃が回転しない	• 製品本体やバッテリが過熱状態にある	• 冷却後に電源スイッチを入れる (15 ページ)
	• ギアケースと刈刃の間に草などの異物が巻きついている	• 清掃 (21 ページ)
	• バッテリの容量不足	• 充電する
	• 始動の手順を間違える	• 正しく始動する (15 ページ)
	• トリガレバーを握る・離すの操作を、短時間で繰り返す	• 電源スイッチを入れ直す (15 ページ)
始動してもすぐに停止する	• バッテリが過熱状態になっている	• バッテリを製品本体から取り外し、十分冷ましてから再度取り付ける (14 ページ)
	• 製品本体が過熱状態になっている	• 電源を切って、製品を十分に冷ます
	• バッテリの容量不足	• 充電する
切れ味の低下	• 刈刃の摩耗	• 新品と交換

＊ 表中に記載されていない故障など、ご不明な点は販売店、または、やまびこサービスショップにご相談ください。

8-2. 製品の廃棄

❍ 製品や部品を廃棄するときは、自治体の指導に従ってください。

8-3. バッテリの回収



❍ 本製品で使用しているバッテリはリサイクルのため、回収しています。
❍ 廃棄するときは、お買い求めの販売店または当社営業所にお持ちください。

❍ やまびこは一般社団法人 JBRC（ホームページ https://www.jbrc.com）に加盟し、リサイクルを実施しています。

バッテリにはリサイクル可能な希少資源が使われています。これらを有効活用するため、使用済みバッテリのリサイクルを推進しています。

9. 仕様

❍ 本体仕様

型式名		BPH511-SR
項目	単位	
質量（ISO 11806 による） 刈刃、肩掛けバンド、 飛散防護カバー、バッテリ を除く	kg	3.5
ギヤケース		
歯車減速比	–	1.36
潤滑剤	–	純正グリース
刈刃	–	チップソー 40 枚刃（255 mm）
刈刃駆動軸回転方向 （ギヤケース上から見る）	–	反時計方向
外形寸法（刈刃除く）		
長さ × 幅 × 高さ	mm	1,828×242×213
モーター	–	DC ブラシレスモータ
回転数	r/min	4,860-9,200
適合バッテリ	–	やまびこ純正 50V 1P バッテリ , やまびこ純正 50V 2P バッテリ
適合充電器	–	やまびこ純正 50V 充電器

※ この仕様は予告なしに変更することがあります。

10. その他

10-1. 補用品と消耗品

部品名称	部品番号	備考
チップソー（KL）	X405-000240	255 mm 40P 窓アキ
ナイロンコードカッタ	X047-000281	DS-3
クラゲくん	C055-000010	ナイロンコード用飛散防護カバー
刈刃用ボルト	V216-000021	
ボルトガード	X426-000020	
刈刃押さえ金具	C535-000120	
刈刃受金具	C535-001170	
トルクスレンチ	X605-000060	
ソケットレンチ	X602-000080	
グリース	X695-000010	50 g パイロノックユニバーサル 2

- 作業内容と用途および仕様・規格により、本製品への適合性を確認し、販売店、または、やまびこサービスショップとご相談の上、購入してください。

メ　モ

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0120-176-181(製品・技術的な問い合わせ)
受付時間:弊社営業日　9:00～12:00 / 13:00～17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0428-32-6181 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X780823-0000
(C) 2025 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。

バッテリー
ヘッジトリマー

取 扱 説 明 書

型 式

BPH511-HT

（BPH511＋BT-HTA）

このたびは、当社製品をお買い上げ頂き、厚くお礼申し上げます。

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

目　次

安全にご使用いただくために 3

1 付属品の確認 8

2 各部の名称と警告表示ラベル 9

3 作業の準備 10
3-1. 製品の組み立て 10
3-2. 刈刃角度の調節 11
3-3. バランスの調整 12
3-4. バッテリの取り付け・取り外し 12

4 始動・停止 14
4-1. 始動 14
4-2. 停止 14
4-3. エラー表示 15

5 剪定・刈り込み作業 16
5-1. 基本的な作業方法 17

6 点検・整備 18
6-1. 点検・整備の目安 18
6-2. 刈刃の手入れ 19
6-3.15 ～ 20 時間毎点検・整備要領 20
6-4.25 時間毎点検・整備要領 20

7 保管 21

8 故障対策 22
8-1. 故障診断表 22
8-2. 製品の廃棄 22
8-3. バッテリの回収 23

9 仕様 24

10 その他 25
10-1. 補用品と消耗品 25

安全にご使用いただくために

警告表示について

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。	**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。**	**その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。**

その他の表示について

	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものがすべて禁止されていることを表します。

重要
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		半径１５ｍ以内に他の人を近づけないこと
	安全 / 警告		足の保護具と手袋を着用すること
	作業中は目、頭の保護具を必ず着用すること		高温部に注意すること
	手の切断に注意すること		感電注意

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ

⚠ 警告

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

取扱説明書



- **この取扱説明書には、製品の組み立てや操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので、よく読んで理解してください。**
- **この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。**
- **バッテリ、充電器の取扱説明書を読んでください。**
- **製品の改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。**
- **使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。**
- **損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店に相談または株式会社やまびこホームページを参照してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用目的以外の使用禁止

- **この製品は枝の直径が 6 mm 以下の生垣や植込の剪定、刈込作業に使用してください。**
- **本書に記載されている用途以外に使用しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

- **製品を改造しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

- **定期的に点検・整備をしてください。**
- **点検・整備をするときは、バッテリを取り外してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

- **製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者



- **体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。**
- **次のような人は使用しないでください。**
  - **妊娠している人**
  - **16 歳未満の人**
  - **取扱説明書の内容を理解していない人**

事故や重傷を負う原因となります。

- **この製品から発生する電磁波が、ペースメーカーなどの植込み型医療機器に影響を及ぼす可能性があります。健康上のリスクを避けるため、植込み型医療機器を使用している人は、製品を使用する前にかかりつけの医師または植込み型医療機器の製造元に相談してください。**

保証書

- **使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。詳しくは保証書をお読みください。**

健康管理

- **休憩をとりながら余裕を持って作業をしてください。手足や身体を温かくしてください。**
- **作業中に体調が悪くなった場合はすぐに作業を中断してください。**
- **1 日の作業時間は、4 時間以下を目安にしてください。**

長時間の作業は、製品の振動等により身体に負担がかかり、健康障害の原因となります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

服装の点検

❍ 身体に合った作業衣を着用し、次のことを守ってください。

- **上着（長袖）のボタン、ファスナを完全にし、袖口をきちんと閉め、すそはズボンに入れる**
- **ズボンはすそ閉まりの良い長ズボンを着用し、すそは作業靴の上部にはさみ込む**
- **ネクタイや装飾品は着用しない**
- **髪の毛は肩より上でまとめる**

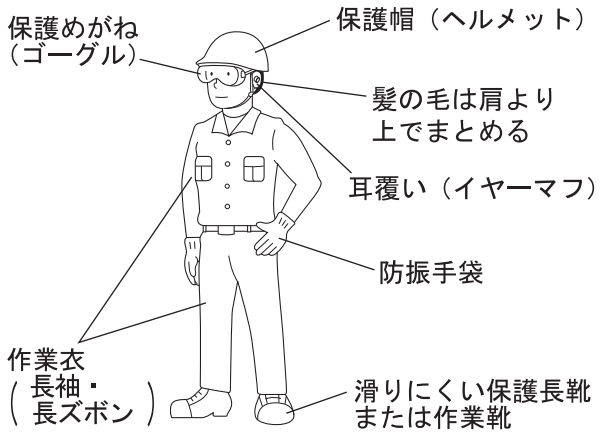
事故や重傷を負う原因となります。

保護具の着用

❍ 下記の保護具を着用してください。

- **保護帽 (ヘルメット) : 頭部の保護**
- **耳覆い (イヤーマフ) や耳栓 : 聴力の保護**
- **保護めがね (ゴーグル) : 目の保護**
- **防振手袋 : 寒さや振動から手を保護**
- **滑りにくい丈夫な保護長靴や作業靴 : 足の保護**

視覚障害、聴覚障害、重傷などを負う原因となります。



❍ 必要に応じて下記の保護具をご使用ください。

- **防じんマスク : 呼吸器の保護**
- **防蜂網 : 蜂の襲来対策**

製品の使用環境・作業環境

❍ 次のような場合は製品を使用しないでください。

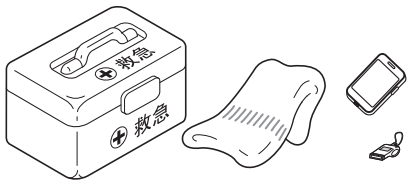
- **降雨時や落雷の恐れがあるとき**
- **急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所**
- **夜間や視界が悪い場所**

転落や滑落、誤った操作などにより事故や重傷を負う原因となります。

事故やケガへの備え

❍ 事故やケガに備え、下記の用具を用意してください。

- **救急箱（応急手当用）**
- **タオルや手ぬぐい（止血用）**
- **呼子や携帯電話（外部との連絡用）**



応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。

発火・発煙・火災への備え

❍ 発火・発煙・火災に備え、消火器やシャベルを用意してください。
❍ 製品から発火または発煙したら、身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。
❍ 周囲に類焼しないようにシャベルで砂を掛けるか、消火器で消火してください。

あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。

安全にご使用いただくために

充電器、バッテリ　取り扱い上の注意

⚠ 警告

充電器

❍ **定格表示 (AC100 V) してある電源で使用してください。**

誤った充電条件で充電すると、充電ができなかったり異常な充電が行われ、バッテリの発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **風通しの良い屋内で使用してください。**

水がかかる場所や湿った場所で使用すると充電器内部に水が入り、充電器による感電やバッテリが短絡する原因となります。

❍ **分解、改造をしないでください。**

発熱、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所で充電しないでください。**

高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となり、火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **濡れた手で電源プラグに触れないでください。**

感電の原因となります。



❍ **煙が出たり、発火した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ **使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**

感電やショートして発火する原因となります。

❍ **規定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は充電をやめてください。**

感電、発熱、破裂、発火の原因となります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

バッテリ



❍ 専用充電器で充電してください。

他の充電器を流用すると、発熱、破裂、液漏れ、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 液体で濡らさないでください。

バッテリが濡れた状態で充電や、製品に取り付けて作業すると、異常な充放電となり、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しないでください。

バッテリの液漏れの原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 外傷、変形の著しいバッテリは使用しないでください。
❍ 分解、改造をしないでください。
❍ 次のような取り扱いをしないでください。

- **電子レンジや高圧容器のなかに入れる**
- **火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱する**
- **強い衝撃を与える**
- **鋭いもので刺したり、踏みつける**
- **バッテリの端子部に直接はんだ付けをする**
- **バッテリの + 極と - 極を金属で接続する**
- **保管の際に電気を通しやすいものと一緒にする**

絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷し、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 作業をしないときはバッテリを取り外してください。

不意の始動で事故や重傷を負う原因となります。

❍ 充電中はバッテリを可燃物に近づけたり、覆ったりしないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ 使用、充電、保管時に、異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいた時は、製品または充電器より取り出し、使用しないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ 液漏れや異臭がする場合は、直ちに火気より遠ざけてください。

液漏れした電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

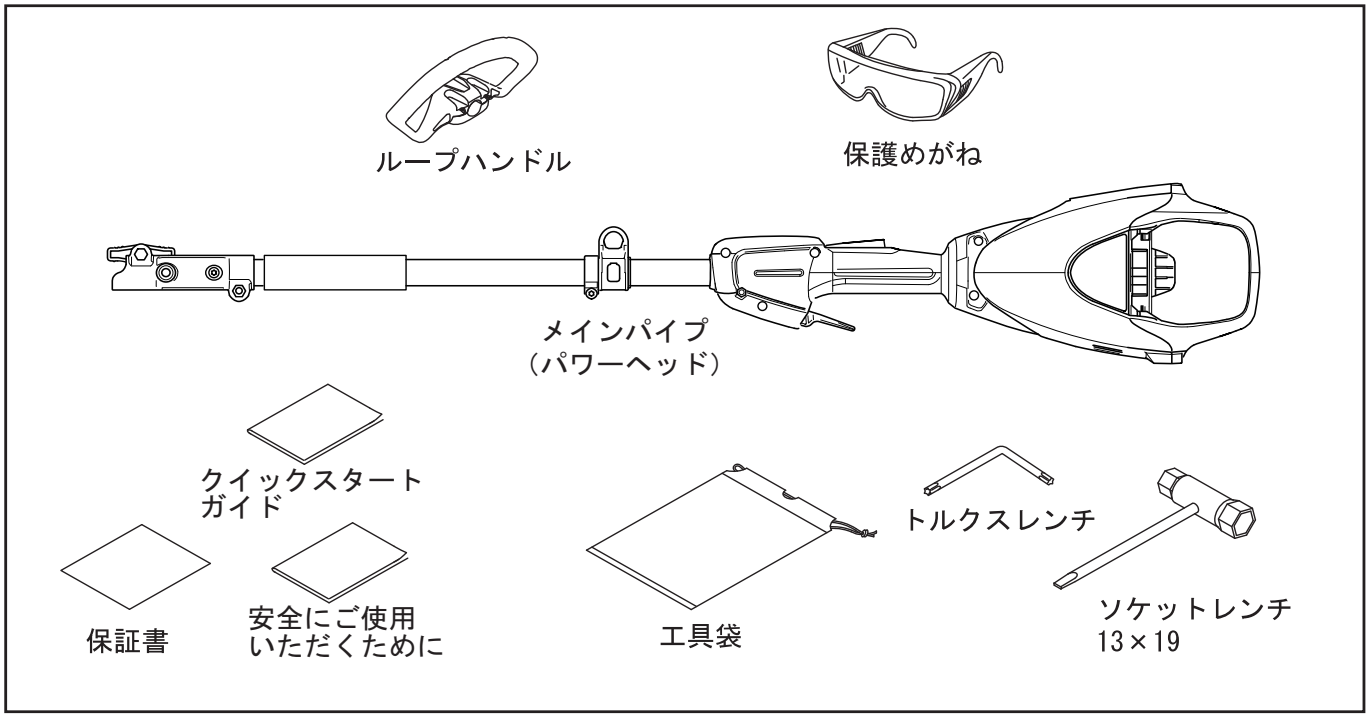
❍ 液漏れした電解液が目に入ったり皮膚についた場合は、流水で洗浄し直ちに医師の手当てを受けてください。

失明したり、皮膚がかぶれたりする原因となります。

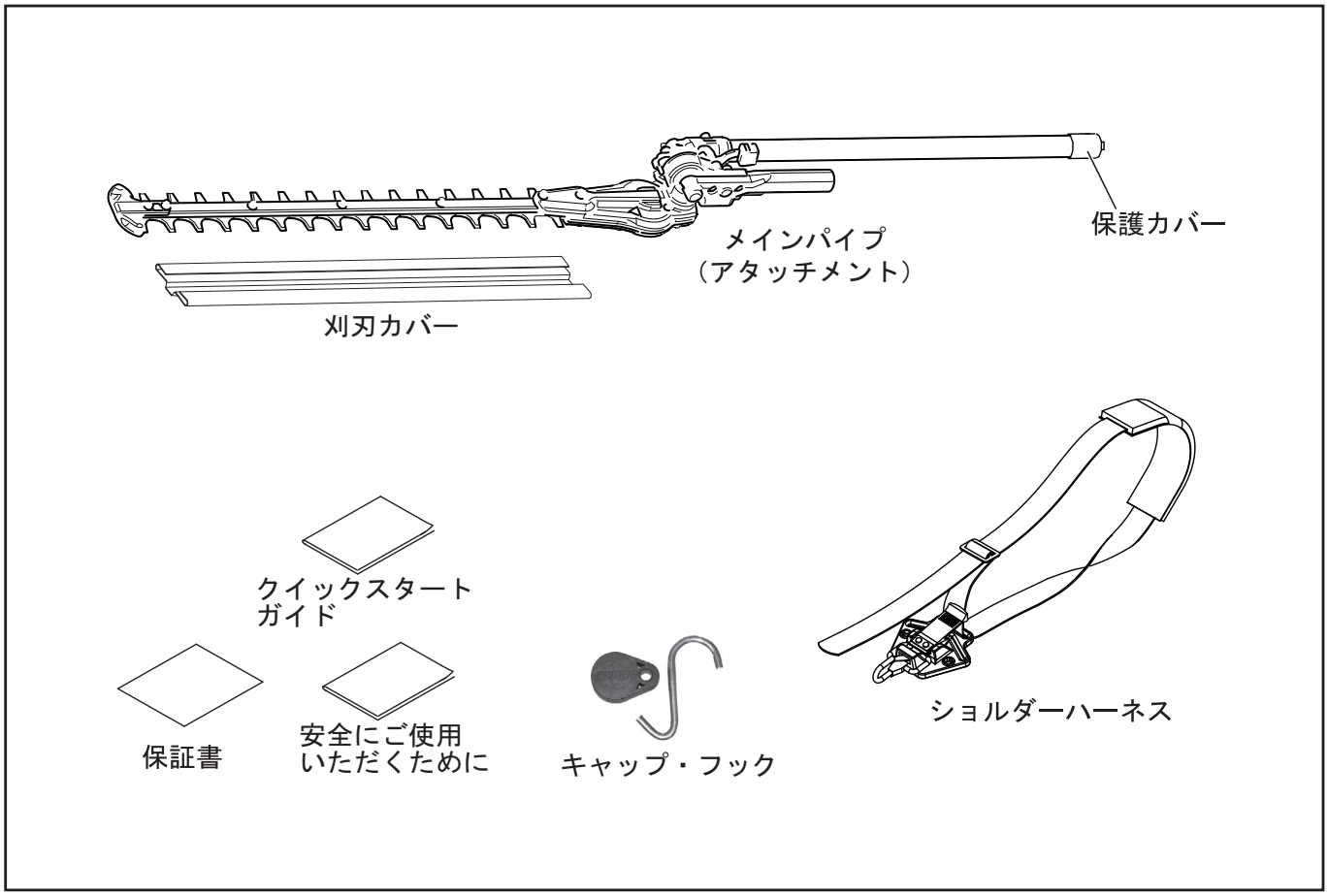
1. 付属品の確認

❍ 欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

BPH511の箱

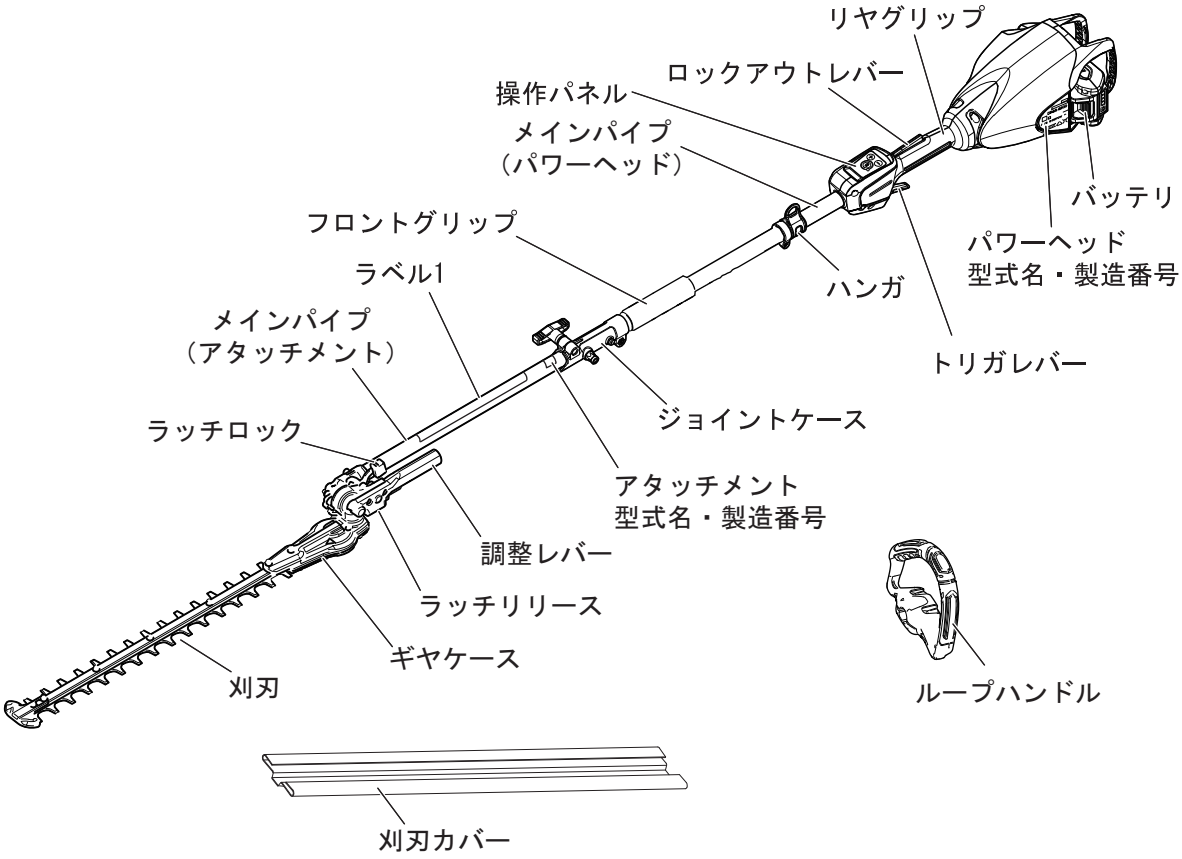


BT-HTAの箱



2. 各部の名称と警告表示ラベル

❍ 本書で説明している製品の、各部の名称および警告表示ラベルを示しています。
ご使用前に各部の名称およびラベルの意味を理解してください。
❍ ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態にしてください。



ラベル1. 部品番号:X505-011610



3. 作業の準備

3-1. 製品の組み立て

⚠ 警告

❍ 取扱説明書をよく読んで、正しく組み立ててください。

誤って組み立てた製品を使用すると、事故や重傷を負う原因となります。

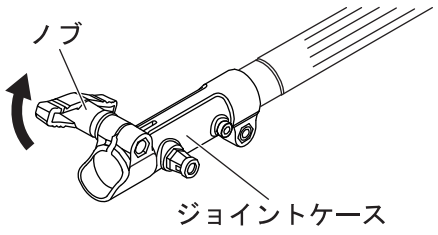


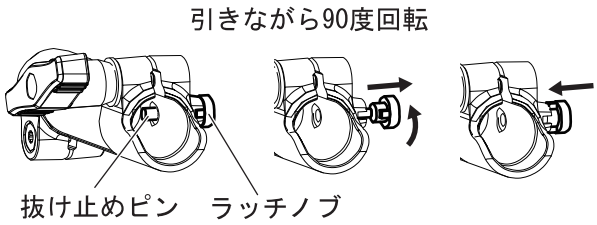
■メインパイプの組み立てと分解

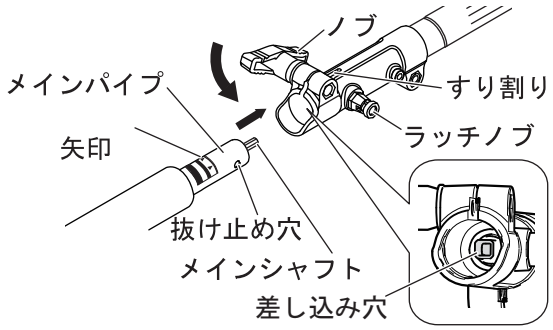
⚠ 警告

❍ ラッチノブの抜け止めピンは、確実に抜け止め穴に差し込んだ状態で使用してください。

メインパイプが外れる恐れがあり、事故や重傷を負う原因となります。

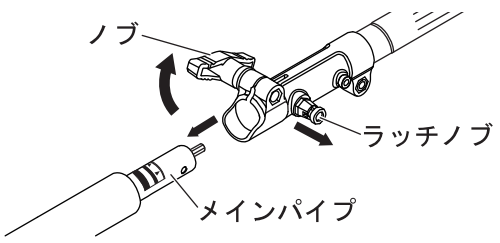






メインパイプの組立て

1. ジョイントケースのノブを回して緩めてください。
2. ジョイントケースのラッチノブを引きながら 90 度回転させて、抜け止めピンがジョイントケースの中側から見えない状態にします。
3. メインパイプ（アタッチメント）の保護カバーを外し、矢印をジョイントケースのすり割りに合わせ、矢印がジョイントケースに届くところを目安にし、内側にある差し込み穴にメインシャフトをかみ合わせながら、メインパイプを差し込んでください。
4. 抜け止めピンと抜け止め穴の位置を合わせてから（正しく組み付けると穴の位置が合います）、ラッチノブを 90 度回転させて、抜け止めピンをメインパイプの抜け止め穴に確実に差し込みます。
5. メインパイプを軽く回すか、または抜くようにして、抜け止めピンが穴にはまり抜けないことを確認してください。
6. ノブを強く締めてメインパイプを固定してください。



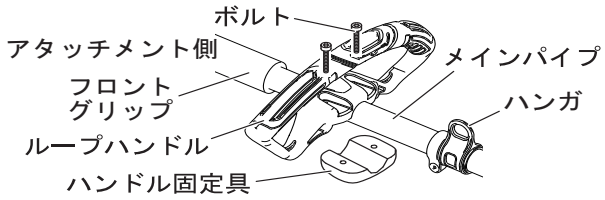
メインパイプの分解

1. ジョイントケースのノブをゆるめてください。
2. ラッチノブを引きながら、メインパイプを引き抜いてください。
3. メインパイプ (ギヤケース側) の先端に保護カバーを取り付けてください。

3. 作業の準備

■ハンドルの取り付け

重要
❍ 本製品での作業には、ループハンドルを取り付けないことをお勧めします。



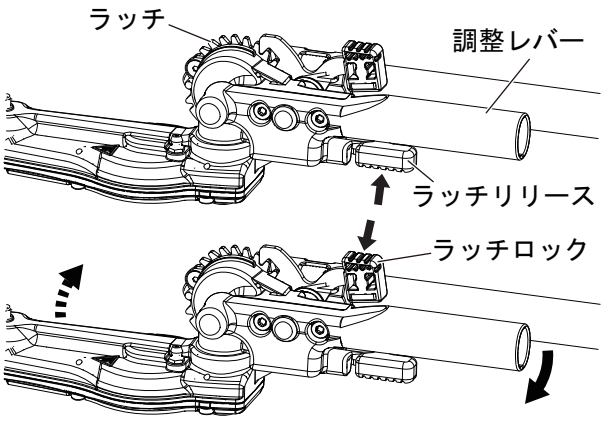
ループハンドルの組み立て

1. 向きに注意して、ループハンドルを、フロントグリップとハンガの間で、作業しやすいように、メインパイプにボルトで取り付けます。

3-2. 刈刃角度の調節

⚠ 危険
❍ **刈刃の角度調整をする際は、本体の電源を切り、バッテリを取り外してください。** 取り外さないと、怪我や重大な事故につながる可能性があります。

⚠ 警告
❍ **製品からバッテリを取り外してください。** ❍ **刈刃を扱うときは、厚手の手袋を着用してください。** 素手で刈刃を扱うと、事故や重傷を負う原因となります。 ❍ **製品の運転中および停止後しばらくの間は、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。** 高温部に触れると火傷します。



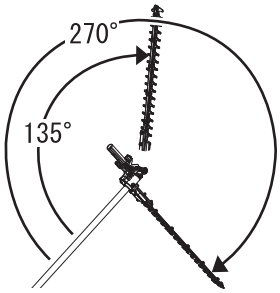
■ 刈刃の角度調整

1. 本製品を平らな場所に置き、刈刃カバーが取り付けられていることを確認してください。
2. 右手でハンドル付近のメインパイプを握り、左手で調整レバーを握ってください。
3. 左手の人差し指でラッチリリースを押し、親指でラッチロックを押してください。
4. ラッチロックを押し下げたまま、調整レバーで刈刃を所望の角度にしてください。

⚠ 注意
❍ **ラッチに触れたり、持ったりしないでください。** ケガにつながる可能性があります。

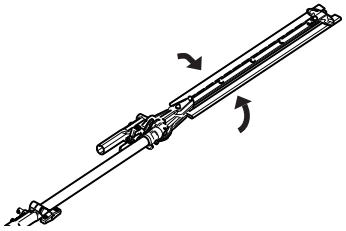
5. ラッチロックとラッチリリースから指を離してください。ラッチロックとラッチリリースが戻ることを確認してください。
6. 刈刃から刈刃カバーを取り外してください。

3. 作業の準備



■ 刈刃の位置

1. 刈刃は図のようにメインパイプから 135° ～ 270° の範囲で 10 段階の調整ができます。調整後は、ロックラッチがしっかりロックしていることを確認してください。

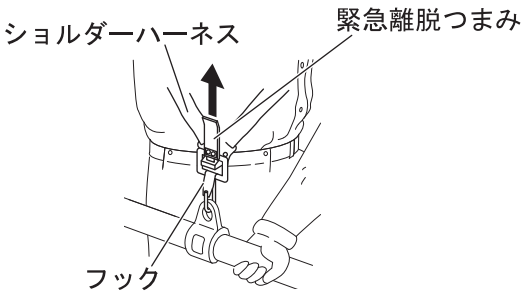


■ 保管または輸送時の調整

1. バッテリを取り外してください。
2. 刈刃カバーを刈刃に取り付けてください。
3. 刈刃を回転させ、メインパイプとまっすぐにしてください。
4. ラッチロックがロックの位置に戻っていることを確認してください。
5. 保管または輸送前に刈刃カバーが取り付けてあることを確認してください。

3-3. バランスの調整

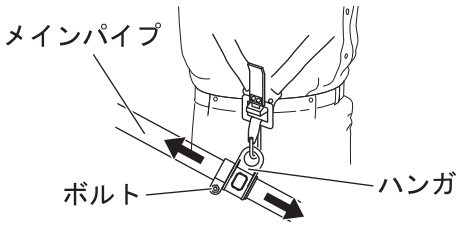
■ショルダーハーネスの調整



1. ショルダーハーネスを頭から通し、フックが身体の右側にくるように掛けてください。
2. フックが腰の位置になるように、ショルダーハーネスの長さを調整してください。
3. フックに製品を装着してください。
4. 作業しやすいようにショルダーハーネスの長さを調整してください。

＊ 緊急離脱つまみを上に引くと、ショルダーハーネスからフックが瞬時に切り離されます。

■ハンガの調整



ハンガのボルトをゆるめ、ハンガを前後に移動して、作業しやすいように調整し固定してください。

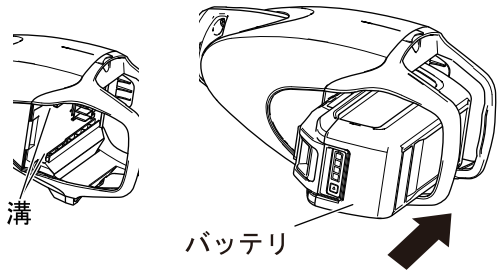
3-4. バッテリの取り付け・取り外し

⚠警告

❍ **バッテリを取り付ける前に、バッテリ、充電器の取扱説明書を読んでください。**

組み立てや作業中に、扱いを間違えると事故の原因になります。

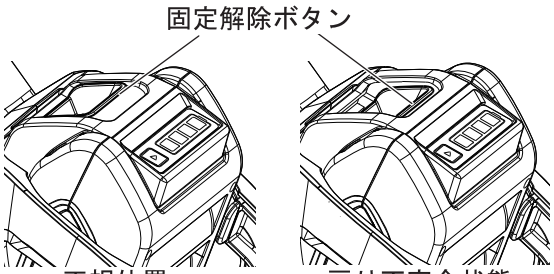
3. 作業の準備



指定のバッテリ、充電器（24 ページの「仕様」）を使用してください。

■ 取り付け

1. 製品本体のバッテリ取り付け位置の溝にバッテリを合わせ、バッテリを差し込んでください。

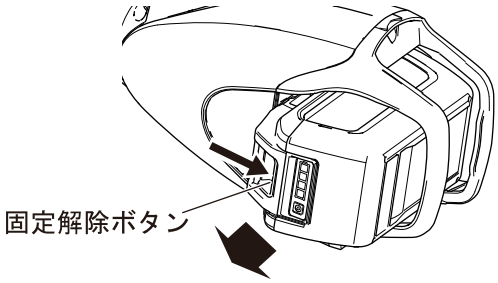


2. バッテリを奥まで差し込んで、固定解除ボタンが正規の位置に戻っていることを確認してください。

⚠警告

❍ **バッテリは確実に取り付けてください。**

確実に取り付けないとバッテリが外れて事故の原因になります。



■ 取り外し

1. 電源スイッチが切れていることを確認してください。
2. 取り外すときは、バッテリの固定解除ボタンを押しながら製品本体より引き抜いてください。

4. 始動・停止

⚠ 警告

❍ **製品を始動するときは、次のことを守ってください。**

- **刈刃のヒビ、欠け、ゆるみ、ガタがないことを確認する**
- **刈刃が地面や障害物に接触していないことを確認する**
- **すべてのハンドルとプロテクタ類がついていることを確認する**
- **ボルトやナット類にゆるみがないことを確認する**
- **周囲は広くとり、人や動物を近づけない**

事故や重傷を負う原因となります。

❍ **製品が始動したら、異常振動・異常音が発生していないか確認してください。異常振動・異常音がある場合は直ちに停止し、販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。**

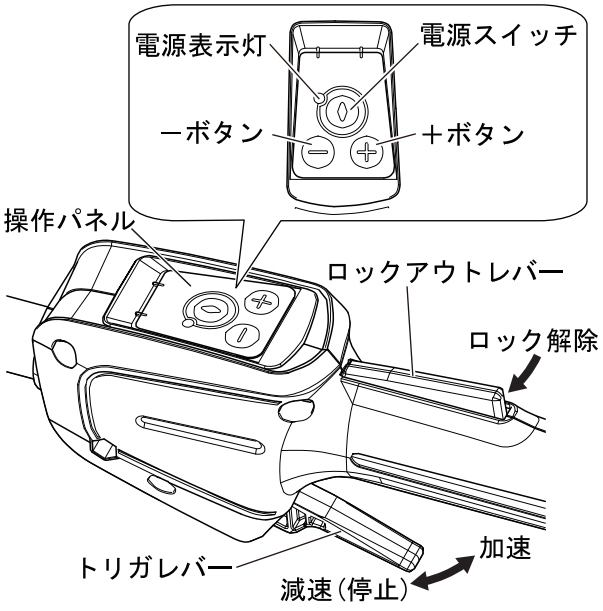
部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

❍ **製品の運転中および停止後しばらくの間は、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。**

高温部に触れると火傷します。



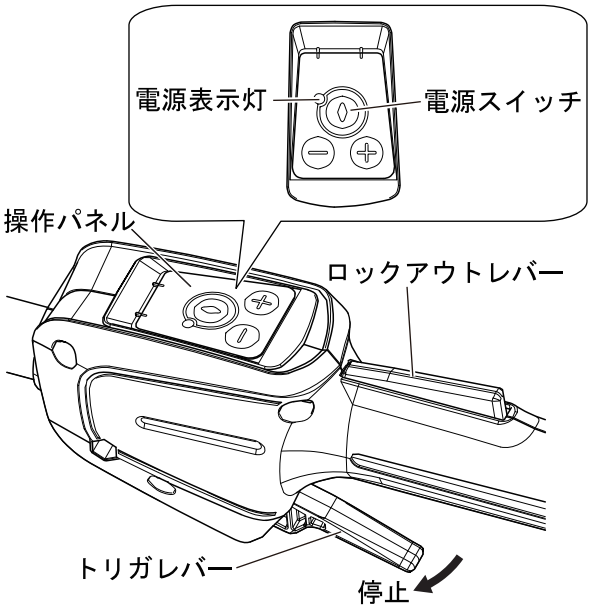
4-1. 始動



1. 刈刃カバーを取り外してください。
2. バッテリを取り付けてください。(12 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照)
3. ハンガをショルダーハーネスに取り付けてください。
4. 刈刃が何かに触れていないことを確認してください。
5. 電源スイッチを押して、電源を入れてください。電源が入ると電源表示灯が点灯します。
6. ＋ボタン、－ボタンを押して速度を設定してください。
   * ＋ボタンを押すと速度が上がり、－ボタンを押すと速度が下がります。
   * 速度は、低速、中速、高速の 3 段階です。
7. ロックアウトレバーとトリガレバーを一緒に握ってください (刈刃が動き始めます)。トリガレバーの握り具合で速度が変わります。
   * トリガレバーを握った状態でも、＋ボタン、－ボタンを押すと速度の設定が切り替わります。
8. トリガレバーの握りを解除してください。(刈刃が停止します)。速度の設定は維持されます。
   * 電源が入った状態で約 90 秒間､刈刃を作動しないと自動的に電源が切れて電源表示灯が消灯します。再開したい場合は、電源スイッチを押して電源を入れ直してください（上の手順 5 に戻ってください)。
9. ロックアウトレバーとトリガレバーを一緒に握ってください (刈刃は再度動き始めます)。トリガレバーの握りと解除の繰り返しで作業できます。

4-2. 停止

4. 始動・停止



⚠注意

❍ **刈刃は、電源スイッチを切った後も短時間動作していることがあります。**

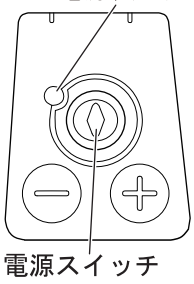
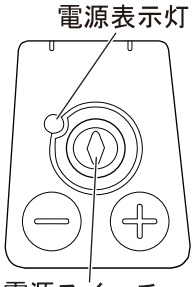
刈刃が停止するまで、周囲を広くとり、人や動物を近づけないでください。

1. トリガレバーとロックアウトレバーの握りを解除してください (刈刃が停止します)。
2. 電源スイッチを押して、電源を切ってください。電源表示灯が消灯します。

＊ 刈刃が停止しない場合は、バッテリを取り外してください。(12 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照)

再び製品を使用する前に、販売店、または、やまびこサービスショップに点検と修理を依頼してください。

4-3. エラー表示

電源表示灯の点灯状態		エラー内容 ／ 原因 ／ 復帰方法
■ 電源表示灯が点滅 (毎秒 4 回点滅)		・ エラー内容 : 過負荷による停止 ・ 原因　　: 刈刃ロックなど (刈刃周辺に木などの異物が詰まった場合) ・ 復帰方法　: バッテリを取り外し、原因を取り除き、電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容 : 過熱による停止 ・ 原因　　: 製品やバッテリが高温になっている ・ 復帰方法　: 冷却後に電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容 : トリガレバーの繰り返し操作 ・ 原因　　: トリガレバーを握る・離すの操作を短時間に繰り返した ・ 復帰方法　: 電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容 : 誤作動 ・ 原因　　: トリガレバーを握った状態で電源スイッチを入れた ・ 復帰方法　: トリガレバーの握りを解除する
■ 電源表示灯が点滅 (毎秒 1 回点滅)		・ エラー内容 : バッテリの電圧異常 ・ 原因　　: バッテリの容量不足 ・ 復帰方法　: バッテリを充電する
		・ エラー内容 : バッテリの電圧異常 ・ 原因　　: バッテリの過放電 ・ 復帰方法　: バッテリを充電する 解消されないときはバッテリを交換する
		・ エラー内容 : バッテリ電圧センサ異常 ・ 原因　　: バッテリ内のセンサ接触不良・断線 ・ 復帰方法　: バッテリを交換する

5. 剪定・刈り込み作業

⚠ 危険

❍ **製品の中心から半径 15 m の範囲は危険区域です。作業中は次のことを守ってください。**

- **危険区域に人や動物を入らせない**
- **危険区域に人や動物が入ったときは、刈刃を停止させる**
- **作業者に近づくときは、危険区域の外から小枝を投げるなどの合図をして作業者に知らせ、刈刃の停止を確認する**
- **二人以上で作業するときは、お互いに合図のしかたを決めて 15 m 以上離れる**

刈刃からの飛散物や刈刃との接触により、失明や死亡事故を起こすことになります。

⚠ 警告

❍ **作業前に、作業する場所にある刈刃周辺にからまりそうなヒモや針金などは取り除いてください。**

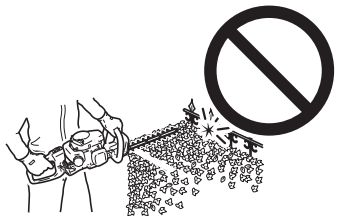
製品にからみついた針金などが跳ね返ったりして、事故や重傷を負う原因となります。

❍ **剪定・刈り込み作業では次のことを守ってください。**



- **ヒビの入った刈刃は使用しない**
- **手を伸ばしたまま、あるいは足元が不安定な場所で製品を使用しない**
- **はしごや台の上で使用しない**
- **常に両手でハンドルを握り、片手で操作しない**
- **刈刃が動いているときには、絶対にハンドルから手を離さない**
- **ロックラッチが確実にロックされていることを確認してください。**

事故や重傷を負う原因となります。



- **針金や鉄板など、硬いものを切らない**

故障や事故の原因となります。

- **製品を地面に置く前に刈刃が停止したことを確認する**

刈刃が惰性で動き、傷害を負う原因となります。

- **刈刃に絡まった異物を取り除くときは、電源を切ってから取り除く**

刈刃が急に動き出し、傷害を負う原因となります。

❍ **次のような移動時は刈刃が停止してから、電源スイッチを切り、刈刃カバーを付けてください。**



- **作業場へ移動するとき**
- **作業中に他の場所へ移動するとき**
- **作業場から帰るとき**

火傷や重傷を負う原因となります。

❍ **車で運搬するときは製品からバッテリを取り外し、刈刃カバーを付け、製品が動かないように固定してください。**

バッテリを取り付けたまま車で移動すると、誤動作の原因となります。

❍ **雨中や湿気の多い場所で使用したり、放置しないでください。**

感電や本機およびバッテリが故障する原因となります。

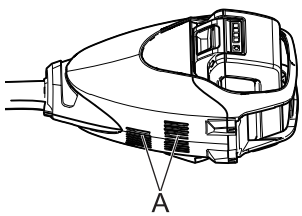
重要

❍ 製品の冷却風通路（A）をふさがないでください。排気ができず本体が破損する恐れがあります。

❍ 過負荷による自動停止が頻繁に起こると、モーターが過熱して破損する恐れがあるので、過負荷にならないように少しずつ刈ってください。

❍ 周囲温度 0 ℃～ 40 ℃で製品を使用してください。

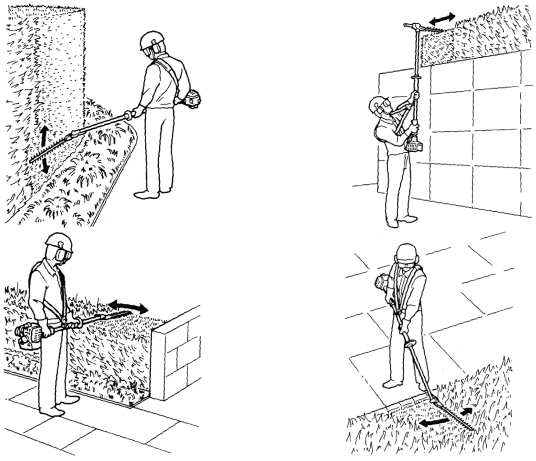
❍ ご購入後、低温下で初めてご使用になる場合、まれに動作がスムーズに行われないことがあります。これは故障ではありません。その場合は、本製品を室温（常温）に戻してから、電源のオン / オフを繰り返してからご使用ください。



5. 剪定・刈り込み作業

5-1. 基本的な作業方法

重要
❍ 本製品は、枝の直径が 6 mm 以下の低木あるいは生垣用に設計されています。



❍ 刈刃を身体から外に向けて刈り込みしてください。刈刃を自分の方に向けたり、身体に近づけたりしないでください。
❍ 放射状に切断する必要がある場合には、少しずつ数回に分けて切断します。
❍ 刈刃を木などに押しつけないでください。刈刃の動きと速度に合わせて操作してください。

垂直切断

◆ 生垣に沿って移動しながら、切断刃の両側を使用して、刃を上下に円弧を描くように振ります。
◆ 生垣のすぐそばに立たずに切断します。

頭上切断

◆ 生垣の上部を切断するには、刈刃を 90° の角度で垂直に持ちます。

水平切断

◆ ヘッジトリマーを水平に振りながら、刈刃を 0° ～ 10° の角度で持ちます。
◆ 刈刃を生垣の外側に向かって円弧を描くように振り、刈り取った枝を地面に落とします。
◆ 生垣の真正面に立たずに刈ります。
◆ 低い低木の場合は、立った姿勢で地面近くから刈ります。

❍ 作業終了後はバッテリを取り外してください。

6. 点検・整備

⚠ 警告

❍ **製品の点検・整備をするときは、刈刃を停止し、電源スイッチを切ってからバッテリを取り外してください。**
事故の原因となります。

重要

❍ お買い求めいただいた製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備をしてください。
❍ 異常や通常より振動や騒音が増えたと感じた場合は、販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。
❍ 点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、販売店、または、やまびこサービスショップにご相談ください。
❍ 水洗いはしないでください。
製品の内部に水が入り故障の原因となります。

6-1. 点検・整備の目安

点検・整備項目	作業前または作業後	作業 25 時間毎	作業 100 時間毎	参照ページ
バッテリ容量	○			–
刈刃	○			19
ギヤケースのグリース注油		○ *1		20
製品の周りの清掃		○		20
ボルト、ナット	○			–
各部の増し締め			●	–

○：ご自分で点検・整備してください。
●：製品の性能維持のため、販売店、または、やまびこサービスショップに定期的な点検を依頼し必要に応じ交換してください。

*1：作業 15 ～ 20 時間毎

異常がある場合、または通常より振動や騒音が増えたと感じた場合は、販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。

6-2. 刈刃の手入れ

⚠ 警告

❍ 製品からバッテリを取り外してください。
❍ 刈刃を手入れするときは次のことを確認してください。

- 厚手の手袋を着用していること
- 刈刃が停止していること

事故や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意

❍ 連続運転直後は、ギヤケースが熱くなっているので、触れないでください。

火傷の恐れがあります。

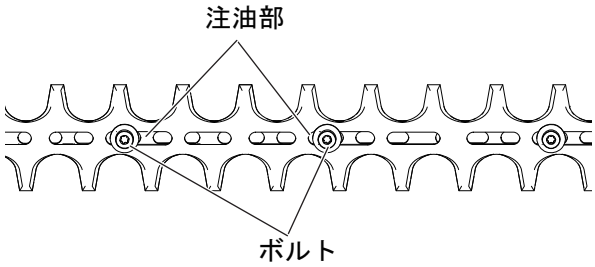
重要

❍ 刈刃の刃先が摩耗したり、上下の刈刃のすきまが狂うと、切れ味が悪くなります。その場合は、販売店、または、やまびこサービスショップに交換を依頼してください。

■刈刃の清掃

刈刃に樹脂などの汚れが付いた場合は、軽油とオイルを 1:1 の割合で混合したもので、刈刃の汚れを洗い落としてください。

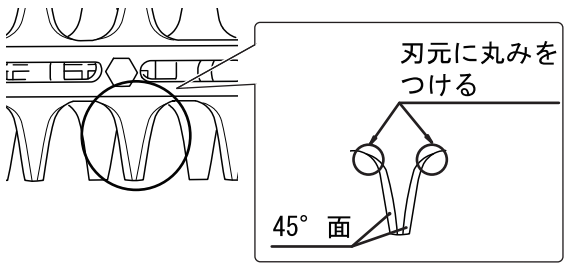
■刈刃の注油



刈刃を固定しているボルトまわりに、オイルを 2 ～ 3 滴ずつ注油してください。

＊ 雨水等で濡れた刈刃部を上向きにしたまま、置かないでください。ギヤケース内に水が入り込んでさびる原因になります。

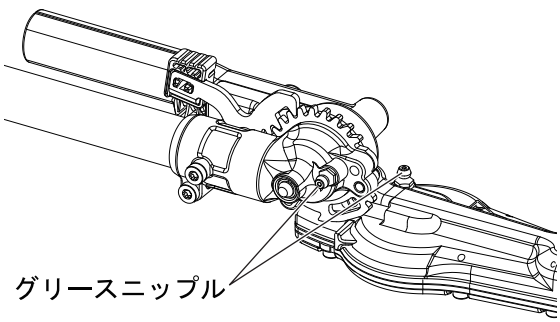
■目立ての方法



1. 平ヤスリまたは目立て機やサンダーで目立てを行なってください。刃元には必ず丸みを付けてください。
2. 上・下刈刃間に堆積したヤニを取り除くと切味が回復します。

6-3.15 ～ 20 時間毎点検・整備要領

■ギヤケースのグリース注油



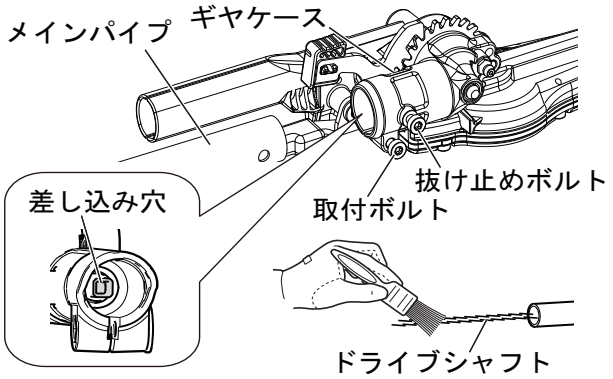
1. グリースニップルから注油することができます。
2. グリースニップルの周りの汚れを拭き取ってください。
3. グリースポンプで、グリースニップルからグリースを注入してください。

* グリースは、純正ギヤケースグリースかリチューム系グリース（#2）を補給してください。指定以外のグリースを使用すると故障の原因となります。
* 上部グリースニップルには、約 1 g、下部グリースニップルには、約 3 g グリース注油してください。
* グリースは入れすぎないでください。入れすぎると運転時間が短くなることがあります。

⚠ 注意

❍ 停止後、ギヤケースが冷えてから補給してください。
火傷の恐れがあります。

■ドライブシャフトのグリース塗布



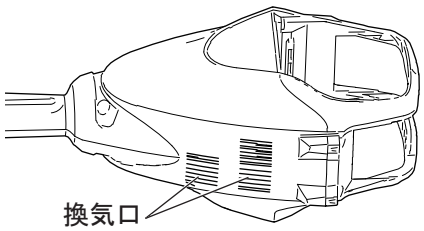
1. 取付ボルトを緩めてください。
2. 抜け止めボルトを取り外してください。
3. メインパイプを取り外してください。
4. ドライブシャフトをメインパイプから引き抜き、きれいに拭きとり、グリースを薄く塗布してください。

* グリースは、純正ギヤケースグリースかリチウム系グリース（#2）を補給してください。指定以外のグリースを使用すると故障の原因となります。

5. ドライブシャフトに汚れが付かないようにメインパイプに戻してください。
6. ドライブシャフトをギヤケース内側の差し込み穴に合わせ込んで、ギアケースの穴をメインパイプのに合わせ、抜け止めボルトを締めて、取り付けボルトで取り付けてください。

6-4.25 時間毎点検・整備要領

■製品の周りの清掃



- 製品の周りに付いたゴミなどを取り除いてください。
- 換気口の周りに付いたゴミなどを取り除いてください。

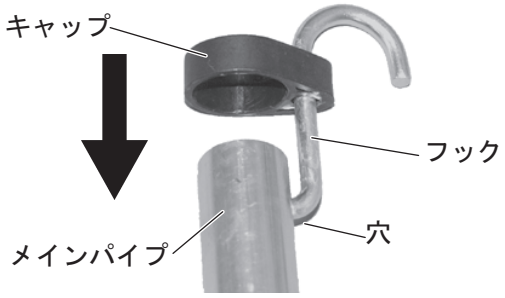
7. 保管

⚠ 警告

❍ 可燃ガスが充満している密閉された場所に保管しないでください。

火災の原因となります。

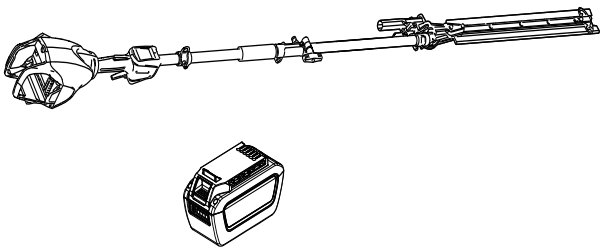




収納フックの取り付け

1. フックのＳ字の小さい方をメインパイプ（アタッチメント）の穴に入れてください。
2. キャップをメインパイプの先端にスライドして固定してください。

❍ 製品を長期間にわたって保管する場合は、下記の手順で整備をしてください。



1. 電源スイッチを切り、電源表示灯が消灯していることを確認してください。
2. 製品本体からバッテリを取り外してください。
3. 製品が十分に冷えてから、外側に付いたホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
4. 本書に定められた定期的な点検をしてください。
5. ボルト、ナット類が締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
6. 刈刃カバーを取り付けてください。
7. バッテリを充電器に取り付けないでください。
8. 製品本体、バッテリ、充電器とも、子供の手の届かないホコリの少ない、乾燥した 0 ℃～ 40 ℃の場所に保管してください。

＊ メインパイプを分解して保管できます。

＊ バッテリを 1 年以上使用しないときには、劣化を防ぐために 40%～ 60%の容量で充電し、10 ℃～ 30 ℃の場所に保管してください。

8. 故障対策

8-1. 故障診断表

重要
❍ 補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。 純正または指定以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

■ 本体

故障内容	原因	対策
電源が入らない	• バッテリが製品本体に正しく装着されていない	• 正しく取り付ける (12 ページ)
トリガレバーおよびロックオフスイッチを握っても刈刃が動かない	• バッテリの容量不足 • 刈刃の間に枝などの異物がはさまっている • 指定量以上のグリースが注油された	• 充電する • 清掃 (19 ページ) • 販売店へ依頼
始動してもすぐに停止する	• バッテリが過熱状態になっている • 製品が過熱状態になっている • バッテリの容量不足	• バッテリを製品本体から取り外し、十分冷ましてから再度取り付ける (12 ページ) • 電源を切って、製品を十分に冷ます • 充電する
切れ味の低下	• 刈刃の摩耗	• 販売店へ依頼または刈刃の目立て (19 ページ)

＊ 表中に記載されていない故障など、ご不明な点は販売店、または、やまびこサービスショップにご相談ください。

8-2. 製品の廃棄

❍ 製品や部品を廃棄するときは、自治体の指導に従ってください。

8-3. バッテリの回収



- 本製品で使用しているバッテリはリサイクルのため、回収しています。
- 廃棄するときは、お買い求めの販売店または当社営業所にお持ちください。



- やまびこは一般社団法人 JBRC（ホームページ https://www.jbrc.com）に加盟し、リサイクルを実施しています。

  バッテリにはリサイクル可能な希少資源が使われています。これらを有効活用するため、使用済みバッテリのリサイクルを推進しています。

9. 仕様

❍ 本体仕様

型式名		BPH511-HT
項目	単位	
質量 　刈刃カバー、バッテリを除く	kg	4.3
外形寸法（バッテリ除く） 　長さ × 幅 × 高さ	mm	2,254×177×173
ギヤケース 　歯車減速比 　潤滑剤	 – –	 4.6 純正グリース
刈刃 　形式 　ブレード長	 – mm	 両刃 557
モーター 　回転数	– r/min	DC ブラシレスモータ 4,860-9,200
適合バッテリ	–	やまびこ純正 50V 1P バッテリ , やまびこ純正 50V 2P バッテリ
適合充電器	–	やまびこ純正 50V 充電器

※ この仕様は予告なしに変更することがあります。

10. その他

10-1. 補用品と消耗品

部品名称	部品番号	備考
グリース	X695-000020	50 g

- 作業内容と用途および仕様・規格により、本製品への適合性を確認し、販売店、または、やまびこサービスショップとご相談の上、購入してください。

メ　モ

メ　モ

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0120-176-181(製品・技術的な問い合わせ)
受付時間:弊社営業日　9:00～12:00 / 13:00～17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0428-32-6181 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X780823-0000
(C) 2025 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。

バッテリー
T字型バリカン

取 扱 説 明 書

型 式

BPH511-TT

（BPH511＋BT-TTA）

このたびは、当社製品をお買い上げ頂き、厚くお礼申し上げます。

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

目　次

安全にご使用いただくために 3

1 付属品の確認 8

2 各部の名称と警告表示ラベル 9

3 作業の準備 10
3-1. 製品の組み立て 10
3-2. 刈刃の取り付け 11
3-3. 刈刃角度の調節 13
3-4. バッテリの取り付け・取り外し 14

4 始動・停止 15
4-1. 始動 15
4-2. 停止 15
4-3. エラー表示 16

5 作業方法 17

6 点検・整備 19
6-1. 点検・整備の目安 19
6-2. 刈刃の手入れ 20
6-3. 刈刃の交換 21
6-4.15 ～ 20 時間毎点検・整備要領 22
6-5.25 時間毎点検・整備要領 22

7 保管 23

8 故障対策 24
8-1. 故障診断表 24
8-2. 製品の廃棄 24
8-3. バッテリの回収 25

9 仕様 26

10 その他 27
10-1. 補用品と消耗品 27

安全にご使用いただくために

警告表示について

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。	**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。**	**その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。**

その他の表示について

	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものがすべて禁止されていることを表します。

重要
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		先端を持ち上げて作業しないこと
	安全 / 警告		足の保護具と手袋を着用すること
	作業中は目、頭の保護具を必ず着用すること		高温部に注意すること
	手の切断に注意すること		雨中では使用しないこと
	移動時、保管時は必ず刈刃カバーを取り付けること		取扱説明書に従ってグリスを注入すること
IPX4	水の飛沫から保護します		

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ

⚠ 警告

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

取扱説明書



- **この取扱説明書には、製品の組み立てや操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので、よく読んで理解してください。**
- **この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。**
- **バッテリ、充電器の取扱説明書を読んでください。**
- **製品の改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。**
- **使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。**
- **損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店にご相談または株式会社やまびこホームページを参照してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用目的以外の使用禁止

- **この製品は背丈の低い雑草刈に使用してください。**
- **本書に記載されている用途以外に使用しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

- **製品を改造しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

- **定期的に点検・整備をしてください。**
- **点検・整備をするときは、バッテリを取り外してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

- **製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者



- **体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。**
- **次のような人は使用しないでください。**
  - **妊娠している人**
  - **16 歳未満の人**
  - **取扱説明書の内容を理解していない人**

事故や重傷を負う原因となります。

- **この製品から発生する電磁波が、ペースメーカーなどの植込み型医療機器に影響を及ぼす可能性があります。健康上のリスクを避けるため、植込み型医療機器を使用している人は、製品を使用する前にかかりつけの医師または植込み型医療機器の製造元に相談してください。**

保証書

- **使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。詳しくは保証書をお読みください。**

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

健康管理

❍ 休憩をとりながら余裕を持って作業をしてください。手足や身体を温かくしてください。
❍ 作業中に体調が悪くなった場合はすぐに作業を中断してください。

❍ 1 日の作業時間は 4 時間以下を目安にしてください。

長時間の作業は製品の振動等により身体に負担がかかり、健康障害の原因となります。

服装の点検

❍ 身体に合った作業衣を着用し、次のことを守ってください。

- **上着（長袖）のボタン、ファスナを完全にし、袖口をきちんと閉め、すそはズボンに入れる**
- **ズボンはすそ閉まりの良い長ズボンを着用し、すそは作業靴の上部にはさみ込む**
- **ネクタイや装飾品は着用しない**
- **髪の毛は肩より上でまとめる**

事故や重傷を負う原因となります。

保護具の着用

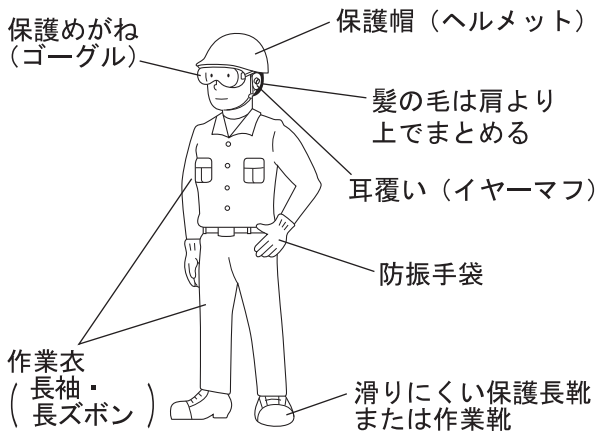
❍ 下記の保護具を着用してください。

- **保護帽 (ヘルメット) : 頭部の保護**
- **耳覆い (イヤーマフ）や耳栓 : 聴力の保護**
- **防振手袋 : 寒さや振動から手を保護**
- **滑りにくい丈夫な保護長靴や作業靴 : 足の保護**
- **保護メガネ（ゴーグル）: 目の保護**

視覚障害、聴覚障害、重傷などを負う原因となります。

❍ 必要に応じて下記の保護具をご使用ください。

- **防じんマスク : 呼吸器の保護**
- **防蜂網 : 蜂の襲来対策**



製品の使用環境・作業環境

❍ 次のような場合は製品を使用しないでください。

- **降雨時や落雷の恐れがあるとき**
- **急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所**
- **夜間や視界が悪い場所**

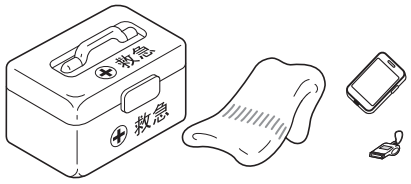
転落や滑落、誤った操作などにより事故や重傷を負う原因となります。

事故やケガへの備え

❍ 事故やケガに備え、下記の用具を用意してください。

- **救急箱（応急手当用）**
- **タオルや手ぬぐい（止血用）**
- **呼子や携帯電話（外部との連絡用）**

応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



発火・発煙・火災への備え

❍ 発火・発煙・火災に備え、消火器やシャベルを用意してください。
❍ 製品から発火または発煙したら、身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。
❍ 周囲に類焼しないようにシャベルで砂を掛けるか、消火器で消火してください。

あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。

安全にご使用いただくために

充電器、バッテリ　取り扱い上の注意

⚠ 警告

充電器

❍ **定格表示 (AC100 V) してある電源で使用してください。**

誤った充電条件で充電すると、充電ができなかったり異常な充電が行われ、バッテリの発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **風通しの良い屋内で使用してください。**

水がかかる場所や湿った場所で使用すると充電器内部に水が入り、充電器による感電やバッテリが短絡する原因となります。

❍ **分解、改造をしないでください。**

発熱、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所で充電しないでください。**

高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となり、火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **濡れた手で電源プラグに触れないでください。**

感電の原因となります。



❍ **煙が出たり、発火した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ **使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**

感電やショートして発火する原因となります。

❍ **規定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は充電をやめてください。**

感電、発熱、破裂、発火の原因となります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

バッテリ



❍ 専用充電器で充電してください。

他の充電器を流用すると、発熱、破裂、液漏れ、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 液体で濡らさないでください。

バッテリが濡れた状態で充電や、製品に取り付けて作業すると、異常な充放電となり、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しないでください。

バッテリの液漏れの原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 外傷、変形の著しいバッテリは使用しないでください。
❍ 分解、改造をしないでください。
❍ 次のような取り扱いをしないでください。

- **電子レンジや高圧容器のなかに入れる**
- **火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱する**
- **強い衝撃を与える**
- **鋭いもので刺したり、踏みつける**
- **バッテリの端子部に直接はんだ付けをする**
- **バッテリの + 極と - 極を金属で接続する**
- **保管の際に電気を通しやすいものと一緒にする**

絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷し、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 作業をしないときはバッテリを取り外してください。

不意の始動で事故や重傷を負う原因となります。

❍ 充電中はバッテリを可燃物に近づけたり、覆ったりしないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ 使用、充電、保管時に、異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいた時は、製品または充電器より取り出し、使用しないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ 液漏れや異臭がする場合は、直ちに火気より遠ざけてください。

液漏れした電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

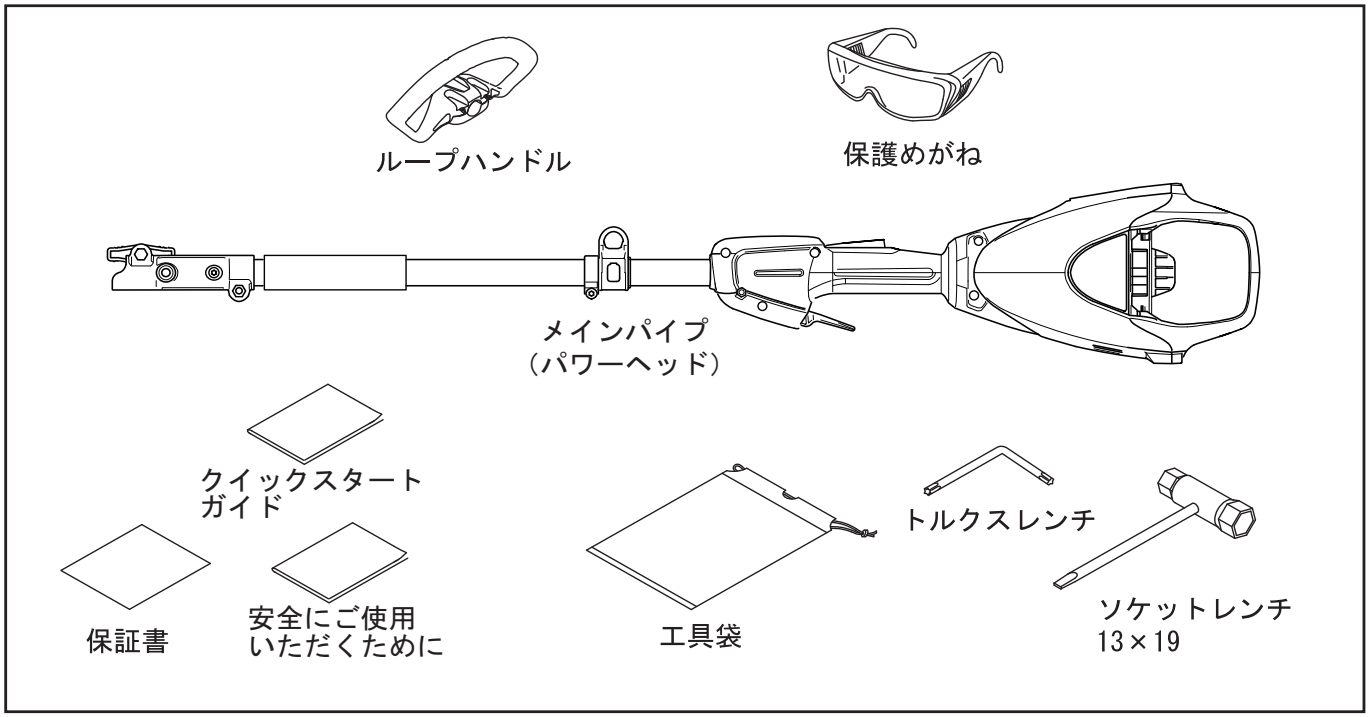
❍ 液漏れした電解液が目に入ったり皮膚についた場合は、流水で洗浄し直ちに医師の手当てを受けてください。

失明したり、皮膚がかぶれたりする原因となります。

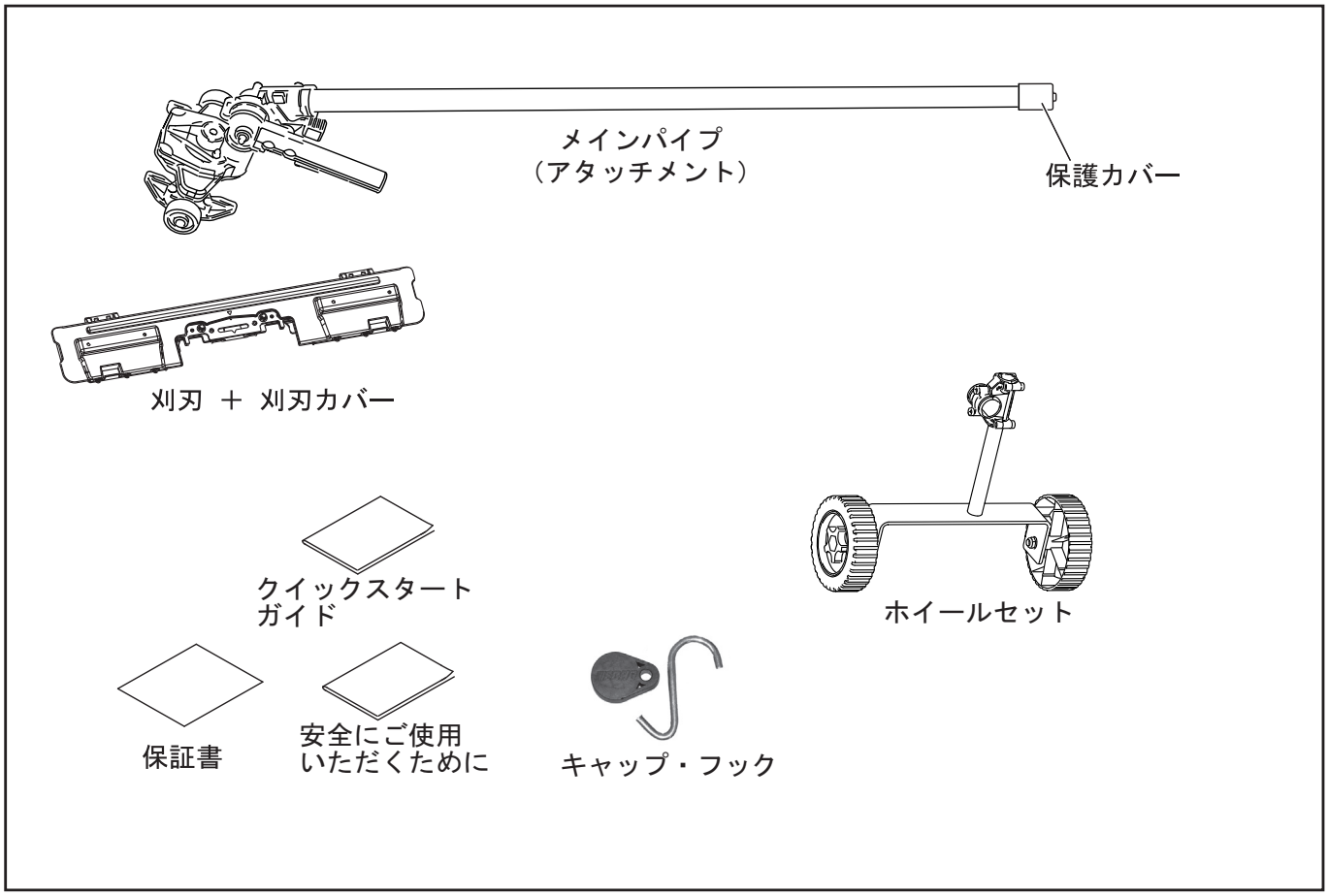
1. 付属品の確認

❍ 欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

BPH511の箱

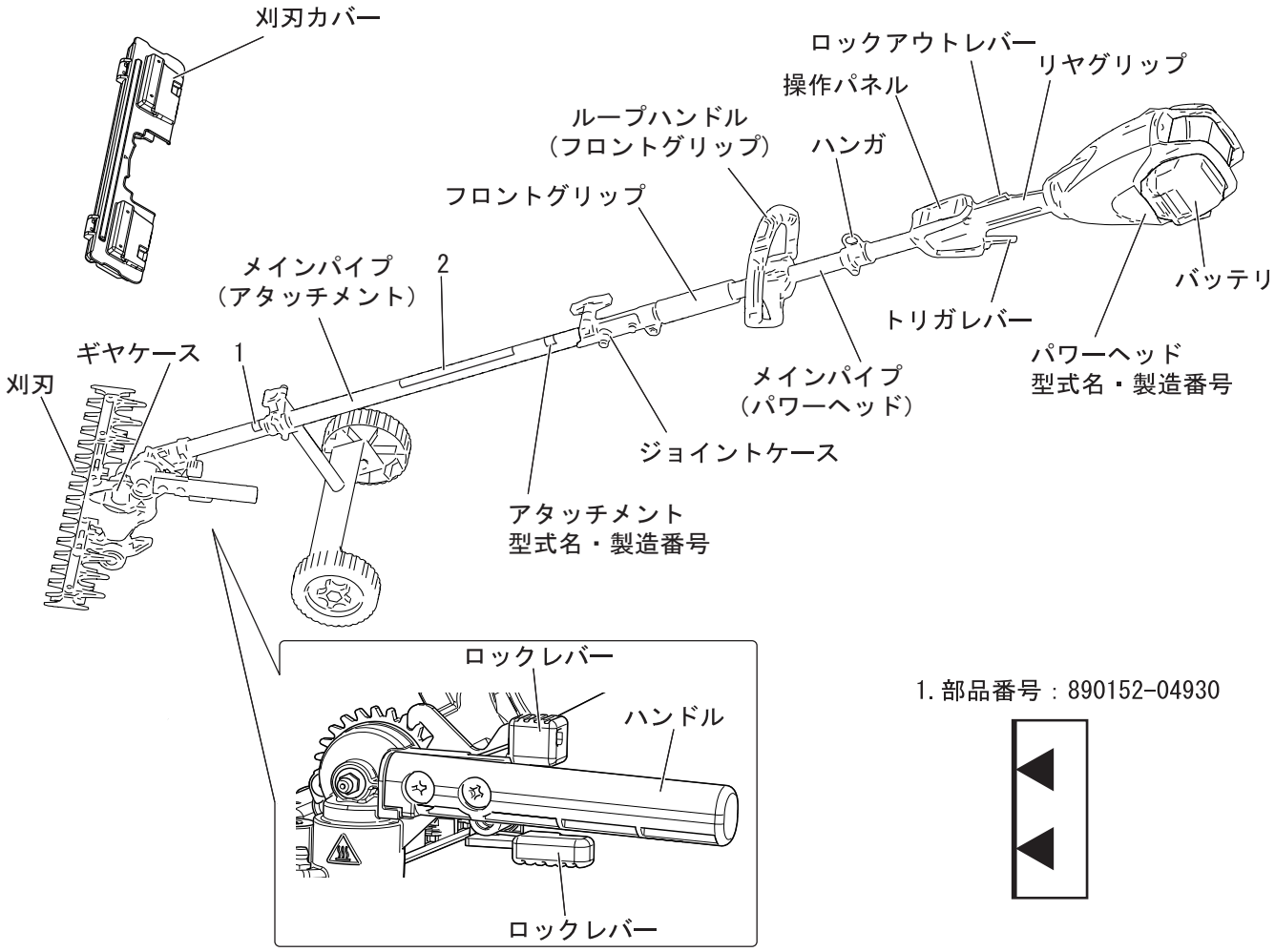


BT-TTAの箱



2. 各部の名称と警告表示ラベル

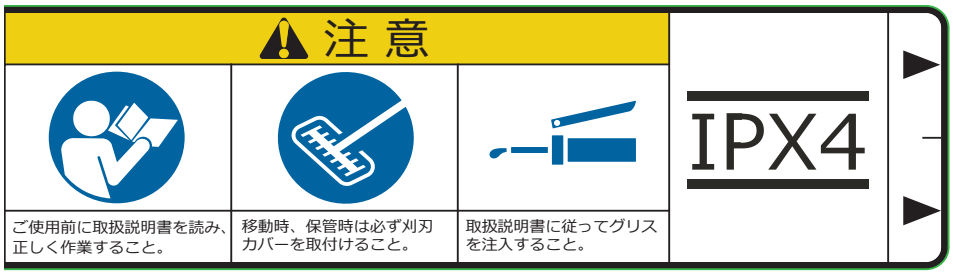
- **本書で説明している製品の各部の名称および警告表示ラベルを示しています。ご使用前に各部の名称およびラベルの意味を理解してください。**
- **ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。**



1. 部品番号：890152-04930

2. 部品番号:X505-011730





3. 作業の準備

3-1. 製品の組み立て

⚠ 警告

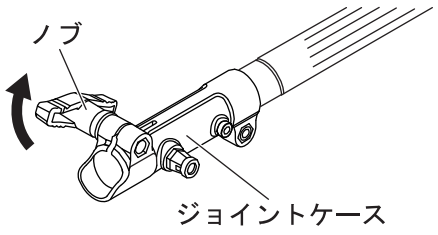
❍ 取扱説明書をよく読んで、正しく組み立ててください。
誤って組み立てた製品を使用すると、事故や重傷を負う原因となります。

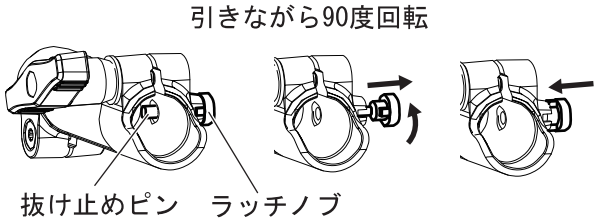


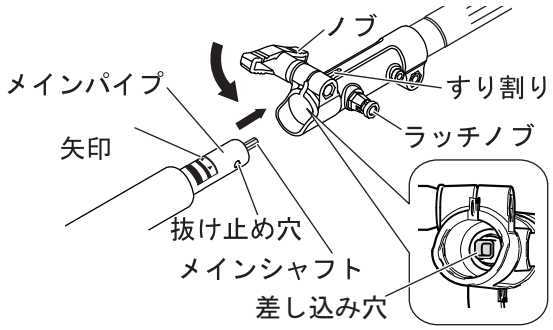
■メインパイプの組み立てと分解

⚠ 警告

❍ ラッチノブの抜け止めピンは、確実に抜け止め穴に差し込んだ状態で使用してください。
メインパイプが外れる恐れがあり、事故や重傷を負う原因となります。

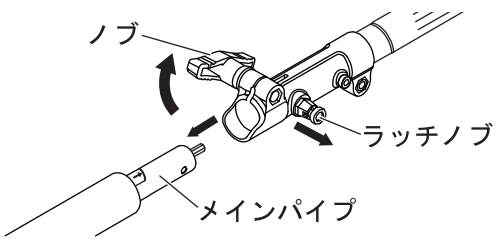






メインパイプの組立て

1. ジョイントケースのノブを回して緩めてください。
2. ジョイントケースのラッチノブを引きながら 90 度回転させて、抜け止めピンがジョイントケースの中側から見えない状態にします。
3. メインパイプ（アタッチメント）の保護カバーを外し、矢印をジョイントケースのすり割りに合わせ、矢印がジョイントケースに届くところを目安にし、内側にある差し込み穴にメインシャフトをかみ合わせながら、メインパイプを差し込んでください。
4. 抜け止めピンと抜け止め穴の位置を合わせてから（正しく組み付けると穴の位置が合います）、ラッチノブを 90 度回転させて、抜け止めピンをメインパイプの抜け止め穴に確実に差し込みます。
5. メインパイプを軽く回すか、または抜くようにして、抜け止めピンが穴にはまり抜けないことを確認してください。
6. ノブを強く締めてメインパイプを固定してください。

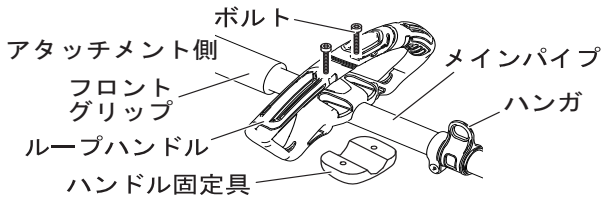


メインパイプの分解

1. ジョイントケースのノブをゆるめてください。
2. ラッチノブを引きながら、メインパイプを引き抜いてください。
3. メインパイプ (ギヤケース側) の先端に保護カバーを取り付けてください。

3. 作業の準備

■ハンドルの取り付け



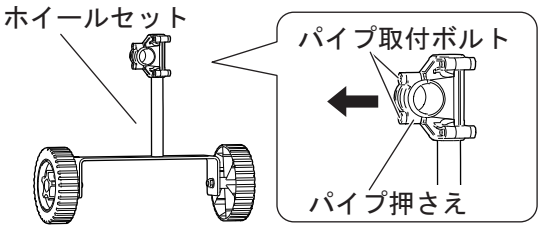
ループハンドルの組み立て

1. 向きに注意して、ループハンドルを、フロントグリップとハンガの間で、作業しやすいように、メインパイプにボルトで取り付けてください。

■ホイールの取り付け

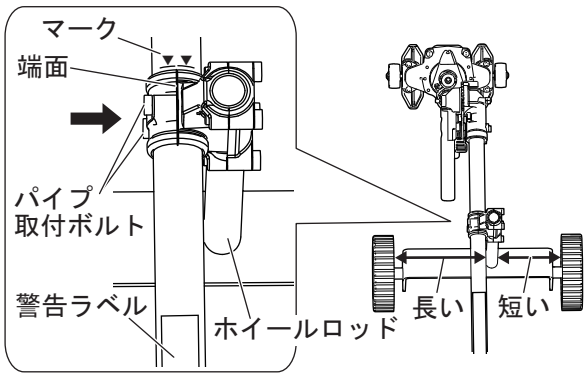
⚠ 警告

❍ バッテリを取り付けられていないことを確認してください。
❍ 刈刃をつけた状態でホイールを取り付ける際には、刈刃カバーを取り付けてください。
重傷を負う恐れがあります。

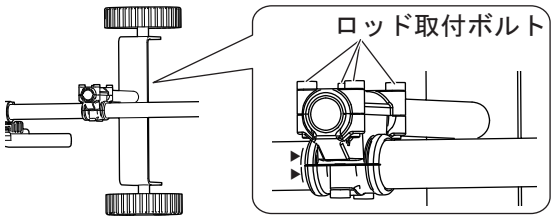


■ ホイールの取り付け

1. ホイールセットのパイプ取付ボルト 2 本とパイプ押さえを外してください。



2. ホイールロッドと、ロッドからの距離が短いホイールが、メインパイプの右側になるようにして、マークとパイプ押さえ具の端面との位置を合わせてください。
3. マークと警告ラベルとの間で、操作しやすい位置に、メインパイプをボルトで締め付けて取り付けてください。



■ ホイールの高さ調整

1. ロッド取付ボルトを少しゆるめて、ホイール対するメインパイプの高さを、操作しやすい高さに調整してください。

3-2. 刈刃の取り付け

⚠ 警告

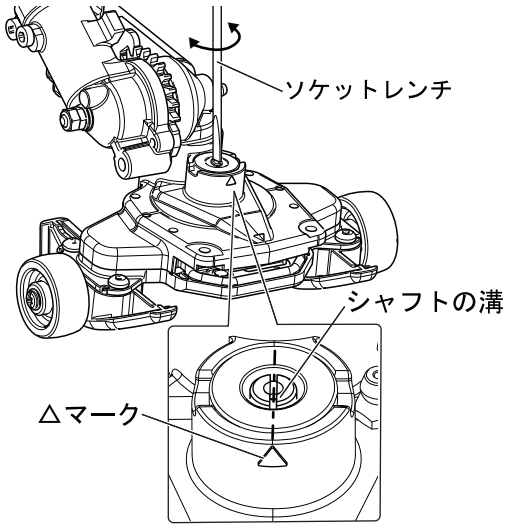
❍ 製品からバッテリを取り外してください。
❍ 刈刃を扱うときは、厚手の手袋を着用してください。
素手で刈刃を扱うと、事故や重傷を負う原因となります。



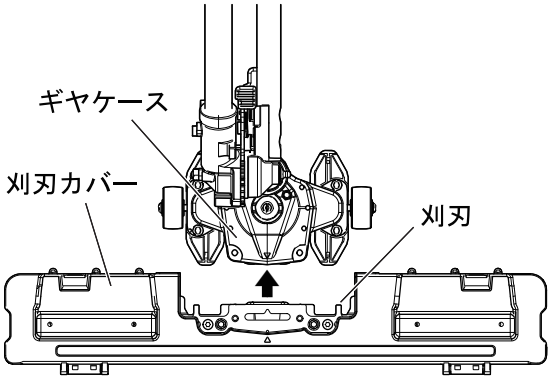
❍ 製品の運転中および停止後しばらくの間は、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。
高温部に触れると火傷します。



3. 作業の準備

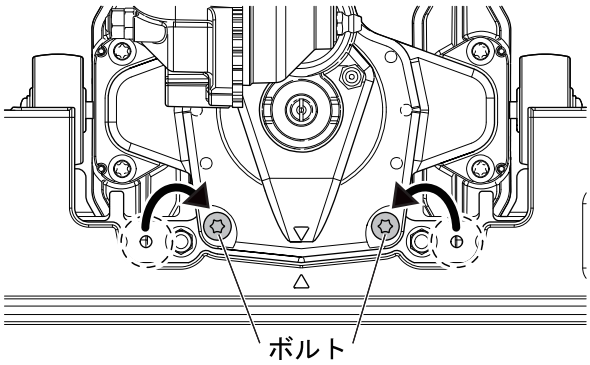


1. 付属のソケットレンチで、シャフトの溝が△マークと一直線になるように調整してください。



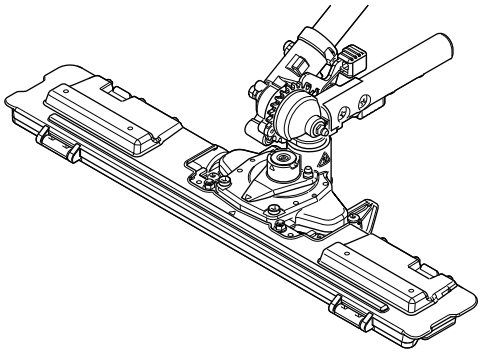
2. 刈刃をギヤケースへ差し込んでください。差し込みにくい場合、シャフトの溝位置を左右に回転させてください。

＊ 刈刃は、刈刃カバーがついている状態で差し込むことができます。



3. 刈刃に付属しているボルト 2 本を外し、ギヤケースのボルト穴へ付け替え、付属のトルクスレンチで締め込んでください。

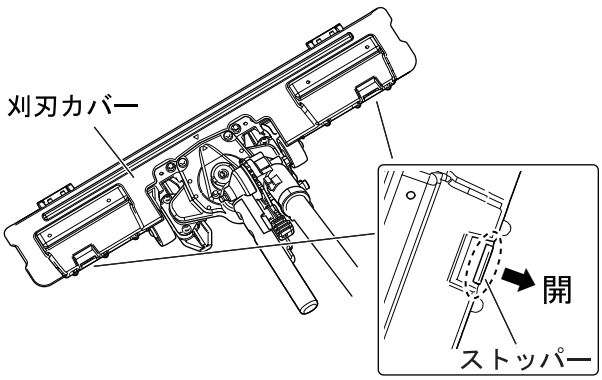
＊ 刈刃のボルト穴やギヤケースのボルト穴ににゴミが入らないように注意してください。ゴミが入ると、刈刃用ボルトが確実に締付けられない恐れがあります。



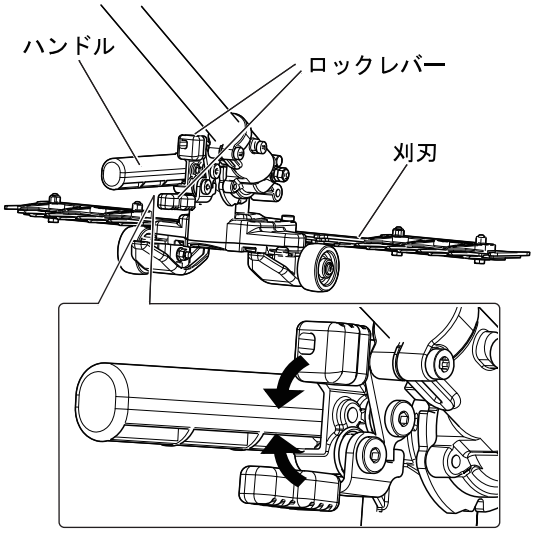
3-3. 刈刃角度の調節

⚠ 警告

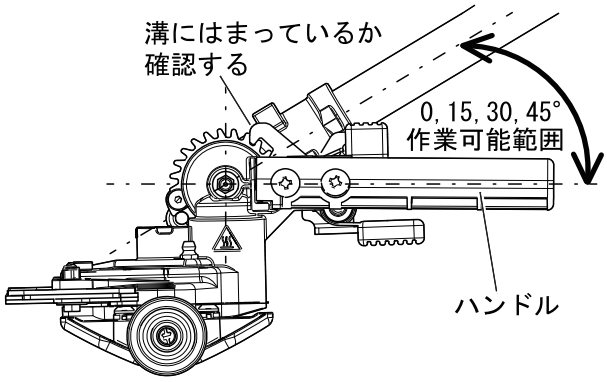
- **製品からバッテリを取り外してください。**
- **刈刃を扱うときは、厚手の手袋を着用してください。**
  素手で刈刃を扱うと、事故や重傷を負う原因となります。
- **製品の運転中および停止後しばらくの間は、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。**
  高温部に触れると火傷します。



1. ストッパーを倒して刈刃カバーを外してください。



2. 2 つのロックレバーを、同時に図中の➡の方向に倒してください。



3. 2 つのロックレバーとハンドルを握りながら、刈刃の角度を調節してください。
   *0,15,30,45° の間で刈りやすい刈刃角度に調節してください。

⚠ 警告

- **刈刃の角度を作業可能範囲内で調節してください。**
  事故や重傷を負う原因となります。

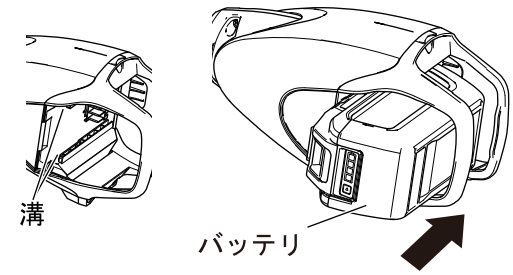
4. ロックレバーを戻し、刈刃の角度が固定されたことを確認してください。

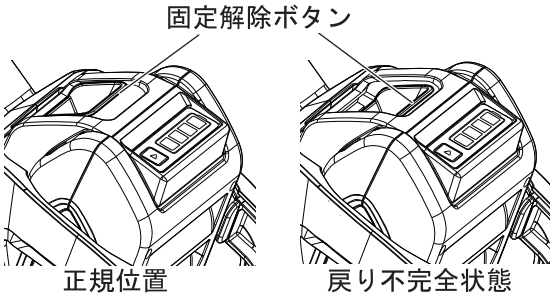
3. 作業の準備

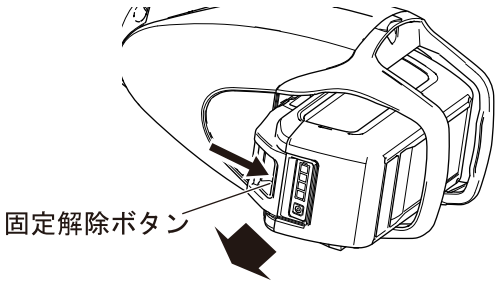
3-4. バッテリの取り付け・取り外し

⚠警告

❍ **バッテリを取り付ける前に、バッテリ、充電器の取扱説明書を読んでください。**
組み立てや作業中に、扱いを間違えると事故の原因になります。







指定のバッテリ、充電器（26 ページの「仕様」）を使用してください。

■ 取り付け

1. 製品本体のバッテリ取り付け位置の溝にバッテリを合わせ、バッテリを差し込んでください。

2. バッテリを奥まで差し込んで、固定解除ボタンが正規の位置に戻っていることを確認してください。

⚠警告

❍ **バッテリは確実に取り付けてください。**
確実に取り付けないとバッテリが外れて事故の原因になります。

■ 取り外し

1. 電源スイッチが切れていることを確認してください。
2. 取り外すときは、バッテリの固定解除ボタンを押しながら製品本体より引き抜いてください。

4. 始動・停止

⚠ 警告

❍ **製品を始動するときは、次のことを守ってください。**

- **刈刃のヒビ、欠け、ゆるみ、ガタがないことを確認する**
- **刈刃が地面や障害物に接触していないことを確認する**
- **すべてのハンドルとプロテクタ類がついていることを確認する**
- **ボルトやナット類にゆるみがないことを確認する**
- **周囲は広くとり、人や動物を近づけない**

事故や重傷を負う原因となります。

❍ **製品が始動したら、異常振動・異常音が発生していないか確認してください。異常振動・異常音がある場合は直ちに停止し、販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。**

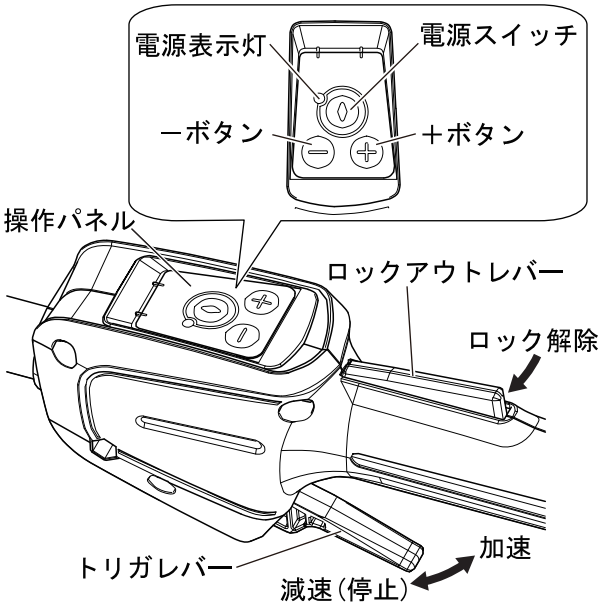
部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

❍ **製品の運転中および停止後しばらくの間は、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。**

高温部に触れると火傷します。



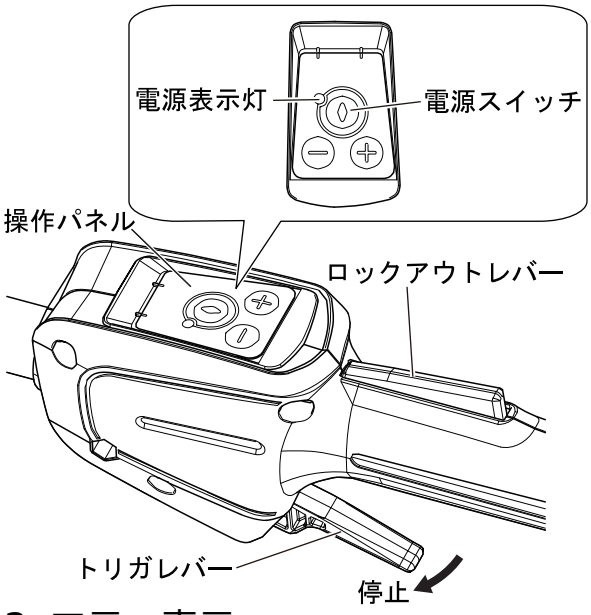
4-1. 始動



1. 刈刃カバーを取り外してください。
2. バッテリを取り付けてください。(14 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照)
3. ハンガをショルダーハーネスに取り付けてください。
4. 刈刃が何かに触れていないことを確認してください。
5. 電源スイッチを押して、電源を入れてください。電源が入ると電源表示灯が点灯します。
6. ＋ボタン、－ボタンを押して速度を設定してください。
   * ＋ボタンを押すと速度が上がり、－ボタンを押すと速度が下がります。
   * 速度は、低速、中速、高速の 3 段階です。
7. ロックアウトレバーとトリガレバーを一緒に握ってください (刈刃が動き始めます)。トリガレバーの握り具合で速度が変わります。
   * トリガレバーを握った状態でも、＋ボタン、－ボタンを押すと速度の設定が切り替わります。
8. トリガレバーの握りを解除してください。(刈刃が停止します)。速度の設定は維持されます。
   * 電源が入った状態で約 90 秒間､刈刃を作動しないと自動的に電源が切れて電源表示灯が消灯します。再開したい場合は、電源スイッチを押して電源を入れ直してください（上の手順 5 に戻ってください)。
9. ロックアウトレバーとトリガレバーを一緒に握ってください (刈刃は再度動き始めます)。トリガレバーの握りと解除の繰り返しで作業できます。

4-2. 停止

4. 始動・停止



⚠注意

❍ **刈刃は、電源スイッチを切った後も短時間動作していることがあります。**

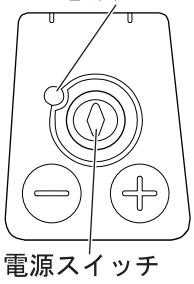
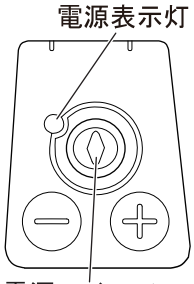
刈刃が停止するまで、周囲を広くとり、人や動物を近づけないでください。

1. トリガレバーとロックアウトレバーの握りを解除してください (刈刃が停止します)。
2. 電源スイッチを押して、電源を切ってください。電源表示灯が消灯します。

＊ 刈刃が停止しない場合は、バッテリを取り外してください。(14 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照)

再び製品を使用する前に、販売店、または、やまびこサービスショップに点検と修理を依頼してください。

4-3. エラー表示

電源表示灯の点灯状態		エラー内容 ／ 原因 ／ 復帰方法
■ 電源表示灯が点滅 (毎秒 4 回点滅)		・ エラー内容 : 過負荷による停止 ・ 原因　　: 刈刃ロックなど (刈刃周辺に木などの異物が詰まった場合) ・ 復帰方法　: バッテリを取り外し、原因を取り除き、電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容 : 過熱による停止 ・ 原因　　: 製品やバッテリが高温になっている ・ 復帰方法　: 冷却後に電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容 : トリガレバーの繰り返し操作 ・ 原因　　: トリガレバーを握る・離すの操作を短時間に繰り返した ・ 復帰方法　: 電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容 : 誤作動 ・ 原因　　: トリガレバーを握った状態で電源スイッチを入れた ・ 復帰方法　: トリガレバーの握りを解除する
■ 電源表示灯が点滅 (毎秒 1 回点滅)		・ エラー内容 : バッテリの電圧異常 ・ 原因　　: バッテリの容量不足 ・ 復帰方法　: バッテリを充電する
		・ エラー内容 : バッテリの電圧異常 ・ 原因　　: バッテリの過放電 ・ 復帰方法　: バッテリを充電する 解消されないときはバッテリを交換する
		・ エラー内容 : バッテリ電圧センサ異常 ・ 原因　　: バッテリ内のセンサ接触不良・断線 ・ 復帰方法　: バッテリを交換する

5. 作業方法

⚠ 危険

❍ **製品の中心から半径 10 m の範囲は危険区域です。作業中は次のことを守ってください。**

- **危険区域に人や動物を入らせない**
- **危険区域に人や動物が入ったときは、刈刃を停止させる**
- **作業者に近づくときは、危険区域の外から小枝を投げるなどの合図をして作業者に知らせ、刈刃の停止を確認する**
- **二人以上で作業するときは、お互いに合図のしかたを決めて 10 m 以上離れる**

刈刃からの飛散物や刈刃との接触により、失明や死亡事故を起こすことになります。

⚠ 警告

❍ **作業前に、作業する場所にある刈刃周辺にからまりそうなヒモや針金などは取り除いてください。**

製品にからみついた針金などが跳ね返ったりして、事故や重傷を負う原因となります。

❍ **除草作業では次のことを守ってください。**



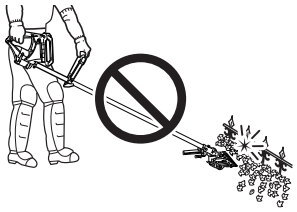
- **ヒビの入った刈刃は使用しない**
- **手を伸ばしたまま、あるいは足元が不安定な場所で製品を使用しない**
- **はしごや台の上で使用しない**
- **常に両手でハンドルを握り、片手で操作しない**
- **刈刃が動いているときには、絶対にハンドルから手を離さない**

事故や重傷を負う原因となります。

- **作業を開始する前に、作業場に電線が隠れていないか確認する**

感電する原因となります。

- **針金や鉄板など、硬いものを切らない**



故障や事故の原因となります。

- **製品を地面に置く前に刈刃が停止したことを確認する**

刈刃が惰性で動き、傷害を負う原因となります。

- **刈刃に絡まった異物を取り除くときは、電源を切ってから取り除く**

刈刃が急に動き出し、傷害を負う原因となります。

❍ **次のような移動時は刈刃が停止してから、電源スイッチを切り、バッテリを取り外し、刈刃カバーを付けてください。**



- **作業場へ移動するとき**
- **作業中に他の場所へ移動するとき**
- **作業場から帰るとき**

火傷や重傷を負う原因となります。

❍ **車で運搬するときは製品からバッテリを取り外し、刈刃カバーを付け、製品が動かないように固定してください。**

バッテリを取り付けたまま車で移動すると、誤動作の原因となります。

❍ **雨中や湿気の多い場所で使用したり、放置しないでください。**

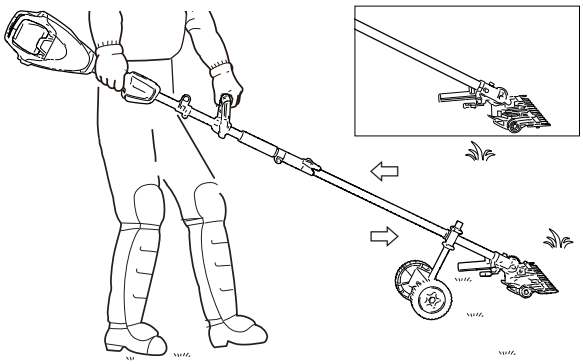
感電や本機およびバッテリが故障する原因となります。

重要

❍ 過負荷による自動停止が頻繁に起こると、モーターが過熱して破損する恐れがあるので、過負荷にならないように少しずつ刈ってください。

❍ 周囲温度 0 ℃～ 40 ℃で製品を使用してください。

5. 作業方法

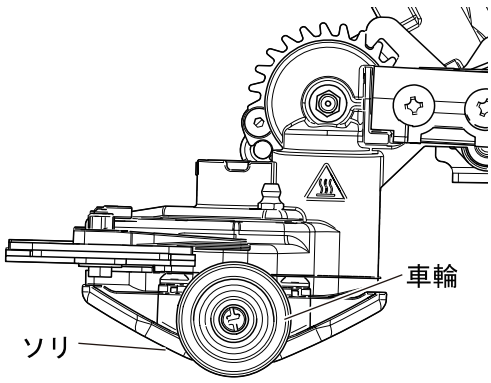


重要

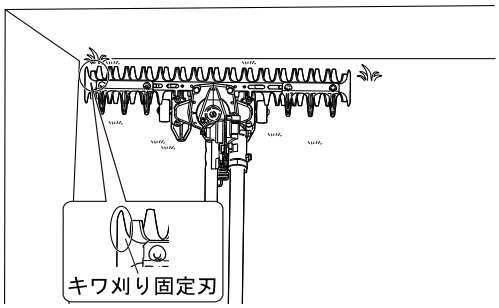
❍ ギヤケースが破損する恐れがあるので、水没状態で使用しないでください。

❍ 先端部を地面に置いた状態で前後に動かし、雑草や芝などを刈ります。
＊ ホイールセットを取り外しても作業できます。

❍ トリガレバーから手を離すと、刈刃が止まります。



❍ 凹凸面はソリで乗り越え、平面は車輪で移動できます。



❍ 縁石やキワに生えた雑草等は、刈刃両端のキワ刈り固定刃で刈るか、刈刃に壁を突き当てて刈ります。

6. 点検・整備

⚠ 警告

❍ **製品の点検・整備をするときは、刈刃を停止し、電源スイッチを切ってからバッテリを取り外してください。**
事故の原因となります。

重要

❍ お買い求めいただいた製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備をしてください。
❍ 異常や通常より振動や騒音が増えたと感じた場合は、販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。
❍ 点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、販売店、または、やまびこサービスショップにご相談ください。
❍ 水洗いはしないでください。
製品の内部に水が入り故障の原因となります。

6-1. 点検・整備の目安

点検・整備項目	作業前または作業後	作業 25 時間毎	作業 100 時間毎	参照ページ
バッテリ容量	○			–
刈刃	○			20
ギヤケースのグリース注油		○ *1		22
製品の周りの清掃		○		22
ボルト、ナット	○			–
各部の増し締め			●	–

○：ご自分で点検・整備してください。
●：製品の性能維持のため、販売店、または、やまびこサービスショップに定期的な点検を依頼し必要に応じ交換してください。

*1：作業 15 ～ 20 時間毎

異常がある場合、または通常より振動や騒音が増えたと感じた場合は、販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。

6-2. 刈刃の手入れ

⚠ 警告

❍ **製品からバッテリを取り外してください。**
❍ **刈刃を手入れするときは次のことを確認してください。**

- 厚手の手袋を着用していること
- 刈刃が停止していること

事故や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意

❍ **連続運転直後は、ギヤケースが熱くなっているので、触れないでください。**

火傷の恐れがあります。

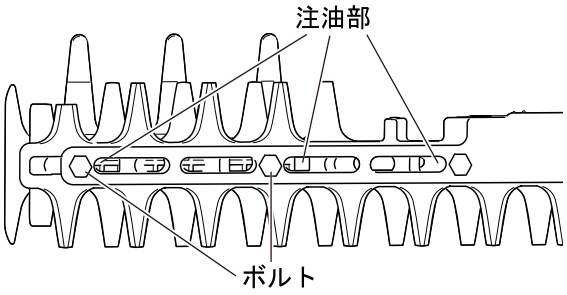
重要

❍ 刈刃の刃先が摩耗したり、上下の刈刃のすきまが狂うと、切れ味が悪くなります。その場合は、販売店、または、やまびこサービスショップに交換を依頼してください。

■刈刃の清掃

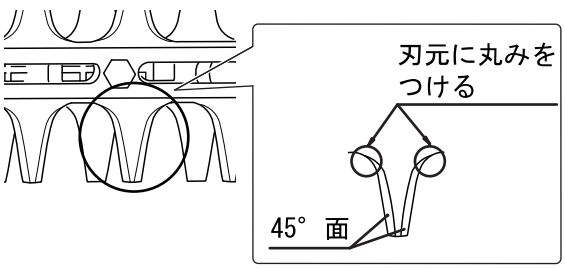
刈刃に樹脂などの汚れが付いた場合は、軽油とオイルを 1:1 の割合で混合したもので、刈刃の汚れを洗い落としてください。

■刈刃の注油



刈刃を固定しているボルトまわりに、オイルを 2 ～ 3 滴ずつ注油してください。

■目立ての方法



1. 平ヤスリまたは目立て機やサンダーで目立てを行なってください。刃元には必ず丸みを付けてください。
2. 上・下刈刃間に堆積したヤニを取り除くと切味が回復します。

6-3. 刈刃の交換

⚠ 警告

❍ 製品からバッテリを取り外してください。
❍ 刈刃を交換するときは次のことを確認してください。

- 厚手の手袋を着用していること
- 刈刃に刈刃カバーが取り付けてあること

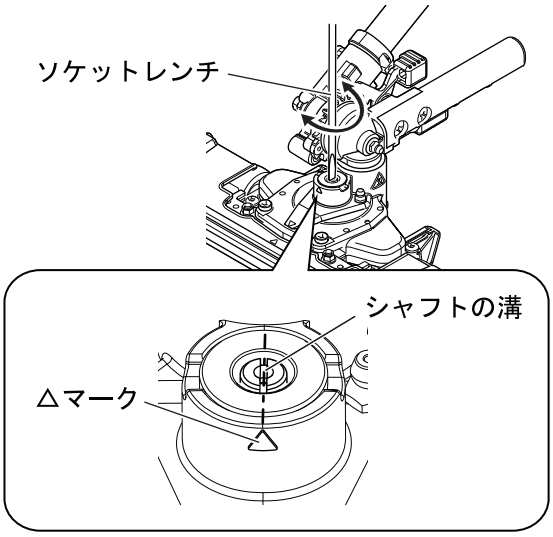
❍ 刃先が摩耗して目立ての必要があるときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

刈刃の損傷や飛散により、事故や重傷を負う原因となります。

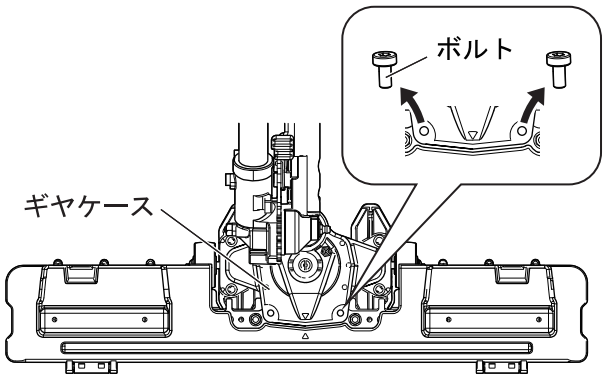
⚠ 注意

❍ 連続運転直後は , ギヤケースが熱くなっているので、触れないでください。

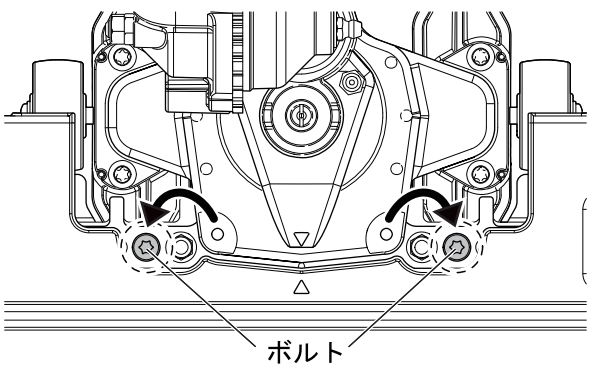
火傷の恐れがあります。



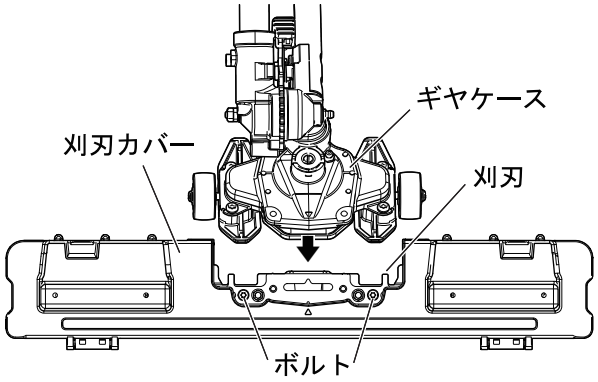
1. 刈刃カバーを刈刃に装着してください。
2. 付属のソケットレンチで、シャフトの溝が△マークと一直線になるように調整してください。



3. ギヤケースに付属しているボルトを外してください。



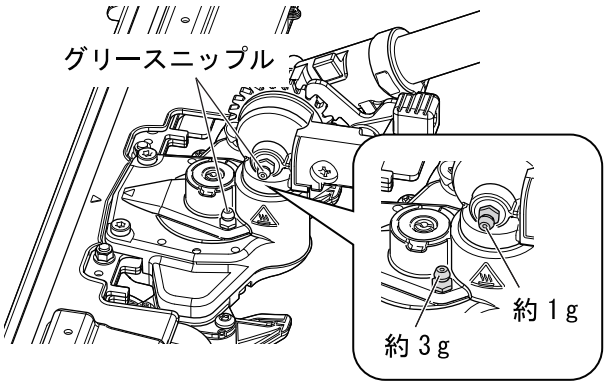
4. 3 で外したボルト 2 本を刈刃のボルト穴へ付け替え、付属のトルクスレンチで締め込んでください。



5. 刈刃を取り外してください。
   * 刈刃は、刈刃カバーがついている状態で取り外すことができます。
   * 刈刃のボルト穴やギヤケースのボルト穴にゴミが入らないように注意してください。ゴミが入ると、刈刃用ボルトが確実に締付けられない恐れがあります。

6-4.15 ～ 20 時間毎点検・整備要領

■ギヤケースのグリース注油



1. グリースニップルから注油することができます。
2. グリースニップルの周りの汚れを拭き取ってください。
3. グリースポンプで、グリースニップルからグリースを注入してください。

* グリースは、純正ギヤケースグリースかリチューム系グリース（#2）を補給してください。指定以外のグリースを使用すると故障の原因となります。
* 上部グリースニップルには、約 1 g、下部グリースニップルには、約 3 g グリース注油してください。
* グリースは入れすぎないでください。入れすぎると運転時間が短くなることがあります。

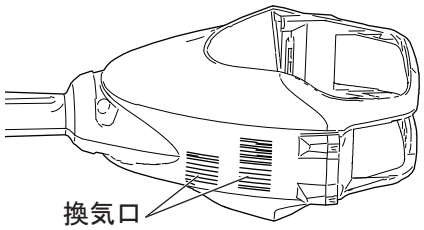
⚠ 注意

❍ 停止後、ギヤケースが冷えてから補給してください。

火傷の恐れがあります。

6-5.25 時間毎点検・整備要領

■製品の周りの清掃



- 製品の周りに付いたゴミなどを取り除いてください。
- 換気口の周りに付いたゴミなどを取り除いてください。

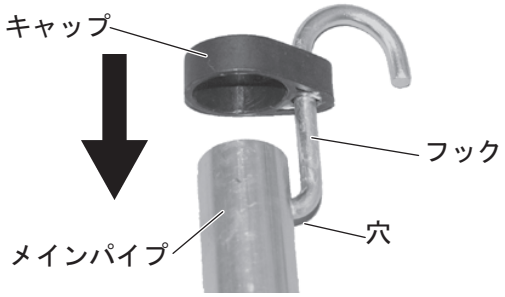
7. 保管

⚠ 警告

❍ 可燃ガスが充満している密閉された場所に保管しないでください。

火災の原因となります。

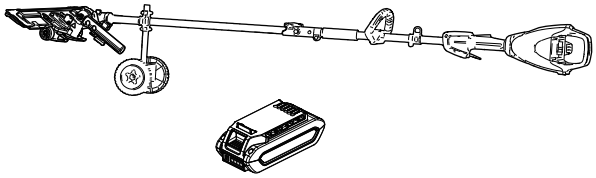




収納フックの取り付け

1. フックのＳ字の小さい方をメインパイプ（アタッチメント）の穴に入れてください。
2. キャップをメインパイプの先端にスライドして固定してください。

❍ 製品を長期間にわたって保管する場合は、下記の手順で整備をしてください。



1. 電源スイッチを切り、電源表示灯が消灯していることを確認してください。
2. 製品本体からバッテリを取り外してください。
3. 製品が十分に冷えてから、外側に付いたホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
4. 本書に定められた定期的な点検をしてください。
5. ボルト、ナット類が締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
6. 刈刃カバーを取り付けてください。
7. バッテリを充電器に取り付けないでください。
8. 製品本体、バッテリ、充電器とも、子供の手の届かないホコリの少ない、乾燥した 0 ℃～ 40 ℃の場所に保管してください。

＊ メインパイプを分解して保管できます。

＊ バッテリを 1 年以上使用しないときには、劣化を防ぐために 40%～ 60%の容量で充電し、10 ℃～ 30 ℃の場所に保管してください。

8. 故障対策

8-1. 故障診断表

重要
❍ 補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。 純正または指定以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

■ 本体

故障内容	原因	対策
電源が入らない	• バッテリが製品本体に正しく装着されていない	• 正しく取り付ける (14 ページ)
ロックアウトを押しながらトリガレバーを引いても刈刃が動かない	• バッテリの容量不足 • 刈刃の間に枝などの異物がはさまっている	• 充電する • 清掃 (20 ページ)
始動してもすぐに停止する	• バッテリが過熱状態になっている • 製品が過熱状態になっている • バッテリの容量不足	• バッテリを製品本体から取り外し、十分冷ましてから再度取り付ける (14 ページ) • 電源を切って、製品を十分に冷ます • 充電する
切れ味の低下	• 刈刃の摩耗	• 販売店へ依頼

＊ 表中に記載されていない故障など、ご不明な点は販売店、または、やまびこサービスショップにご相談ください。

8-2. 製品の廃棄

❍ 製品や部品を廃棄するときは、自治体の指導に従ってください。

8-3. バッテリの回収



- 本製品で使用しているバッテリはリサイクルのため、回収しています。
- 廃棄するときは、お買い求めの販売店または当社営業所にお持ちください。



- やまびこは一般社団法人 JBRC（ホームページ https://www.jbrc.com）に加盟し、リサイクルを実施しています。

  バッテリにはリサイクル可能な希少資源が使われています。これらを有効活用するため、使用済みバッテリのリサイクルを推進しています。

9. 仕様

❍ 本体仕様

型式名		BPH511-TT
項目	単位	
質量 　刈刃カバー、バッテリ、ホイールセットを除く	kg	4.7
外形寸法（バッテリ、ホイールセットを除く） 　長さ × 幅 × 高さ	mm	1,896×475×194
ギヤケース 　歯車減速比 　潤滑剤	– –	 4.88 純正グリース
刈刃 　形式 　ブレード長	 – mm	 両刃 475
モーター 　回転数	– r/min	DC ブラシレスモータ 4,860-9,200
適合バッテリ	–	やまびこ純正 50V 1P バッテリ , やまびこ純正 50V 2P バッテリ
適合充電器	–	やまびこ純正 50V 充電器

※ この仕様は予告なしに変更することがあります。

10. その他

10-1. 補用品と消耗品

部品名称	部品番号	備考
グリース	X695-000020	50 g
刈刃セット	P200-001521	カバー付き
刈刃セット（ショート）	P200-001800	カバー付き
刈刃カバー	X495-001071	

- 作業内容と用途および仕様・規格により、本製品への適合性を確認し、販売店、または、やまびこサービスショップとご相談の上、購入してください。

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0120-176-181(製品・技術的な問い合わせ)
受付時間:弊社営業日　9:00～12:00 / 13:00～17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0428-32-6181 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X780823-0000
(C) 2025 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0120-176-181(製品・技術的な問い合わせ)
受付時間:弊社営業日　9:00～12:00 / 13:00～17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0428-32-6181 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X780823-0000
(C) 2025 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。